令和４年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
沖縄・動物系分野における有機的高専連携プログラム開発・実証事業

事業報告書

令和５年２月

学校法人　ＫＢＣ学園

専修学校 沖縄ペットワールド専門学校

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として
学校法人ＫＢＣ学園　専修学校 沖縄ペットワールド専門学校が実施した
令和４年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」の成果を
とりまとめたものです。

目　次

第１部　事業の概要
１　事業の実施体制　1
２　各機関の役割・協力体制
2.1　高等学校　2
2.2　行政機関　2
2.3　専門学校　3
2.4　企業　3
３　事業の趣旨・目的等
3.1　事業の趣旨　4
3.2　学習ターゲット、目指すべき人物像　4
3.3　当該教育プログラムが必要な背景について　5
3.3.1　沖縄県の高校の現状と新たな展望　5
3.3.2　動物系分野の現状と課題　7
４　開発する教育プログラムの概要
4.1　内容　9
4.2　開発するプログラム全体図　11
4.3　高専連携接続の課題と解決方法　11
５　令和４年度の取り組み　12
６　事業実施に伴うアウトプット（成果物）　12

第２部　令和４年度の活動
１　令和４年度スケジュール　13
２　連携プログラム開発協議会
2.1　連携プログラム開発協議会の設置　14
2.2　連携プログラム開発協議会の構成員（委員）　15
３　キャリア教育用教材の方向性と具体案の検討
3.1　キャリア教育の定義　16
3.2　キャリア教育で育成すべき能力　16
3.3　高等学校におけるキャリア教育の目標　17
3.4　高校生の発達課題　17
3.5　高専連携で育成できる具体的能力例　17
3.6　キャリアプランニング能力向上プログラム例　18
3.7　委員意見　20
４　愛玩動物飼養管理士試験対策の方向性と具体案の検討　22

第３部　キャリア教育連携実証授業
１　中部農林高等学校　職業講話①
1.1　実施概要　23
1.2　生徒アンケート結果
1.2.1　仕事理解度　23
1.2.2　仕事知識　24
1.2.3　仕事資格　24
1.2.4　資格の学び方　25
1.2.5　印象に残ったこと　26
1.2.6　感想　31
1.3　講師アンケート結果　36
1.4　プログラム評価委員アンケート結果　37

２　中部農林高等学校　職業講話②（コミュニケーションの重要性）
2.1　実施概要　38
2.2　生徒アンケート結果
2.2.1　アクティブラーニングでの行動　38
2.2.2　自己理解度　39
2.2.3　他人理解度　39
2.2.4　授業効用感　40
2.2.5　印象に残ったこと　41
2.2.6　感想　45
2.3　講師アンケート結果　49
2.4　プログラム評価委員アンケート結果　50

３　中部農林高等学校　目・耳の形態機能
3.1　実施概要　51
3.2　確認テスト結果　51

４　中部農林高等学校　口腔の形態機能・エキゾチックアニマル
4.1　実施概要　51
4.2　確認テスト結果　51

５　中部農林高等学校　動物のしつけ
5.1　実施概要　52
5.2　確認テスト結果　52

６　中部農林高等学校　爬虫類について
6.1　実施概要　52
6.2　確認テスト結果　52

７　実証授業資料
7.1　アンケート用紙（職業講話）　53
7.2　アンケート用紙（コミュニケーション）　54
7.3　アンケート用紙（講師用）　55
7.4　アンケート用紙（プログラム評価委員用）　56
7.5　コミュニケーションの重要性　58
7.6　目・耳の形態機能　61
7.7　口腔の形態機能・エキゾチックアニマル　65
7.8　動物のしつけ　68
7.9　爬虫類　70
7.10 職業講話　74

８　実証授業の検証評価　81
９　動物関連企業の採用・教育・定着の実態情報交換
9.1　企業が求める人物像　83
9.2　高校の就職指導の現状　83
9.3　専門学校の就職指導状況　84
9.4　高校のコミュニケーション教育　85
9.5　インターンシップについて　86

第４部　令和４年度開発教材検証評価
１　愛玩動物飼養管理士２級資格取得オンライン（動画）教材
1.1　形態機能学（視覚聴覚）
1.1.1　動画教材　87
1.1.2　授業ノート　87
1.1.3　オフライン授業（対面授業）用 PPT　88
1.2　形態機能学（口腔）
1.2.1　動画教材　89
1.2.2　授業ノート　89
1.2.3　オフライン授業（対面授業）用 PPT　89
1.3　爬虫類学Ⅰ・Ⅱ
1.3.1　動画教材　90
1.3.2　授業ノート　90
1.3.3　オフライン授業（対面授業）用 PPT　90

1.4　エキゾチックアニマル
1.4.1　動画教材　91
1.4.2　授業ノート　91
1.4.3　オフライン授業（対面授業）用 PPT　91
1.5　しつけ
1.5.1　動画教材　92
1.5.2　授業ノート　92
1.5.3　オフライン授業（対面授業）用 PPT　92
1.6　シラバス
1.6.1　オンライン用シラバス　93
1.6.2　オフライン用シラバス　94
1.7　コマシラバス
1.7.1　形態機能学（視覚聴覚）　95
1.7.2　形態機能学（口腔）　96
1.7.3　爬虫類学Ⅰ　97
1.7.4　爬虫類学Ⅱ　98
1.7.5　エキゾチックアニマル　99
1.7.6　しつけⅠ　100
1.7.7　しつけⅡ　101

2　高校１・２年生対応キャリアプランニング能力向上教材「職業図鑑」　102
2.1　「職業図鑑」インタビュー動画　103
2.2　「職業図鑑」ヒアリングシート　105
3　令和４年度開発教材検証評価　112

第５部　令和５年度の取組みの指針　114

図　目次

第１部

図 1-1　事業の実施体制図　1
図 2-1　各機関の役割と協力体制図　2
図 3-1　沖縄県立高校の進学率　6
図 3-2　動物看護師の仕事の魅力　8
図 4-1　プログラム概要　9
図 4-2　プログラムと課題解決方法　10
図 4-3　プログラム全体図　11
図 4-4　高専連携接続の課題と解決方法図　11

第３部

図 1-1　仕事理解度　23
図 1-2　仕事知識　24
図 1-3　仕事資格　24
図 1-4　資格の学び方　25
図 2-1　アクティブラーニングでの行動　38
図 2-2　自己理解度　39
図 2-3　他人理解度　39
図 2-4　授業効用感　40

表　目次

第２部

表 1-1　令和４年度スケジュール　13
表 2-1　連携プログラム開発協議会　14
表 2-2　連携プログラム開発協議会委員　15
表 3-1　キャリア教育で育成すべき能力　16

議事録

第１回プログラム検討委員会議事録　118
第２回プログラム検討委員会議事録　122
第３回プログラム検討委員会議事録　127

第１部　事業の概要

１　事業の実施体制

行政機関、高等学校、企業、専門学校四者によるコンソーシアムを構築。「連携プログラム開発協議会」を設立し、高・専一貫プログラムの計画を立案する。

計画を基に開発プログラム実証授業を開催し、プログラムの検証評価委員会によってプログラムの評価を行う。検証結果を基に新たな計画に反映させ実証授業を行う。このＰＤＣＡサイクルを有機的に機能させ、実効性・教育効果の高い連携プログラムを開発する。

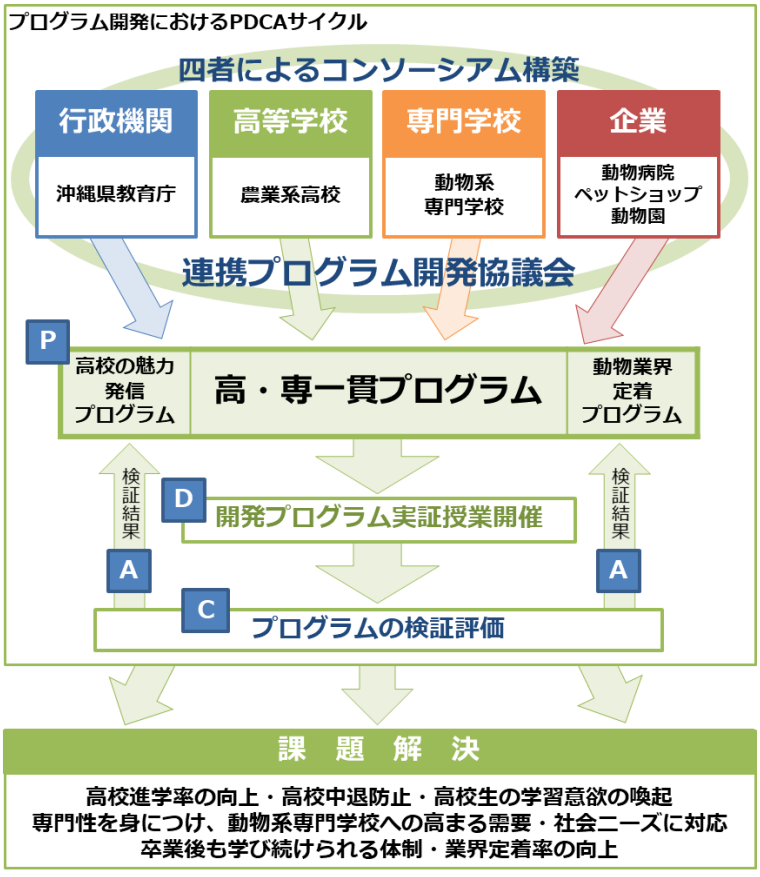


図 1-1　事業の実施体制図

２　各機関の役割・協力体制

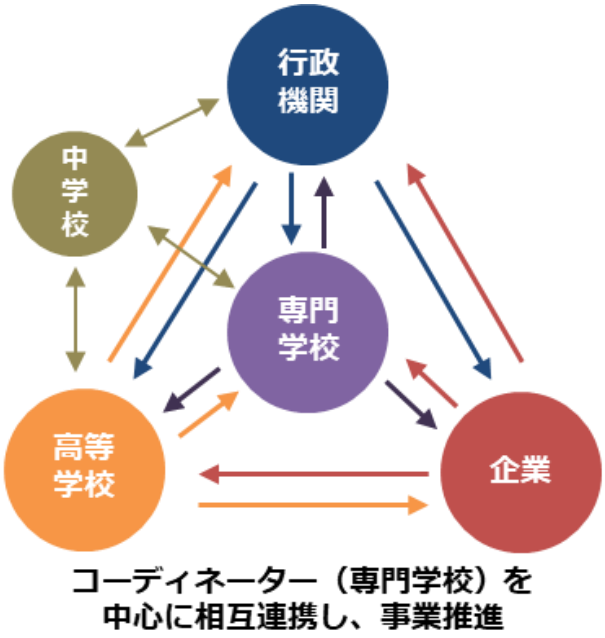


図 2-1　各機関の役割と協力体制図

2.1　高等学校

〇高等学校の課題やニーズ踏まえカリキュラムへ提言
〇カリキュラム作成
〇高等学校に進学する中学生への広報周知、募集活動
〇学習指導要領とのすり合わせ

2.2　行政機関

〇地域課題、ニーズ踏まえカリキュラムへ提言
〇高等学校での単位認定の検討、方向性明示
〇県内中学校へ連携強化

2.3　専門学校

〇コーディネーター業務

- 高等学校、行政、企業との橋渡し
- 全体調整、進捗管理、体制構築
- 連携プログラム開発協議会の運営
- 連携校、連携企業の開拓
- 開発プログラム普及活動

〇カリキュラム作成、教材開発

〇プログラム受講の高校生への学費減免検討

〇高校生の実習受け入れ

〇高等学校と企業との仲介

2.4　企業

〇業界の課題やニーズを踏まえカリキュラムへ提言

〇高校生、専門学校生の実習受け入れ

〇職業講和講師

３　事業の趣旨・目的等

3.1　事業の趣旨

高校生の「学習意欲を喚起し、能力を最大限に伸長すること」、動物系専門学校の「高まる需要・社会ニーズに対応するために専門性を高めること」そして、地域課題である「高校への進学率向上」や「高校中退防止」、さらに業界課題である専門学校卒業後の「動物業界への定着率向上」等多様な課題を解決するためのプログラムを開発する。開発プログラムは「高校生」「専門学校生」はもちろん、高校と専門学校の前後に位置する「中学生」及び「専門学校卒業後の社会人」も包括する。

時系列に見ると、中学と高校の橋渡しとして「高校の魅力発信プログラム」を開発。開発プログラムにより中学生にとっても魅力的な高校となり、高校進学率の向上、高校中退防止に繋げる。次に、高校と専門学校の５年間で学ぶ「高・専一貫プログラム」を開発。共通目標と一貫したカリキュラムを構築し、動物系分野の高まる需要や社会ニーズに対応できる専門人材を育成する。そして、専門学校卒業後も学び続けられる体制づくりとして「動物業界定着プログラム」を開発。離職を減らし、動物業界への定着率を向上する。卒業生が業界で活躍し、地域の中核人材となることは地域経済活性化の先導となる。また、高・専一貫プログラムで学ぶ高校生と専門学校生にとって卒業生は身近な将来像であり、将来像の明確化は共通の目標設定や一貫したカリキュラム構築の重要な要素となる。

開発プログラムにより「動物にかかわりながら、専門性を身につけ、人や社会への貢献を認識しつつ、収入が安定し、一生続けられる仕事として動物業界で活躍できる」という好循環を本プログラム通して実現していく。そして、我が国の労働生産性及び生涯を通じた学習機会の拡大に寄与する。

3.2　学習ターゲット、目指すべき人物像

学習ターゲット：高校生、専門学校生

動物にかかわりながら、専門性を身につけ、人や社会への貢献を認識しつつ、収入が安定し、一生続けられる仕事として動物業界で活躍できる人材を育成する。

3.3　当該教育プログラムが必要な背景について

3.3.1　沖縄県の高校の現状と新たな展望

◆全国の高校生の現状と課題

文部科学省「新時代に対応した高等学校教育の在り方（令和２年７月 17 日 ）」より高校生の学習意欲に目を向けると、全体的な傾向として、学校生活への満足度や学習意欲は中学校段階に比べて低下している。高校においては、初等中等教育段階最後の教育機関として、生徒一人一人の特性に応じた多様な可能性を伸ばすとともに、高等教育機関や実社会との接続機能を果たすことが求められていることから、高校における教育活動を、高校生を中心に据えることを改めて確認し、その学習意欲を喚起し、能力を最大限に伸長するためのものへと転換することが急務である、としている。

◆沖縄県の高校生の現状と課題

内閣府「沖縄の子供達を取り巻く現状」より、沖縄県の高校進学率は 97.3%で全国順位は低いほうから 1 位、高校中退率は 2.2%で全国順位は高いほうから 1 位、沖縄県の大学等進学率は 39.6%で全国順位は低いほうから 1 位となっている。なお、沖縄県の子どもの相対的貧困率は 29.9%で、全国平均の約 2.2 倍にのぼり、1 人当たり県民所得は全国最下位、母子世帯の割合は 2.6%と全国で最も高い。

一方、沖縄県の専修学校進学に目を向けると、沖縄県の専修学校進学率は 24.1%で全国順位は高いほうから 2 位となっている。

指標	沖縄	全国	沖縄の順位
高校進学率（%）	97.3	98.8	低いほうから1位
大学等進学率（%）	39.6	54.7	低いほうから1位
専修学校進学率（%）	24.1	16.4	高いほうから2位
高校中退率（%）	2.2	1.4	高いほうから1位

図 3-1　沖縄県立高校の進学率

令和３年春卒業の沖縄県立高校の進学率は令和２年 12 月末時点で 65.1%となっており、前年同時期（62.0%）を上回った。 就職希望者が減り、専門学校等への進学希望者が増えたためである。沖縄県の金城教育長によると令和２年６月と 12 月の進路希望調査の比較では、就職希望の生徒が減少し、専門学校等への希望者が例年と比べ増加が顕著で、国の高等教育の就学支援制度やコロナ禍の影響があるのではないかと考えている、と述べた。 （「沖縄タイムス」令和３年２月 27 日記事より）

◆高専連携プログラム開発の必要性

沖縄県は従来より専修学校への進学率が高いうえに、専修学校への進学希望者が増えている今、高校生の学習意欲を喚起し、能力を最大限に伸長する高専連携プログラムを「高校」「専門学校」「企業」「行政」が有機的に連携し、プログラム開発することは、沖縄県の高校進学率の向上、高校中退防止のために必要不可欠である。とりわけ、本事業で我々「専門学校」が「高校」と「企業」をつなぐ仲介者としての役割を担うことで、高校生に学びの目的意欲を持たせ、将来像の明確化を促し、地域の中核人材へと成長することを後押ししていく。そして、開発プログラムにより沖縄県の子どもの貧困率低下、そして県民所得増加という地域課題解決に寄与したい。

◆業界定着率の向上

我々は高専連携プログラムで学び、卒業した学生の当該分野での業界定着率を最重要プロセス目標値とする。そのため開発プログラムは企業・業界が就職した卒業生を引き続き育成支援できる体系にしていく。卒業生が業界で活躍し、地域の中核人材となることは地域経済活性化の先導となる。また、高校生、専門学校生にとって卒業生は身近な将来像でもあり、将来像の明確化は共通の目標設定や高専で一貫したカリキュラム構築の重要な要素となる。

3.3.2　動物系分野の現状と課題

◆動物系分野への高まる需要やニーズ

コロナ禍が長引く中、自宅での生活に癒しを求め、家族の一員としてペットを飼う人が増えている。一般社団法人「ペットフード協会」によると、2020 年に新たに飼われた犬と猫は、どちらも前年より６万匹以上増加、犬の新規飼育者飼育頭数は 46 万２千頭（前年比 114%増）、猫の新規飼育者飼育頭数は 48 万３千頭（前年比 116%増）となっている。また、近年では人と動物の関係が人に与える影響の重要性が認識され、動物を介在した介護や福祉、疾病治療や機能回復、教育に関する諸活動も行われるようになり、単なる愛玩動物としての飼養に留まらず、社会的意義も増している。

飼い主による健康管理やしつけの重要性、獣医療内容の高度化や多様化を背景に、「愛玩動物看護師」国家資格が誕生し、令和５年 12 月末までに第１回国家試験が実施されることとなっている。動物系専門学校では高まる需要や求められるニーズに対応すべく、さらなる教育内容を充実させているところである。

◆動物系業界の現状と課題

一般社団法人日本動物看護職協会は今後の動物看護師のあり方や課題を検討するため、「動物看護師の勤務実態に関するアンケート調査」を 2020 年７月に実施した。調査結果によると、年収が「200 万円未満」と回答した人が 327 人（26.3%）と最も多く、ついで「200～240 万円未満」が 285 人（23.0%）であり、約半数が年収 240 万未満で週 40 時間以上の勤務をしている状況であった。給与に対して、半数以上の 676 人（54.4%）が「不満」「非常に不満」と感じている結果となり、「満足」「ある程度満足」と回答した 565 人（45.5%）を上回っている。

また、就業規則の有無の問いに対して、「無い」の回答が 220 人（17.7%）、退職金についての問いでは「わからない」の回答が 441 人（35.5%）、労災保険の加入も「わからない」が 287 人（23.1%）であった。低賃金に対する不満や就業の不安定さはあるものの、「今後も動物看護師として働きたいと思う」と回答した人は 971 人（78.8%）と多く、仕事へのやりがいについても「非常に感じる」「ある程度感じる」の回答が 1073 人（86.5%）となった。

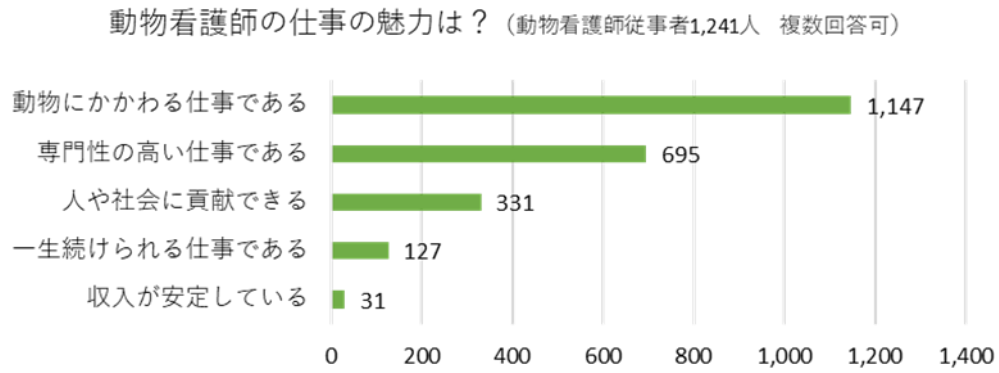


図 3-2　動物看護師の仕事の魅力

◆動物系分野における高専連携プログラム開発の必要性

当学園の動物系専門学校の卒業生も仕事へのやりがいを感じつつも、動物業界とは違った業種職種へ転職する者がいる。動物系分野への高まる需要と社会ニーズ、そして、地域の中核人材育成のために動物業界・企業も積極的に参入いただき、高専連携プログラムを開発する必要がある。

高校生及び専門学校生が「動物に関われること」はもちろん、「専門性」を身につけ、「人や社会への貢献」を認識し、「収入が安定し、長く続けられる動物関連の仕事」に就けるという好循環を本プログラム通じて実現していく。そして、我が国の労働生産性向上及び生涯を通じた学習機会の拡大に寄与する。

４　開発する教育プログラムの概要

4.1 内容

◆高校、専門学校の前後に位置する「中学」「卒業後」を含めた総合プログラムを開発

　高校生の「学習意欲の喚起」や専門学校生の「高まる需要・社会ニーズへの対応」「専門性を高めること」と同時に、「高校進学率の向上」や「高校中退防止」、卒業後の「業界定着率の向上」と幅広い課題解決のために、本事業で開発するプログラムは高校、専門学校の前後である「中学」「卒業後」を包括した総合プログラムとする。

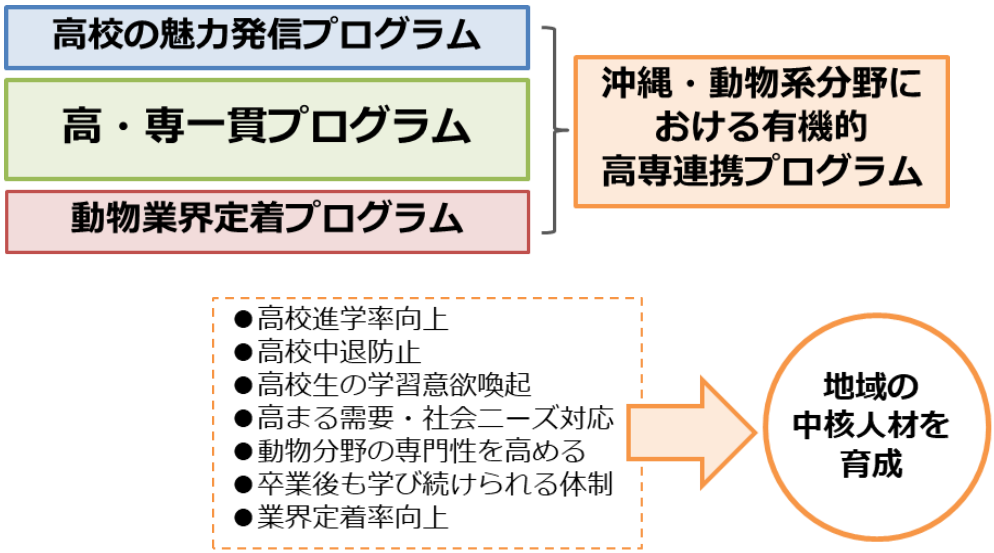


図 4-1　プログラム概要

◆問題意識を持ち、解決法を考え、実践できる人材を育成

プログラム名		解決課題	対象	解決方法　※詳細は次頁
高校の魅力発信プログラム		高校進学率の向上	中学校 高校	高校が中学校で農業・動物関連高校の魅力を伝え、専門高校への進学者を増やす
高・専一貫プログラム	高校	高校中退防止	高校	アニマルプロフェッショナルに触れ、将来像を明確化する
		高校生の学習意欲の喚起	高校	基礎的実践を通し、飼養に慣れ、成功体験を重ねる
	専門学校	専門性を身につける	高校 専門学校	高校3年次から準備を始め、資格取得を推進する
		動物系専門学校への高まる需要・社会ニーズに対応	専門学校	地域社会に貢献できるフィールドワークを実施する
動物業界定着プログラム		卒業後も学び続けられる体制	専門学校 企業	専門学校と企業が連携し、卒業後も学び続けられる体制強化
		業界定着率の向上	企業	働きやすい職場づくり支援、卒業後も専門学校で気軽に相談できる体制づくり

図 4-2　プログラムと課題解決方法

4.2　開発するプログラム全体図

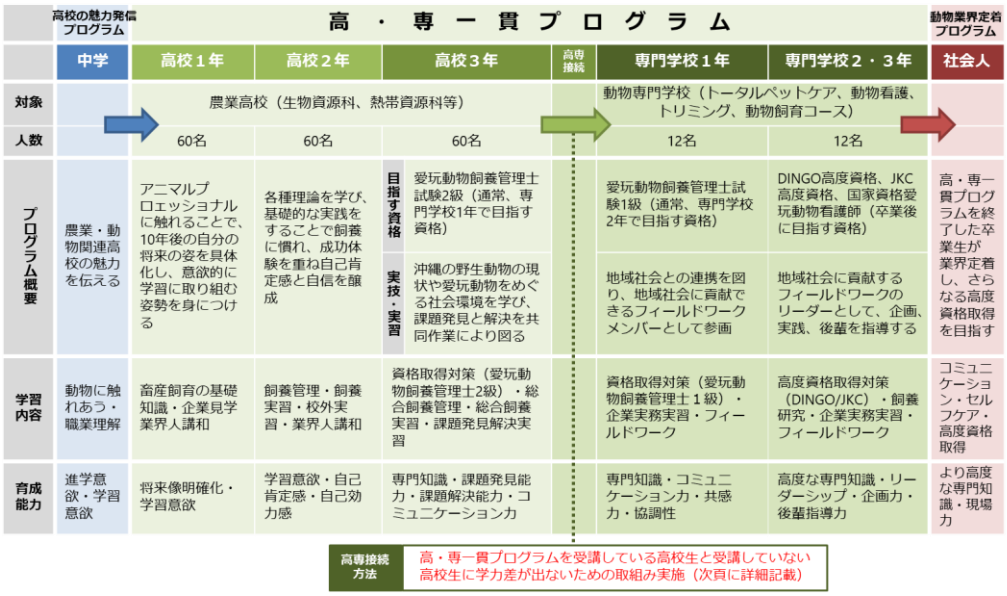


図 4-3　プログラム全体図

4.3　高専連携接続の課題と解決方法

高・専一貫プログラムを高校から受講している者と受講していない者で学習時期にズレが生じるが、資格取得対策の通信化、段階的に人材育成できるフィールドワークプログラムの開発により、受講・未受講での接続課題を解決、学習者全員を地域の中核人材へと育成していく。

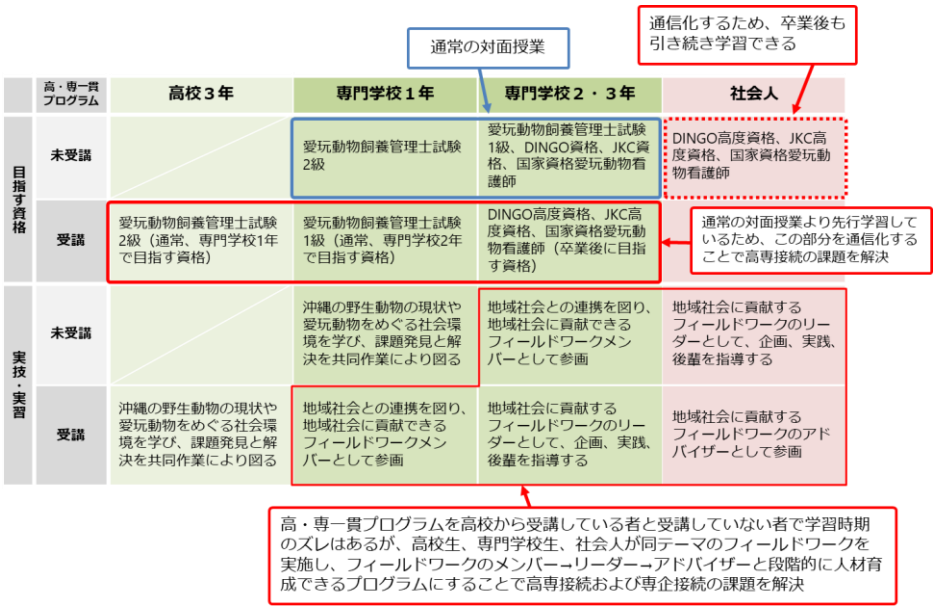


図 4-4　高専連携接続の課題と解決方法図

５　令和４年度の取り組み

１．カリキュラム開発
　　高校向けカリキュラム
２．教材開発
　　高校生向け教材、シラバス、コマシラバス開発
３．実証授業の開催
　　授業実施、アンケート集計、検証評価
　　※受講対象者：高校生
４．プログラム開発協議会開催
　　開発カリキュラム課題整理
　　高専接続方法検討
５．コーディネーター業務
　　高等学校、行政、企業の橋渡し
　　全体調整、進捗管理、体制構築
　　連携校、連携企業の開拓

６　事業実施に伴うアウトプット（成果物）

１．開発プログラム（高校３年向け）
２．教材、シラバス、コマシラバス
３．評価基準及び評価シート
４．事業報告書、Web サイトでの報告、事業 PR 動画

第２部　令和４年度の活動

１　令和４年度スケジュール

時期	連携プログラム開発協議会	高校向け実証授業	プログラム開発（オンライン教材）（キャリア教材）	コーディネーター業務
７月		カリキュラム開発		高校・行政・企業への周知、連携プログラム開発協議会運営 連携校、連携企業の開拓
８月	第１回開催	カリキュラム開発		↓
９月		実証授業		↓
10月		実証授業	（キャリア教材）	↓
11月		実証授業	（キャリア教材） （オンライン教材）	↓
12月	第２回開催	実証授業	（キャリア教材） （オンライン教材）	↓
１月	第３回開催		（キャリア教材）	▼
２月				事業報告書作成

表 1-1　令和４年度スケジュール

◆開発に向けた学内及び協力機関間での調整に関する見込み

<u>プログラム開発のための協議会開催</u>

プログラム開発に向け、高校・専門学校・教育行政・企業が横断的に連携するプログラム開発協議会を発足。

各機関より委員を選定し、現場の抱える課題や、解決に向けての方法を検討。

開催回数：令和４年度…年３回

２　連携プログラム開発協議会

2.1　連携プログラム開発協議会の設置

目的・役割	高等学校、行政、専門学校、企業の四者による高専連携プログラム開発に向けた協議会を発足、プログラム開発に向けた委員会を開催する。ヒアリング調査の分析、課題及びニーズ整理、開発内容の選定を行う。また、開発プログラムの課題整理、導入に向けた手順を整理する。		
検討の具体的内容	開発カリキュラム作成 開発カリキュラム課題整理 開発カリキュラム導入手順整理 開発カリキュラム検証 開発教材、シラバス、コマシラバス検証 実証授業教育効果検証 プログラム受講の高校生への学費減免検討 全国普及に向けた課題整理 全国普及に向けた取組み検討		
委員数	１３人	開催頻度	令和４年度：年３回

表 2-1　連携プログラム開発協議会

2.2　連携プログラム開発協議会の構成員（委員）

氏名		所属・職名	役割等	都道府県名
1	渡真利　学	沖縄県立中部農林高等学校教諭	委員	沖縄県
2	山城　篤	沖縄県教育庁県立学校教育課産業教育班　班長	委員	沖縄県
3	吉川　鉄平	学校法人シモゾノ学園国際動物専門学校・大宮国際動物専門学校　募集広報部　部長	委員	東京都
4	金城　高治	有限会社　ペットクラブオーシャン　代表取締役	委員	沖縄県
5	喜納　保	ペットメディカルセンター・エイル取締役	委員	沖縄県
6	翁長　朝	公益財団法人　沖縄こどもの国　動物みらい課　課長	委員	沖縄県
7	吉田　剛	学校法人ＫＢＣ学園　沖縄ペットワールド専門学校　副校長	委員長	沖縄県
8	仲松　謙	学校法人ＫＢＣ学園　沖縄ペットワールド専門学校　事務局長	委員	沖縄県
9	與那原　美奈子	学校法人ＫＢＣ学園　沖縄ペットワールド専門学校　教務課長	委員	沖縄県
10	崎山　孝司	学校法人ＫＢＣ学園　沖縄ペットワールド専門学校　就職課主任	委員	沖縄県
11	山城　正仁	学校法人ＫＢＣ学園　沖縄ペットワールド専門学校　教務課主任	委員	沖縄県
12	儀間　秀人	学校法人ＫＢＣ学園　沖縄ペットワールド専門学校　教務課主任	委員	沖縄県
13	伊禮　嘉本	学園本部　地域創生室	委員	沖縄県

表 2-2　連携プログラム開発協議会委員

３　キャリア教育用教材の方向性と具体案の検討

連携プログラム開発協議会に以下内容を諮った

3.1　キャリア教育の定義

「ひとりひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発進を促す教育」
（H23.1 今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について－答申－[文部科学省]）

3.2　キャリア教育で育成すべき能力

基礎的・汎用的能力

人間関係形成・社会形成能力	多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力
自己理解・自己管理能力	自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力
課題対応能力	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力
キャリアプランニング能力	「働くこと」を担う意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力

（H23.1 今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について－答申－[文部科学省]）
表 3-1　キャリア教育で育成すべき能力

3.3　高等学校におけるキャリア教育の目標

- 自己理解の深化と自己受容
- 将来設計の立案と社会的移行の準備
- 選択基準としての勤労観・職業観の確立
- 進路の現実吟味と試行的参加

（H22.2 自分を社会に生かし、自立を目指すキャリア教育[国立教育政策研究所生徒指導研究センター]）

3.4　高校生の発達課題

高校１年生	高校２年生	高校３年生
○新しい環境に適応すると共に他者との望ましい人間関係を構築する ○学習活動を通して自己の能力適性を理解する ○様々な情報を収集し進路選択の幅を拡げる	○他者の価値観や個性を肯定的に認め、受容する ○学習活動を通して勤労観・職業観を育成する ○自己の職業的な適性を理解し将来設計を図る ○進路実現に向けた課題を理解し、検討する	○自己の能力適性を的確に判断し、卒業後の進路について具体的な目標と課題を定め実行に移す ○理想と現実の葛藤を通して困難を克服するスキルを身につける

（H22.2 自分を社会に生かし、自立を目指すキャリア教育[国立教育政策研究所生徒指導研究センター]）

3.5　高専連携で育成できる具体的能力例

基礎的・汎用的能力

人間関係形成・社会形成能力	ビジネスマナー コミュニケーション力（傾聴力・会話力）
自己理解・自己管理能力	
課題対応能力	高専連携イベント （計画・実行・課題発見・課題解決）
キャリアプランニング能力	職業人インタビュー （学ぶこと、働くことの意義、多くの職業を知る）

3.6　キャリアプランニング能力向上プログラム例

基礎知識を学ぶ（動画教材・PPT・ノート、あるいはアクティブラーニング）
①沖縄の産業・雇用状況
②働くときに必要な基礎知識（知って役立つ労働法）
③会社・企業のしくみ

職業の多様性・働くことの意義を学ぶ（動画教材＋シート）
④職業人インタビュー

科　　年　　組　　番　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿（　月　日）

職業インタビューシート

これから、「職業図鑑」の動画を視聴します。
○印の枠の中に動画を見て発言内容を書き留めてください。
●印は動画を見た後に、思い出して書いてください。

視聴した職業

○一日の仕事の流れ

○仕事のやりがい

○仕事で大変なこと

○就職をしたきっかけ

○この仕事に向いている人

○仕事に必要な資格

●印象に残ったこと

●あなたが、明日からやること・目標を一つ決めてください。
例）毎日横をみて美顔の練習をする。英語の勉強を毎日する。挨拶をする。など

●今日お話を聞いた人へ質問があれば、自由に書いてください。

●他に、お話しを聞きたい職業があれば、書いてください。

3.7　委員意見

・非常に良い内容である。辛かった経験など負の部分についても触れていた点が評価されたと感じた。こちらの動画には高校時代の様子を聞く質問があり、実際の高校生たちにとって興味深い点だと思うと話していた。目指す業種で働く社会人が高校生の時はどうだったかという点は大事なのではないかと感じた。高校の先生からはこういった点で評価をもらった。

・もう少し働いている様子を入れた方が良いという意見があった。

・教材としては非常に良いと思う。実際に聞きながら記入すると難しいと思ったが、自身の現状を知るきっかけにもなり、それとしていいのではないかと思った。またＡ→Ｂ→Ｃというようにスキルが上がっていく内容にしても面白いのではと感じた。高校生の立場として見ても良い動画と感じた。

・メモをとりながらの視聴は大変ではあるが、会議での議事録作成など社会に出たときのことを考えると高校生にとっては力になる。生徒一人ひとり耳に残っている点が違うと思うので、お互いのメモをシェアできる時間を作っても面白い学びの場になるのではと思った。

・大事なポイントで一時停止するなど高校生向けに作られていて素晴らしい。こういった配慮があると目的が明確になり、最終的なまとめの段階まで組み込まれている点が重要だと感じた。
・動物看護師について詳しい話をしている内容だが、もっと短い動画でも良いので動物病院での１日の様子をビジュアルで知ることができる動画も必要だと思う。実際に動物看護師という仕事をイメージして進路を深めることがキャリアになっていくと思っている。すでにイメージを持っている人にとっては良い教材であるが、その手前にいる人へのアプローチも必要。動物看護師という職業を知っているか？　といった導入部分の後に今回の教材に入っていくという流れが「キャリア教育」という点ではではいいのではと思った。

・見ながら書くという作業は大変だと感じた。吉川委員からもあったように、動物看護師の日ごろの様子を教材の合間や冒頭に入れて、仕事をイメージできるようにする動画はあったほうがよいと思う。

・実際に動物病院で従事していた経験がある立場から見ても、この教材は仕事について理解できる内容だと思った。専門学生はこのような認識が高いので内容が伝わるが、高校生には仕事に関する動画があるとさらにイメージがつきやすくなると思う。
・動物病院は動物看護師だけではなく、獣医師や飼い主もいる。別の立場からみた動物看護師の必要性に関する言葉があると、仕事の必要性やイメージがさらに伝わるのではと思った。

・視聴する人が動物看護師という職業に全く興味がなかった場合、メモを取らないのではないかと感じた。吉川委員からあった導入の「前説」部分は非常に重要だと思う。それぞれ就職を考えている業種が違うので特に導入部分は大切。Ｚ世代の特徴として自分の好きなものには集中するが、それ以外はやりたくないという傾向が強いと聞いている。高校の教員に教材の利用を委ねるのであれば、なおさら導入部分は必要な点だと思う。メモを書けない（苦手とする）高校生は多いと感じている。

４　愛玩動物飼養管理士試験対策の方向性と具体案の検討

・愛玩動物飼養管理士試験対策に関しては、専門学校の教員が高校で行うと高校生の気持ちも上がると思う。この試験はオンデマンド教材を使ったスクーリング形式の受講が基本となっていると思うが、これらとは別の教材であるという認識で良いのか。

・本校では愛玩動物飼養管理士試験に対し、資格取得費用の高さから躊躇してしまっているところがある。今回のプログラム受講や試験取得のスクーリング、受験料などについて知りたい。

・本校では試験の２級取得を必須で１級は任意としている。中部農林高校の卒業生ですでに２級を取得して入学してくる人、最近ではすでに１級を取得している生徒も入学している。２級取得者の授業では１級の学習時間にあてている。

・今回の取り組みは専門学校とも連動性があり良いと思う。受験の費用負担も大きく、年々上がっている点を踏まえ、毎年受験の継続に対して職員同士で検討しているが、最低２級の取得は必要であると考えている。

第３部　キャリア教育連携実証授業

１　中部農林高等学校　職業講話①

1.1　実施概要

日時　令和４年11月５日　　10：00～12：00
対象　沖縄県立中部農林高等学校　熱帯資源科　１年生
人数　36名
講師　沖縄ペットワールド専門学校　仲松謙先生
内容　動物系の仕事

1.2　生徒アンケート結果

1.2.1　質問「本日の講話を受けて、仕事の内容が理解できましたか？」（平均4.9）

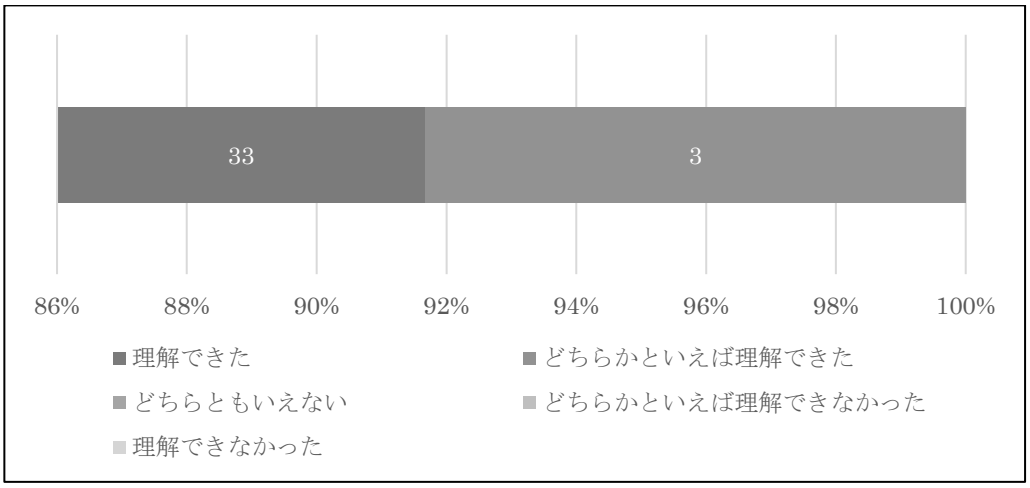


図 1-1　仕事理解度

100%の生徒が、「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と答えた。高専連携職業講話による職務内容理解度は非常に高い。

1.2.2　質問　「仕事に必要な知識がわかりましたか？」（平均 4.8）

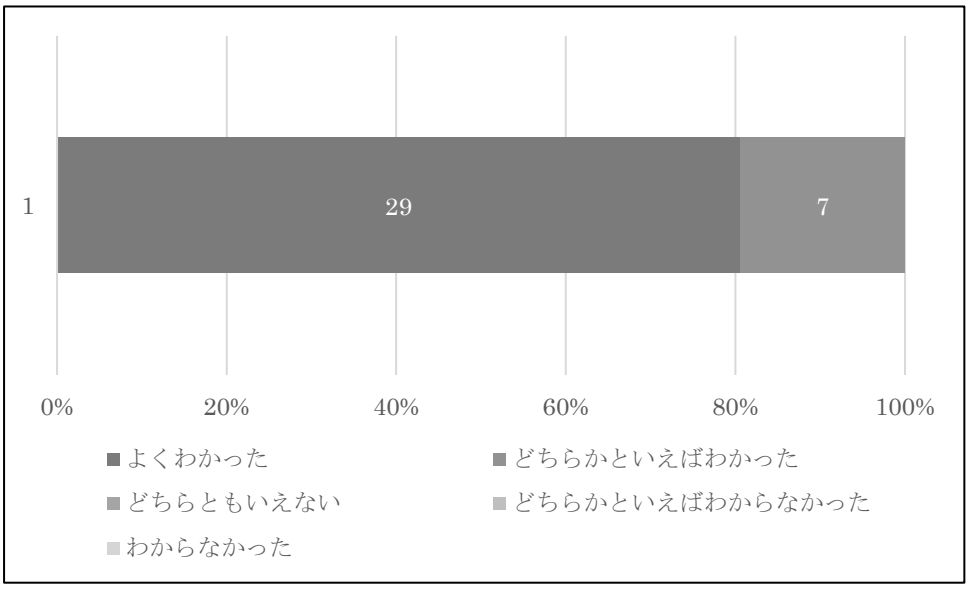


図 1-2　仕事知識

100%の生徒が、「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と答えた。
高専連携職業講話による職務知識理解度は非常に高い。

1.2.3　質問　「仕事に必要な資格や技術について理解ができましたか？」（平均 4.7）

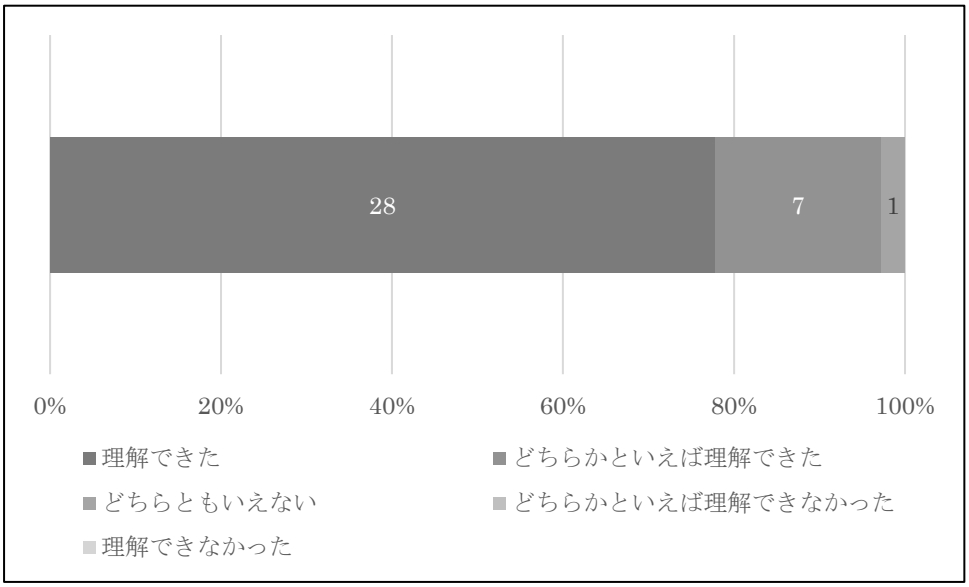


図 1-3　仕事資格

97%の生徒が、「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と答えた。
高専連携職業講話による必要資格・技術理解度は非常に高い。

1.2.4　質問　「必要な知識や資格・技術の学び方がわかりましたか？」（平均 4.6）

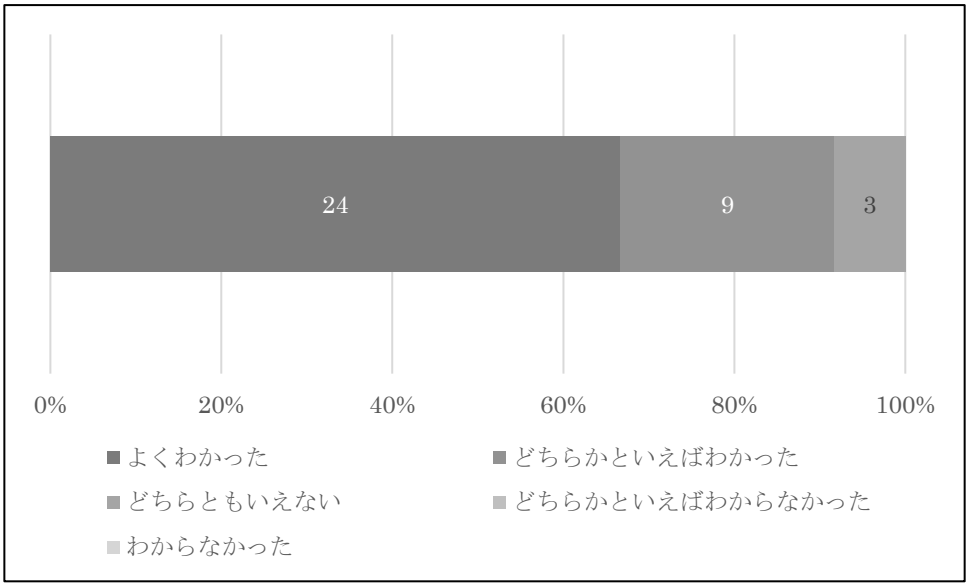


図 1-4　資格の学び方

92%の生徒が、「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と答えた。高専連携職業講話による知識、資格・技術の習得方法の理解度は高いが、他の指標と比較すると低く今後改善の余地がある。

1.2.5　質問　「特に印象に残ったことや初めて知ったことを、箇条書きで記入してください。」

※生徒の書いた原文を忠実に表現するため、誤字や文章の訂正・修正を行っていない。また、句読点の位置も原文のままにしている。

特に印象に残ったことは、最後の動物を中心とした生活になることです。今までは飼育員さんたちは、自分たちが中心で、動物が好きで、動物を世話していると考えていたけど、今日からは、動物が中心で、動物のために世話をする、好きだけじゃやっていけない仕事もあるんだと、印象に残りました。
印象に残ったことは、動物をよく観察するということです。どんな動物関係の仕事についても、動物を普段から観察して、体調や見た目などの変化にきづけないと、動物たちにとってストレスになってしまったり、辛い思いをさせる事になるので、仕事をつく（原文ママ）時にいちばん気をつけたいと思いました。
特に印象に残ったことは、動物関係のお仕事にはたくさんあって、それぞれには役割があることです。招介（原文ママ）されていない仕事もあるけどその中で自分たちがよく関わる獣医さんの話やその仕事に就くためにどんな資格を取ればいいのかが一番印象に残りました。動物看護師は 2023 年の３月から国家資格になることを初めて知りました。
自分が気になっていた仕事についてくわしくしれた。その仕事ではどんな資格・免許が必要かなど。他には動物を扱かった（原文ママ）仕事をしていくなかでどんな心がまえが大切か、どんなことが必要になってくるかなど分かった！
動物看護師の内容で、国家資格がいらなくて、2023 年から資格が必要だと初めて知った。 アニマルカフェは犬、ネコだけじゃなく、モンキー、ハリネズミ、はちゅう類、ふくろうのカフェもあるのに印象残った。（原文ママ）
動物取扱業は県への登ろくが必要 お店には責任者がいないとダメ 動物に関わる仕事には色々な資格がある。

動物に関わる仕事の種類と特徴 法律がたくさん関わっている 人と動物はあまりかわらない
トリマーやアニマルカフェの資格のこと 動物に関わる仕事の種類 動物に関わる仕事に必要な事（資格・技術・知識・やる気など）
・色んな結婚式の動画を見て、とても感動しました。 しんろうしんぷが考えて、サプライズなどをして、とてもすごいなと思いました。
動物にかんするほうりつは年々きびしくなっていること。 知識があってもけいけんがないといけないこと。
動物の仕事といっても、たくさんの種類があって、その中にも販売、保管、貸出、訓練、展示などたくさんのものがあることをはじめて知りました。
動物に関わる仕事がこんなにたくさんあることにびっくりしました。それぞれの仕事に必要な資格・免許・知識がくわしく聞けてよかったです。
動物に関わる仕事は、動物をしっかり観察することが大切であることが分かった。 トリミングにも犬によってカットのしかたが変わったりするのが面白いなと思いました。

動物に関する職業につくためには資格、免許が必要 技術、知識は持っとかないとやっていけない 生活が動物たち中心になるかもしれないことがわかった。
ペットショップ店員は販売するだけでなく、お客さんに的確にアドバイスをすることが大切だと初めて知った。
色々な仕事の内容が理かいできた。しらない職業もしれた。
将来自分でお店を出したいときとかは市役所に行って動物取扱業種別の紙が必要ということがはじめてわかりました。
トリマーの仕事で毛を抜くというやり方もあることを初めて知った。ドッグトレーナーと訓練士の違いを初めて知った。 動物取扱責任者という役職を初めて知った。
ペットショップではたらくのに資格がいることを初めて知ってびっくりしました。そのほかにも動物取扱業種にはどんなのがあるかなどもわかりました。
普通の医者に比べて動物の店員が少ない。動物に関わる仕事をすると動物中心になる。事業所立ち上げのときは県に登録する。資格や経験をした人を店に一人は責任者として配置する。肉体労働になるため根性が必要。
資格の分類の多さに驚いた。 店でよく見る証書が何だったのか分かった。
飼育技師は３年以上働かないととれないと初めてしった 潜水士の資格をもっていないとほとんどの水族館はやとってくれない

獣医や看護師以外の仕事には、免許がいらないことを初めて知りました。トリマーとか飼育とか訓練士とかも、免許があると思っていたので、勉強になりました。
中部農林高校で受けることができる「愛玩動物飼養管理士」の資格で販売・保管・貸出・訓練・展示全て申請することが出来る。
シュナウザーのトリミングは毛を抜いて毛が太くなることがわかった
県に登録する中でも、お店によってとかすることによって登録の内容が変わることを初めて知りました。動物看護師が 2023 年 2 月から国家資格が必要になるという所が印象に残りました。
自分は水族館スタッフになりたいから潜水士の資格の重要性に気ずける（原文ママ）ことになってとてもためになった。
動物たちは言葉を言えないので、体で表している。 資格か免許を必ず取る。 動物に関わる仕事は、案外、肉体労働。 沖縄には獣医の大学がなく、近くてかご島県 動物を中心とした生活になる。
動物に関わる仕事の中でも資格が必要ない所もあると初めて知りました。仕事について色々学べました。
ペットにかかわる仕事をするには、資格や免許、やる気やこんじょう、知識など色々なものが必要になることを学びました。
動物のお仕事につくのはあんいなことではないと知っていたけど、想像でした考えていなかったから講話きいてあらためてわかった。動物の仕事にも資格は必要とわかっていたけど、法律などがあることは知らなかった。

獣医は、国家資格をひつようとしているのに看護師は、ひつようじゃないということを初めて知りびっくりしました。2023 年からひつようとなることも分かりました。
今まで動物看護師は国家資格が必要じゃなかったけど 2023 年２月からは必要になると初めて知りました。
アニマルカフェやペットショップスタッフにも資格が必要とわかった。 動物に関わる仕事は、肉体ろうどうだからしかくやめんきょだけでなくやる気、元気が必要とわかった。
動物看護師は、免許なしではなれなくなってしまう。
沖縄には獣医師になるための大学がなく、内地に行かなければならないこと。 動物看護師は国家試験が今までなかったこと。
訓練士・ドックトレーナーは、ペットとして飼っている犬とは接し方が違くて、上下関係を重視しているという事を初めて知った。 動物取扱業種に、販売、保管、訓練など色々あるという事を初めて知りました。

1.2.6　質問　「本日の講話を聞いて、感じたことや思ったことを自由に書いてください。」

※生徒の書いた原文を忠実に表現するため、誤字や文章の訂正・修正を行っていない。また、句読点の位置も原文のままにしている。

今日の講話では、動物に関する仕事には知らない事だらけで、今まではネットで調べるだけだったのですが、実際に聞くのとは知ることが全然違うんだ、と感じました。この機会をいただきありがとうございます。
今日の講話を聞いて、動物に関わる仕事はたくさんあることがわかりました。でも、どんな職業にも共通でいえることは、動物をいちばんに思うことだということがわかりました。
私は将来動物関係のお仕事に就きたいと思っているので、どんな仕事があるのかがわかってよかったです。そして、その仕事をする上での資格や大切なことがたくさんあって動物のことをしっかり観察して、命の大切さを理解していけるようにしたいです。
動物にかかわる仕事の種類の多さや大変さなどを学べてよかったと思うし、色々なことがきけてよかったと思いました。
動物の仕事をいっぱいしょうかいしていてわかりやすくていねいにおしえてもらって楽しかったです。お話しした仕事以外にも動物の仕事があるのにびっくりした。
動物に関わる仕事では、資格・知識・根性などが必要だとわかりました。また、動物はしっかりと観察することが大切！！
自分が将来やりたいことに近づけた気がします。動物のためにはたらくということは、勉強も大変だし、肉体的にもきついことだけどたっせいかんやりがいなどもたくさん感じられるものなんだなと思いました。自分の大きい夢をきめて、それに向かって必要な資格、知識をつけて、動物とくらしたいなと思いました。
今日の講話を聞いて、興味のある仕事についてくわしく知る事ができたし、動物の仕事をするうえで大切な事も分かって良かったです。

自分の将来やりたい仕事について理解することができたし、そのためにはどんな資格とかが必要なのかがわかった。
いろんな動物に関わる仕事の話をきいて、自分のなかできょうみがある仕事にむかっていきたいと思いました。
知らない仕事がたくさんあって興味をもつことができました。その仕事にあった知識を今後たくわえながら将来のために役立てていきたいです。
動物に関わる仕事では、資格や免許さらには技術や知識などやる気、根性も必要だと聞いたので、資格や免許はとれるうちにとろうと思いました。
動物に関する仕事につくために、大学や専門学校にいって、資格・免許・知識・技術をつけていくことが大切で、動物が好きという気持ちも大切だった。
動物に関わるお仕事は動物をしっかり観察することが大切だと知ったので、思いやりをもって接していきたいなと思いました。
わかりやすかったです。もっと仕事に興味がわいたです。
トリマーとかは、ただ犬の毛をきるだけでなくて、何か病気にかかっていないかとか、ケガはしてないかなど毛をきること以外にもいろいろなところに注意しないといけないことが分かり、お仕事をするのは大変なことなんだなと思いました。
最近では犬の保育園があることを知ってすごいと思った。 ペットショップで働いている卒業生の話で知識があってすごかった。
今日の講話を聞いて、仕事に必要なことや資格のことなどがわかってうれしかったです。しょうらい自分の店をもちたいと思っていたので、それに必要なこともわかりました。今は、できるだけいろんな資格をとりたいと思いました。

動物に関わる仕事などは、好きだから始めたいと思うけどする人であれば、資格・検定や実地訓練や命に対する心がまえをしっかりしてやっていかないといけないと思いました。
今回の講話で、自分が就きたい仕事の資格とか内容とか大変さが分かって、それでもやっぱりこの仕事に行きたいと思えた。先生の話も分かりやすく、ききやすいからメモをとるのが楽しかった。
お客様にとって幸せな思い出をつくることに幸せを感じるいい仕事だと思いました。
講話を聞いて動物はしゃべれないから、少しの異変・変化に気づいてあげていかないといけないと、改めて強く思った。動物と関わる仕事は、とても大変だと思った。でも動物と関わる仕事について、動物を救いたいから勉強や資格をとるなどもっと頑張りたい。
動物の仕事につくにはあいきょうだったり、知識などが大切だが、特に、動物を観察するのが、一番大切だなと感じました。動物も大調（原文ママ）が悪い日はあるから、それを、気づいてあげられるようにしたいです。
動物の仕事をするうえで大切なことで、動物を観察すること。と話をしてくださったときに、確かにとても大切なことだと思いました。
やりたい仕事をやるために、必要な資格が少しわかった。
動物が好きで、将来、動物関係の仕事に就きたいと思っていたけど、調べるだけで、大人の方から話を聞いたりすることは少ないし、貴重なので、とてもいい時間になりました。将来について知るきっかけになりました。
動物が関わる仕事をするには先にかならず必要な資格や免許を取っておきたい。

本日の講話を聞いて、各仕事の内容や、どのようにすればその仕事の人になれるかを、知れたのでうれしかったです。あと、動物系の仕事はけっこう肉体的にキツいことを初めて知った。
動物関係の仕事では、動物看護師でも資格がなくても入れる所だと聞いて驚きました。しかし、来年には資格を必要としていて、大変だと思ったけど、命に関わる仕事なので将来はよく考えていきたいと思いました。
ペットワールドに直接行って話を聞きたいと思った。ペットワールドの学校案内や何をしているのかを知りたいと思った。
動物のお仕事につくのはそうかんたんじゃないけど、講話をきいてもっとがんばろうと思えた。まずは、資格取得もがんばるけど、動物を理解しよりそえる人になりたい。正しい知識も身につけて将来に役立てたい。
前までは動物にかかわる仕事を少しあまく見ていたけど今回の話を聞いて、それぞれ大変なことがあり、必要なこともあるんだなと感じました。話を聞けてよかったです。
動物に関わる仕事はいろいろ大変になるけど、やりがいとか楽しさもあるからとてもいいなとあらためて思いました。
動物に関わる仕事は、たくさんの種類があって、それぞれに資格が必要とわかりました。 動物の命を預かっている仕事も多いので、動物をしっかりとかんさつして体調かんりをする事も大切だと思いました。
他の仕事と比べ、動物を扱う仕事は、免許が必要だったり、たくさんの知識や技術が必要で、むずかしくかんたんになれる職業ではないと思った。
動物関係の職業は、自分がなりたいと思っていたもの以外にたくさんあり、必要な資格や仕事の内容がわかりやすいと思いました。

講話を聞いて、自分は将来やりたい仕事とか全然決まってなかったけど、本日の講話を聞いて、やりたい事が決まった訳じゃないけど、今何をするべきなのか、少し決まったのでいい話を聞けたなって思いました。

1.3　講師アンケート結果

質問１　本日実施していただいた講義の中で、生徒の**理解度を向上させる方法のアイデア**（講義方法や教材など）があればお書きください。

私自身の実体験や卒業生のエピソードを多く踏まえ、高校生がイメージしやすいように講義内容を構成した。また、講義中記入するワークシートも自由に書き込みができる形式にして、今後の進路選択の際に活用できるようにした。

質問２　本日実施していただいた講義の中で、生徒の**学習意欲を向上させる方法のアイデア**（講義方法や教材など）があればお書きください。

初めから動物に関わる仕事を紹介するのではなく、なぜ人は働かなくてはいけないのか？また動物に関わる仕事をするうえで重要なことなど、高校生に考えさせる時間も取り入れ、数人ではあるが発表もしてもらい、考えを共有するなど、少しではあるが、聴くだけの講義ではなく、学生も参加してもらえる機会を設けた。

質問３　本日担当していただいた講義の、ご感想、お気づきの点、改善点などがございましたら、ご自由にご記入ください。

高校生の授業を受ける態度がとてもよく、一生懸命に受講している様子がうかがえ、気持ちよく講義を行うことができた。 ただ、もっと双方向の講義展開ができるとよかった。

1.4　プログラム評価委員（授業参観者）アンケート結果

Q：本日の講義・実習を受講すると生徒の職務内容の理解は向上すると思いますか
A：５「向上する」

Q：本日の講義・実習を受講すると生徒の職業に対する意識は向上すると思いますか
A：５「向上する」

Q：本日の講義・実習は、高校教員の負担はどう変化すると思われますか？
A：３「どちらともいえない」

Q：本日の講義・実習の教育効果を評価してください。
A：５「教育効果は高い」

①＜実証授業全体の感想・評価＞

生徒の興味を引き付けながら全体に一体感がありとても良かったです。生徒に問い掛けを入れながらの進行で、生徒の集中力を維持できていてよかった。

②＜高専連携について解決すべき課題＞

高校側は高いレベルの講習を受けることができるが、専修学校側の授業を受けることになるので、「進学しなくても先に学べたから大丈夫」のような軽い考えの生徒が増えないか、少し不安がある。

③＜より教育効果の高い講義・実習のアイデア＞

教室での講義に加え、生体（実物）を見る、触れる機会または、野外フィールドワークを要求する生徒がとても多いため、体験的な要素を取り入れることでより教育効果が高まると思いました。

④＜中学生へのオープンキャンパス、学内実習、進路決定などへの展開アイデア＞

中学生へのオープンキャンパスでは、楽しさや動物の魅力を伝えることをメインとしたアニマルクイズなどを通して、動物の魅力を伝えていけたら良いかと思いました。

学内実習については、グルーミングの意義について振り返りが必要だと感じました。犬の基本事項についての掲示物を作成し、いつでも再確認できる環境をつくる必要があると感じました。

２　中部農林高等学校　職業講話②（コミュニケーションの重要性）

2.1　実施概要

日時　令和４年 11 月 12 日　　10：00～12：00
対象　沖縄県立中部農林高等学校　熱帯資源科１年生
人数　35 名
講師　沖縄ペットワールド専門学校　吉田剛先生
内容　コミュニケーション力の重要性

2.2　生徒アンケート結果

2.2.1　質問「この課題ではあなたが思った通り行動することができましたか？」（平均 4.4）

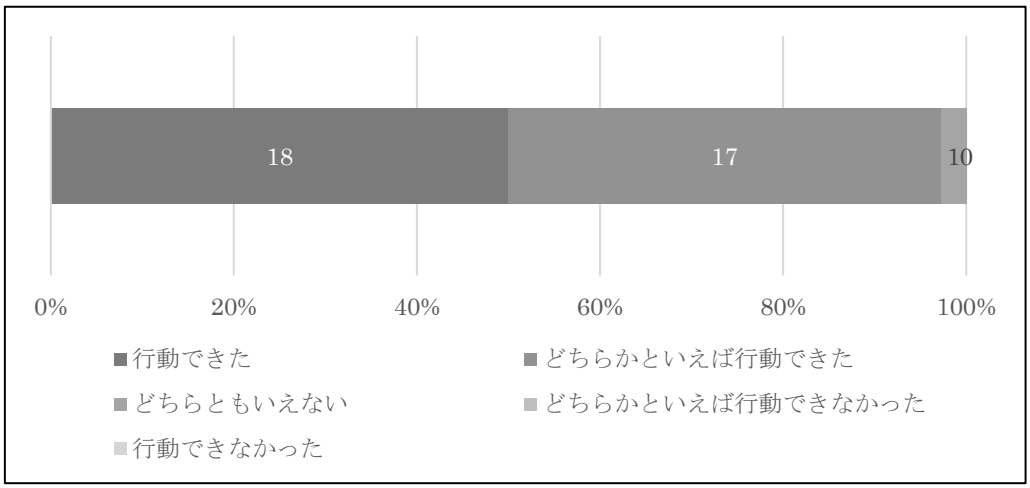


図 2-1　アクティブラーニングでの行動

97%の生徒が、「行動できた」「どちらかといえば行動できた」と答えた。

2.2.2　質問　「より深く自身のこと理解できましたか？」（平均 4.6）

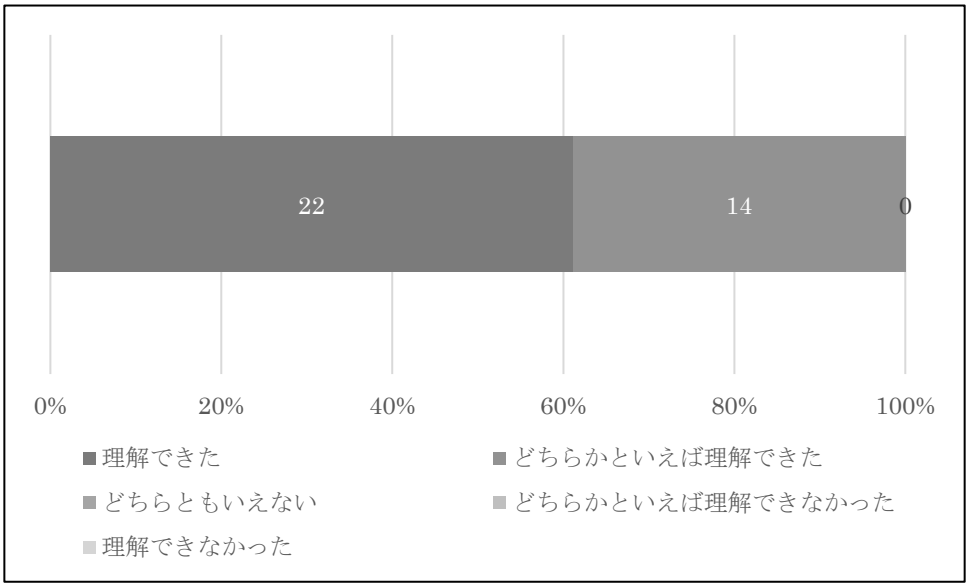


図 2-2　自己理解度

100%の生徒が、「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と答えた。

2.2.3　質問　「他人のことを前より深く知る事ができましたか？」（平均 4.4）

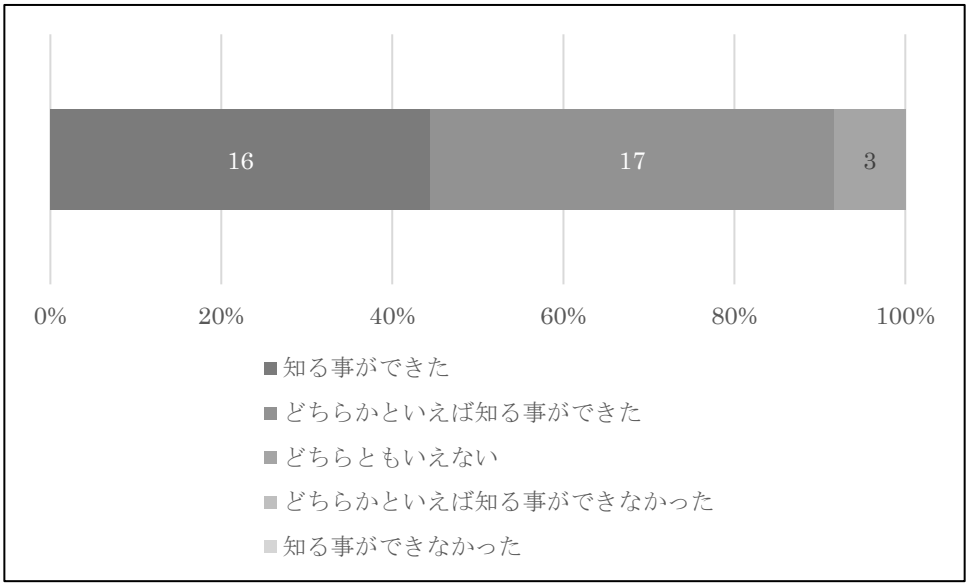


図 2-3　他人理解度

92%の生徒が、「知る事できた」「どちらかといえば知る事ができた」と答えた。

2.2.4　質問　「あなたにとってプラスになりましたか？」（平均 4.7）

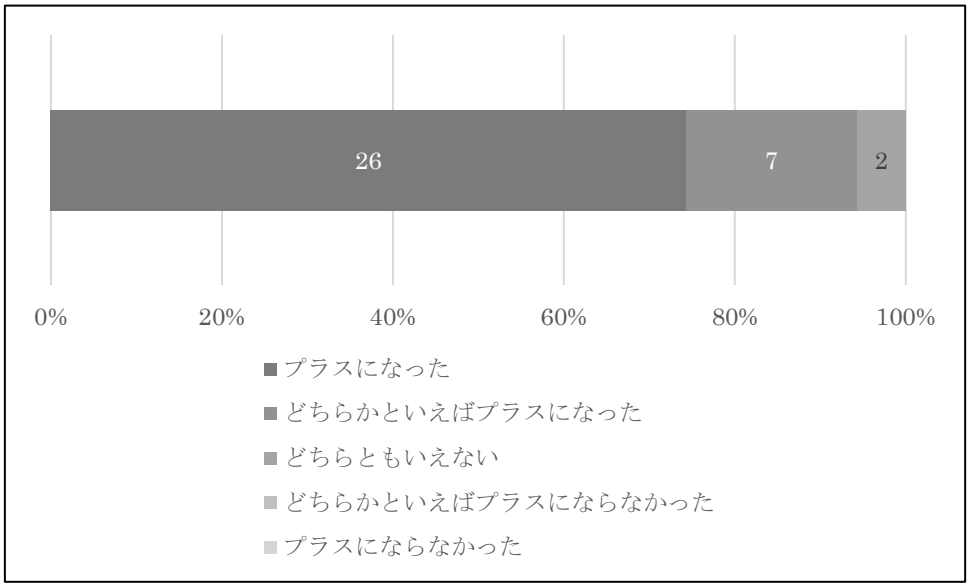


図 2-4　授業効用感

94%の生徒が、「プラスになった」「どちらかといえばプラスになった」と答えた。

2.2.5　質問　「特に印象に残ったことや初めて知ったことを、箇条書きで記入してください。」

※生徒の書いた原文を忠実に表現するため、誤字や文章の訂正・修正を行っていない。また、句読点の位置も原文のままにしている。

エゴグラムをした時に、自分はとても人身知り（原文ママ）だと思っていたけど、それとはちがう結果が出て、自分のことを深く知れて、印象に残った。
謎の宝島のゲームで私たちのチームが 1 番になることができました。ゲームをするときにまとめてくれる人がいてそのときに必要な情報をみんなが発信して共有できていたのがとてもよかったと思うし、気づいたことを伝えて聞くことができていたのでとてもいいチームだったです。
専攻してるコースによって、性格が違ったりする。 謎の宝島で最初にペンをもってかいた人はリーダーシップがある。 日本人は 1 の円満タイプが多い。
仕事には人と関わることが多いから、コミュニケーションが必要。 楽しく生きるには仕事をする。
本日の講話で特に印象に残ったことは、「エゴグラム」です。理由は、表の種類で自分は５の苦悩タイプでうつになりやすい、悩むタイプらしくて、自分はまさにそのタイプだったので当たってるー！って思ったので印象に残りました。
ビンゴとかエゴグラムとか初めてやったから、たのしかった。みんなでやるのもたのしかった！エゴグラムははじめて知った。
ゲームをすることで、みんなとの中が深まることがわかったし、自分の行動でどういうタイプの人間なのかも分かった。
エゴグラムで自分はどんな性格なのかが知ることができた。

○○○さんがリーダーシップがあること クラスメイトの人の事で色々な事を初めて知った。
エゴグラムで自分の行動を振り返ってるとき、「あ、自分こんなことしてたんだな」とか「そういえば大体こんな感じよな」と改めて自身の事を知れて楽しかった。
今日は色々なゲームをして、だから箱を探がす（原文ママ）ゲームではみんなで協力して出来たのでよかったです。
いがいな友達のとくぎや、いろいろなことが知れてよかった。
今日の講話で特に印象に残ったことはエゴグラムです。エゴグラムをして、自分はどんな人なのか前より自分自身の事がわかりました。
自分は意外と自由なタイプだったんだなと知りました。
人の話を聞くことは大切 皆で情報を共有しないと解けない 積きょく的にしゃべる
エゴグラムで自分の性格がわかっておもしろかった。 宝島少しむずかしかったけど、たのしかった
特に印象に残ったことはエゴグラム・チェックシートです。自分がどんな人なのかとか自分で気づかないことが多いのでグラフをかくことで自分ってそういう人なんだなってわかったからです。
宝さがしできいたらみんなが答えてくれたのでとてもやりやすくてよかってです。時間ギリギリだったけど宝を見つけることができてうれしかった。たっせいかんがあったのが印象にのこった。

なぞの宝島というゲームでみんなと協力して問題をかいけつすることができた。
自分には順応能力がゼロだということ みんなで協力して頭を使ったこと
なぞのたからじま　たのしかった
エゴグラムで自分の高いところや低いところなど知れて良かった
BINGO では、友達との共通点を知ることができた。 エゴグラムでは自分の性格はどんなかんじなのかを客観的にみれた
エゴグラムで本当に少しは当たっていてすごいと思った。自分が自覚してないことも、今日初めて人に言われて、自分のことを理解することができた。
宝島を探すゲームで必要な情報をスムーズにだすことで進められた エゴグラムでは自分の知らなかった内面などを知ることができた。
なんの仕事でもコミュニケーションが必要ということに印象に残りました。今日の島のゲームでもタイミングやしっかりつたわるように言うのも大切だと知った。
今までにやったことがないゲームをした コミュニケーション能力をはかるようなゲーム内容だった
クラスの半分が明朗パターンだった 男子は地図が読める。女子は人の話を聞いている

自分は献身タイプで、考えが高校生とかなんだなーって思った。 コミュニケーションは話すことだけじゃなく聞くこともコミュニケーションと知った。
謎の宝島の課題が難しかったけど、みんなで自主的に情報を伝えあったりできたので楽しかったです。 エゴグラムも、色んな人それぞれ結果がちがくて面白かったです。
エゴグラムで自分がどんなタイプか、わりいとこなどが分かった なぞの宝島ではみんなで楽しく協力してできた
ゲームを３つしたこと エゴグラムの結果が前やったときと結果が変わっててびっくりした。
最初にやったごちゃまぜビンゴがちょー楽しかったです。 エゴグラム 謎の宝島
エゴグラムで、クラスの半分が６だった。 謎の宝島で、役割も決めてないのに役割ぶんたんできてた。
女性は道に迷いやすいということを初めて知りました。自分のお母さんがよく道にまよう理由が少しわかった気がしました。
ゲームがウミガメのスープ的なものだったので、とてもやりやすかった。

2.2.6　質問　「本日の講話を聞いて、感じたことや思ったことを自由に書いてください。」

※生徒の書いた原文を忠実に表現するため、誤字や文章の訂正・修正を行っていない。また、句読点の位置も原文のままにしている。

謎の宝島で、最初はグループの中で意見を発信するのが自分に出来るか不安だったけど、みんなで情報交換していくと、意外と積極的に意見が出せてうれしかった
自分のことを知ること、相手のことを知ることで、よりコミュニケーションがとりやすくなったと感じました。そしてチームで１つの課題をかいけつするのがとても楽しかったです。
今日の講話を聞いて、仕事をする上で大切になることがコミュニケーション能力だと気づきました。ゲームをして、相手の話に耳を傾けたり、自分の事を話したりすることで、協力して解決することができたので、改めてコミュニケーションを大切にして普段から意識していきたいなと思いました。
人の話を深く詳しく聞いたり、理解するのは、大人になって仕事についたとき、とても重要で、役に立つことを感じました。また、自分が発言することで、チームのために少しでもなるとすごくうれしかったです。
楽しかったです。ためになったです。 宝のやつまたやりたい。
さいごにやったゲームは、みんなで協力しないとできないし、ふだんのせいかつでもひつようなことだから逝かしていきたいとおもった！
ビンゴとか宝ゲームとかを、協力し合ってすることによって、みんなと仲良くなれる（なれた）からよかった。
コミュニケーションは話すだけじゃなくて、相手の話もきくことだとわかった。

今日の講義で、クラスメイトについて前よりももっと知る事が出来たことと、ゲームのときにみんなで協力して終わらせることができて嬉しかったです。
最後の宝島ゲームで、情報を照らし合わせるのが大変だったけど、特徴を捉える力をきたえられたような気がして楽しかった。
今日のゲームでは、話し合いやコミュニケーションがとっても大事だと思ったし、クラスのみんのともっと仲良くなれた気がしたので良かったと思いました。
今日はゲームしかしなかったけど、その中にコミュニケーションの大切さがあり、とても、よい授業だったなと感じました。ほかにも、仕事でも、コミュニケーションがないとやっていけないと分かりました。
今日の講話を聞いて、グループ学習は友達とかかわる事ができてたのしかったし、あまり話した事のない人と話せてうれしかった。
宝島ゲームをみんなでやってみて楽しかったです。エゴグラムでも自分の意外なところを発見できたのでよかったです。
最後のなぞなぞは難しかったけど、みんなで協力して情報を共有したり、自分達の意見を言ったりして、無事に問題が解けた時とてもうれしかった。
宝島のときにみんなで情報を共有しながら話し合うことができて楽しかった。協力しながらやることは大切なんだなと思った。
あんまり、みんなの前で発言とかするのが苦手だけど、〇〇〇がみんなの話をしっかりきいてくれて、絵もかいてくれたので自分の意見などを言うことは大切だなと感じました
思ったのは、相手の言っていることをしっかり聞くこともコミュニケーションでは大事だと思った。BINGO ではみんなのことがあらたにしれたのでよかった。

今日の講話では、みんなで協力してがんばる事の大切さや、自分の良いところや悪いところを知る事ができました。
コミュニケーションはとても大切だということ。相手に関心を持ち少しでもコミュニケーションをとったほうがいいと思った。
前よりねむくなくて参加できた
宝さがしゲームで普段あまりやらないことだから楽しかった。リーダーシップがでるところなど人の特徴が知れておもしろかった。
宝箱をさがすことはむずかしかったけど、チームワークが大切だということに気づかされた。相手にわかりやすく情報を伝えることも大変だったけどたのしかった。
他人にはこう思われていることも、自分では感じられないことはあるんだーと思い、これから、より、自分の事も周りのことも観察してみたいと思いました。
今回の講話を聞いて、自分の内面はどうなっているのか向き合えたり、宝島を探すゲームで相手とたくさんコミュニケーションが取れて相手をよく知る事ができて楽しかったです。
ごちゃまぜビンゴで、いろいろな人と話すことも大切なんだなぁと思った。
ゲームをやった中で全て考えることが出来ました。ごちゃまぜビンゴと謎の宝島などはコミュニケーション能力をはかるような内容で、グループ全体でコミュニケーションを取り、協力して出来たので良かったです。
講話でゲームをした時に、あまりしゃべらない子が積極的にしゃべっていたり、絵（図）を書いてくれたので助かりました。グループのメンバーの行動が発言のおかげで宝がさがせました。

他の人や自分を知ったり、協力して答えを見つけたりすることが楽しかったです。ありがとうございました。
座ってペットや動物の話をたくさんすると思ってたけど、みんなでゲームする事が多くて楽しかった。
人はいろんなタイプがいて、みんないいとこ直したほうがいいところがあるんだなと思いました。グループの人などと協力して話し合いすることが大切だと分かりました。（きくこと、はなすこと）
謎の宝島では、意外にもむずかしくて 10 分くらいで出来るでしょと思ってたらだいたい 30 分くらいたってびっくりしました。
ごちゃまぜビンゴで自分以外のことをたくさん知ってエゴグラムで自分かどういうタイプなのか知って、最後にグループでゲームして、めっちゃ頭を使うことができた。このクラスは６タイプが多かった。
エゴグラムをして、アンケートで、はい、いいえ、わからない、だけで個人のだいたいの性格や特ちょうがしれるし、治し方までわかるからエゴグラムってすごいと思った。
今日の講話を聞いてエゴグラム・チェックリストで自分のことが少しわかったり、ごちゃまぜビンゴでクラスの人のことが少しわかったりしたのでうれしかったです。宝島のやつでも自分になんか情報ある？ときいてくれたのもうれしかったです。
ゲームを通してコミュニケーションの重要性に気づけた。

2.3　講師アンケート結果

質問１　本日実施していただいた講義の中で、生徒の**理解度を向上させる方法**のアイデア（講義方法や教材など）があればお書きください。

①一方通行の授業ではなく、双方向を意識した授業展開
②流れの説明→実施→落とし込みの順番で進める
③グループ作業によるコミュニケーションの大切さ

質問２　本日実施していただいた講義の中で、生徒の**学習意欲を向上させる方法のアイデア**（講義方法や教材など）があればお書きください。

①受動型ではなく、体験型の授業展開
②身をもって体感し、最後に趣旨説明を実施する
③一人が欠けても作業が進まない課題を経験する

質問３　本日担当していただいた講義の、ご感想、お気づきの点、改善点などがございましたら、ご自由にご記入ください。

高校で授業を実施する機会がなかなかない中、今回、このような機会を与えて頂き、大変感謝致します。また、中部農林高校の生徒達も真剣に取り組んで頂き、大変嬉しく思います。

社会人になるとコミュニケーションが大切という事は言わずと知られていますが、学生の間にどうやって向上させるかがキーポイントになると考えます。これまで、試行錯誤を繰り返しながら、今回の授業のようなコミュニケーションを向上させるプログラムを実施してきました。学生達（生徒達）も受動型ではなく、体験型の授業展開を実施する中で身をもって体感し、学習意欲も向上したと考えます。
しかし、単発でこの授業を実施する事では、コミュニケーションを向上させるには限界があるので、継続的な実施が求められます。その中で各種イベントや行事にあたり、今回のような受動型ではなく、体験型で進めることで、成果が得られると考えます。
最後に、今回、このような機会を与えて頂き、又、中部農林高校の生徒達も真剣に取り組んで頂き、大変感謝いたします。今後ともよろしくお願いいたします。

2.4　プログラム評価委員（授業参観者）アンケート結果

Q：本日の講義・実習を受講すると生徒の職務内容の理解は向上すると思いますか
A：５「向上する」

Q：本日の講義・実習を受講すると生徒の職業に対する意識は向上すると思いますか
A：４「どちらかといえば向上する」

Q：本日の講義・実習は、高校教員の負担はどう変化すると思われますか？
A：４「どちらかといえば負担は軽減する」

Q：本日の講義・実習の教育効果を評価してください。
A：５「教育効果は高い」

①＜実証授業全体の感想・評価＞

座学より実習など、行動することに興味を示す生徒達にとって、今回のリレーションを取り入れた内容はとても有効で、また、エゴグラムの結果について全体を通して分析を行うことで、考える力も向上したと思います。みんな集中していました。

②＜高専連携について解決すべき課題＞

お互いの年計のすり合わせを今後行っていく必要があるため、次年度のターゲットと学年（２学年）の年計作成について調整が必要

③＜より教育効果の高い講義・実習のアイデア＞

今回のように結果をもとに分析していく展開が、今後も有効だと思ったため、お互いの意見を出し合い、分析、結果、考察につなげる流れがとても良いと感じました。

④＜中学生へのオープンキャンパス、学内実習、進路決定などへの展開アイデア＞

本日の授業内容について、内容を参考に他のクラスでも実施してみようと思いました。

⑤＜その他＞

生徒達の新たな姿が見られ、とても良かったです。色々なパターンで試してみたいと思いました。ありがとうございました。

３　中部農林高等学校　目・耳の形態機能

3.1　実施概要

日時　令和４年９月10日
場所　沖縄ペットワールド専門学校
対象　沖縄県立中部農林高等学校　熱帯資源科　２年生
人数　19名
講師　沖縄ペットワールド専門学校　講師
内容　目・耳の形態機能

3.2　確認テスト結果

91点

４　中部農林高等学校　口腔の形態機能・エキゾチックアニマル

4.1　実施概要

日時　令和４年９月24日
場所　沖縄ペットワールド専門学校
対象　沖縄県立中部農林高等学校　熱帯資源科　２年生
人数　21名
講師　沖縄ペットワールド専門学校　講師
内容　口腔の形態機能・エキゾチックアニマル

4.2　確認テスト結果

口腔　97点、エキゾチックアニマル　99点

５　中部農林高等学校　動物のしつけ

5.1　実施概要

日時　令和４年 10 月 15 日
場所　沖縄ペットワールド専門学校
対象　沖縄県立中部農林高等学校　熱帯資源科　２年生
人数　19 名
講師　沖縄ペットワールド専門学校　講師
内容　動物のしつけ

5.2　確認テスト結果

動物のしつけ　96 点

６　中部農林高等学校　爬虫類について

6.1　実施概要

日時　令和４年 10 月 29 日
場所　沖縄県立中部農林高等学校
対象　沖縄県立中部農林高等学校　熱帯資源科　２年生
人数　18 名
講師　沖縄ペットワールド専門学校　講師
内容　爬虫類について

6.2　確認テスト結果

爬虫類について　97 点

７　実証授業資料

7.1　アンケート用紙（職業講話）

教育プログラムアンケート（生徒用）

本日の講義や講話の内容をよりよいものにしていくため、アンケートにご協力ください。なお、回答は無記名であり、みなさんの学習活動や成績評価などで不利になるようなことは一切ありません。

以下の質問に該当する番号に○をつけてください。

質問１　本日の講話を受けて、（その職業の）**仕事の内容が理解できましたか？**【職務内容理解】

5	4	3	2	1
理解できた	どちらかといえば理解できた	どちらともいえない	どちらかというと理解できなかった	理解できなかった

質問２　（その職業の）**仕事に必要な知識がわかりましたか？**【職務知識理解】

5	4	3	2	1
よくわかった	どちらかといえばわかった	どちらともいえない	どちらかというとわからなかった	わからなかった

質問３　（その職業の）**仕事に必要な資格や技術について理解ができましたか？**【必要資格技術理解】

5	4	3	2	1
理解できた	どちらかといえば理解できた	どちらともいえない	どちらかというと理解できなかった	理解できなかった

質問４　必要な**知識や資格・技術の学び方がわかりましたか？**【知識、資格・技術の習得方法理解】

5	4	3	2	1
よくわかった	どちらかといえばわかった	どちらともいえない	どちらかというとわからなかった	わからなかった

質問５　本日の講話の中で、「**特に印象に残ったこと**」や「**初めて知ったこと**」を、箇条書きで記入してください。

質問６　本日の講話を聞いて、**感じたことや思ったことを自由に**書いてください。

7.2　アンケート用紙（コミュニケーション）

教育プログラムアンケート（生徒用）

本日の講義や講話の内容をよりよいものにしていくため、アンケートにご協力ください。なお、回答は無記名であり、みなさんの学習活動や成績評価などで不利になるようなことは一切ありません。

以下の質問に該当する番号に○をつけてください。

質問１　この課題ではあなたが思った通りに**行動することができましたか？**【行動重要性理解】

5	4	3	2	1
思った通り行動できた	どちらかといえば行動できた	どちらともいえない	どちらかというと行動できなかった	行動できなかった

質問２　この課題で自分について、より深く**自身の事を理解できましたか？**【自己理解】

5	4	3	2	1
すごい自己発見	どちらかといえば理解できた	どちらともいえない	どちらかというと理解できなかった	理解できなかった

質問３　この課題で**他の人のことを前より深く知る事ができましたか？**【他者理解】

5	4	3	2	1
理解できた	どちらかといえば理解できた	どちらともいえない	どちらかというと理解できなかった	理解できなかった

質問４　この課題は**あなたにとってプラスになるものでしたか？**【自己容認】

5	4	3	2	1
よくわかった	どちらかといえばわかった	どちらともいえない	どちらかというとわからなかった	わからなかった

質問５　本日の講話の中で、「**特に印象に残ったこと**」や「**初めて知ったこと**」を、箇条書きで記入してください。

質問６　本日の講話を聞いて、**感じたことや思ったことを自由に**書いてください。

7.3　アンケート用紙（講師用）

教育プログラムアンケート（講師用）

講師名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

本日はお忙しい中、実証授業をご担当いただきありがとうございました。ご協力を心より感謝しております。この、文部科学省受託事業「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」で開発する教育プログラムをよりよいものにしていくため、以下のアンケートにご協力ください。いただいた貴重なご意見は、プログラム検討委員会で検討させていただき、教育プログラムに反映させて参ります。

質問 1　本日実施していただいた講義の中で、生徒の**理解度を向上させる方法**のアイデア（講義方法や教材など）があればお書きください。すぐに思いつかない場合は無記入で結構です。

質問 2　本日実施していただいた講義の中で、生徒の**学習意欲を向上させる方法のアイデア**（講義方法や教材など）があればお書きください。すぐに思いつかない場合は無記入で結構です。

質問３　本日担当していただいた講義の、ご感想、お気づきの点、改善点などがございましたら、ご自由にご記入ください。

7.4　アンケート用紙（プログラム評価委員用）

プログラム評価委員（授業参観者）用　学習プログラムアンケート

委員名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

この教育プログラムを学習者・教員にとってよりよいものにしていくため、講義・実習で使用した先端技術などについての教育プログラムアンケートにご協力ください。なお、本アンケートは実証授業報告書の定量評価分析に使用します。

質問１　本日の講義・実習を受講すると、**生徒の職務内容の理解度**は向上すると思いますか？（職務内容理解）

5	4	3	2	1
向上する	どちらかといえば向上する	どちらともいえない	どちらかというと向上しない	向上しない

質問２　本日の講義・実習を受講すると、**生徒の職業に対する意識**は向上すると思いますか？（職業意識評価）

5	4	3	2	1
向上する	どちらかといえば向上する	どちらともいえない	どちらかというと向上しない	向上しない

質問３　本日の講義・実習は、**高校教員の負担**はどう変化すると思われますか？（高校教員の負荷評価）

5	4	3	2	1
負担は軽減する	どちらかといえば負担は軽減する	どちらともいえない	どちらかというと負担は増える	負担は増える

質問４　本日の講義・実習の、**教育効果（生徒の受講前後の変化）**を評価してください。（教育効果）

5	4	3	2	1
教育効果は高い	どちらかといえば教育効果は高い	どちらともいえない	どちらかというと教育効果は低い	教育効果は低い

質問５　以下の項目について、いくつか取り上げていただき、ご意見・ご感想を自由にお書きください。

①実証授業全体の感想・評価

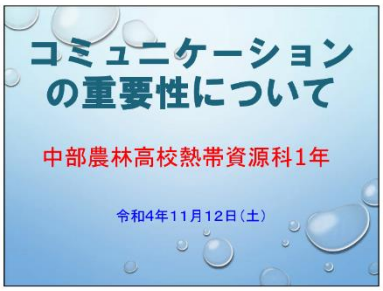
②高校と専修学校連携について解決すべき課題

③より教育効果の高い講義・実習のアイデア

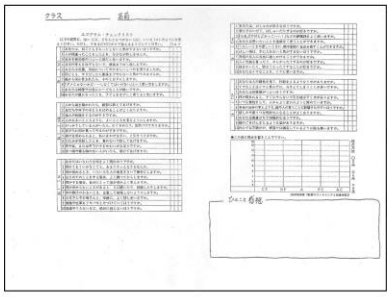
④中学生へのオープンキャンパス、学内での実習、進路決定などへの展開アイデア

⑤その他

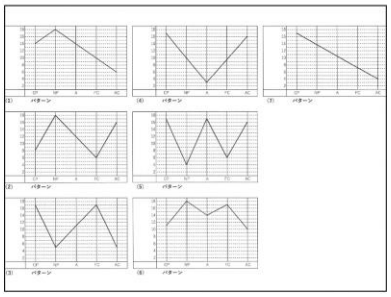
7.5　コミュニケーションの重要性

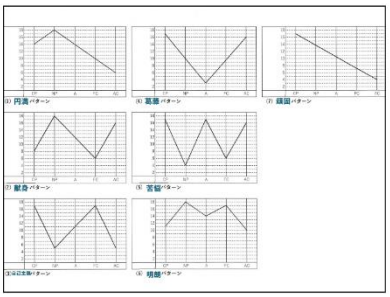


4　　5

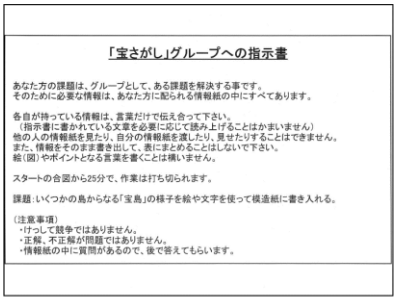


CP：批判的な私
NP：保護的な私
A：大人な私
FC：自由な私
AC：順応する私

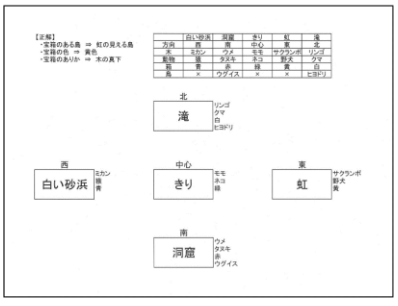




自己理解
①自身の事を知る
②自身の特性をつかむ

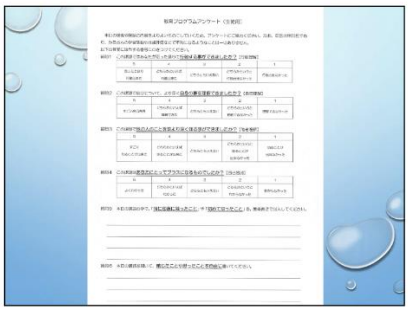

「宝さがし」グループへの指示書
あなた方の課題は、グループとして、ある課題を解決する事です。
そのために必要な情報は、あなた方に配られる情報紙の中にすべてあります。
各自が持っている情報は、言葉だけで伝え合って下さい。
（指示書に書かれている文章を必要に応じて読み上げることはかまいません）
他の人の情報紙を見たり、自分の情報紙を渡したり、見せたりすることはできません。
また、情報をそのまま書き出して、表にまとめることはしないで下さい。
絵（図）やポイントとなる言葉を書くことは構いません。
スタートの合図から25分で、作業は打ち切られます。
課題：いくつかの島からなる「宝島」の様子を絵や文字を使って模造紙に書き入れる。
（注意事項）
・けっして競争ではありません。
・正解、不正解が問題ではありません。
・情報紙の中に質問があるので、後で答えてもらいます。

謎の宝島


【正解】
・宝箱のある島 ⇒ 虹の見える島
・宝箱の色 ⇒ 黄色
・宝箱のありか ⇒ 木の真下
北
滝
西
白い砂浜
中心
きり
東
虹
南
洞窟

9

・協力体制
・情報発信・情報共有・情報整理
・傾聴
・情報発信のタイミング
・リーダーシップ
・役割



振り返りアンケート
の記入

①ごちゃませビンゴ
②エゴグラム
③謎の宝島
11月12日（土）

11

7.6　目・耳の形態機能

2022/12

愛玩動物飼養管理士

第Ⅴ編　動物の体の仕組みと働き　（赤い本）
第5章　情報を取り入れる

第Ⅶ編　動物の飼養管理〈各論〉（青い本）
第Ⅰ章　犬の飼養管理
第2章　猫の飼養管理

2022/12/2

眼および視覚について

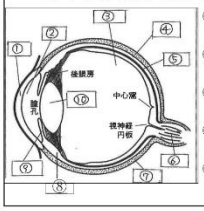
2022/12/2

五感って知ってる？

	犬	VS	人間
①	×		○
②	○		×
③	○		×
④	×		○
⑤	△		△

2022/12/2

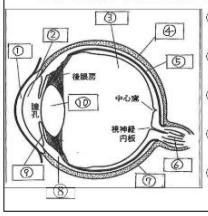
眼の構造を覚えよう！　赤本p229



①(　　):眼球の前面中央部をおおう膜
②(　　):眼房水という液体がある
③(　　):眼球全体の丸みを保つ、ゼリー状
④(　　):夜行性動物でタペタムが発達
⑤(　　):光の刺激を取り込む。
桿状体:明暗　錐状体:色

2022/12/2

眼の構造を覚えよう！　赤本p229



⑥(　　):光の刺激を電気信号に変えて脳へ
⑦(　　):眼球全体を保護
⑧(　　):虹彩や水晶体を調節
⑨(　　):光の量を調節
明るいと縮瞳、暗いと散瞳
⑩(　　):網膜へ焦点を合わせるレンズ

2022/12/2

第Ⅰ部　犬はどんな動物か
２　犬の特徴

⑤眼および視覚

◆短頭種
・眼が突出している
・鼻のしわが眼球に振れやすく、慢性的な接触で涙が出やすい、角膜の色素沈着、視力低下等を招く犬同士のけんかや事故による眼球脱出も起こしやすい犬種

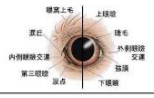
3

2022/12/2

第Ⅰ部　犬はどんな動物か
２　犬の特徴

眼および視覚　　青本ｐ７６

・犬の目は上下眼瞼の内側と角膜の外側の眼球面をおおう強膜には、多くの細かい血管が分布している
・強膜は炎症が起こると充血して赤くなり、貧血状態になると白くなる健康状態のチェックにもなる
・瞬膜とよばれる第三眼瞼があり、角膜表面の異物をぬぐいとる役割



4

2022/12/2

第Ⅰ部　犬はどんな動物か
２　犬の特徴

⑤眼および視覚

◆視覚
・犬の視覚は嗅覚や聴覚に比べるとかなり鈍い感覚
・眼は３週齢ごろから見え始めるが、はっきりとした色覚はない
・人間の視力でいうと（　　）くらいしかない
・近くのものに焦点を合わせることが苦手なため、目の前２０～３０ｃｍはぼやけてしまいほとんど見えていない
・犬の網膜には、視覚細胞のうち（　　）を区別する桿状体（かんじょうたい）は多数分布しているが、（　　）をつかさどる錐状体（すいじょうたい）の数が非常に少なく、そのため犬は色をはっきり識別することができない
・桿状体の数は多いため、かなり暗くても物を見分けることができる
・眼が側方に位置しているので視野が広く、瞳孔が大きいから、遠くにある動くものには敏感に反応する

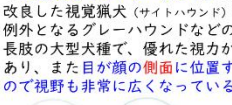
4

2022/12/2

2022/12/2

第１部　犬はどんな動物か
２　犬の特徴　⑤眼および視覚

◆視覚猟犬（サイトハウンド）犬は視力が弱いが、人間が改良した視覚猟犬（サイトハウンド）は例外となるグレーハウンドなどの長肢の大型犬種で、優れた視力があり、また目が顔の側面に位置するので視野も非常に広くなっている。



第１部　猫はどんな動物か
３　猫の特徴

眼および視覚　　赤本ｐ９９

・猫の目の構造はほとんど犬と同じ。違いとしては、犬の瞳孔が円形に縮小・散大するのに対し、猫の瞳孔は縦長であることがあげられる。

・猫の瞳孔は光に敏感。
暗所では瞳孔を（　　）、
明所では瞳孔を（　　）し、
網膜に到達する光の量を調節。

第１部　犬はどんな動物か
２　犬の特徴

第１部　猫はどんな動物か
３　猫の特徴　④　眼および視覚

・猫の眼は、青と緑は認識できるが赤は認識できないといわれている。

・焦点の調節がうまくできず、視界はぼやけていて、視力は人間の１０分の１程度だが、薄暗がりでの対象の動きをとらえる能力は極めて優れている。

・眼が顔の前面に並んでいることによって、視野の重複部分が大きく、両眼視によって獲物までの距離をきわめて正確に測定することができる。

2022/12/2

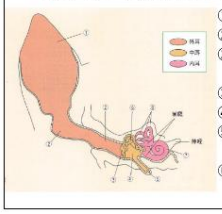
7

耳および聴覚について

8

2022/12/2

眼の構造を覚えよう！ 赤本p229



①(　　):「耳たぶ」のこと、集音
②(　　):　人にはない道
②(　　):　人にある道
③(　　):振動を鼓膜から内耳へ
④(　　):空気がある
⑤(　　):中耳内の気圧を外気圧と同じに保つ
⑥(　　):振動を鼓膜から内耳へ

9

2022/12/2

第１節　犬はどんな動物か
２　犬の特徴

耳および聴覚　　青本ｐ75

犬同士のコミュニケーションの際の表情の変化にも重要な役割を果たしている。

◆犬の耳介（耳翼）

本来は野生動物と同じように直立してよく動いたが、家畜化による退行現象により耳の筋肉がゆるみ、折れたり垂れさがったりするようになるとともに、人間が実用性や外観上の好みに合わせて品種を改変。

・犬の形状のタイプ…「　　」「　　」「　　」

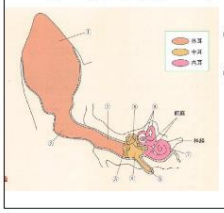
◆耳の形の変化による疾患発生率の増加

垂れ耳犬種、外耳道にも多くの毛が生えている犬種、耳内のひだが大きく厚ぼったい犬種などは耳疾患の発生が多い。

10

2022/12/2

眼の構造を覚えよう！ 赤本p229



⑦(　　):　音の振動を感知
⑧(　　):　回転を感知
(　前庭　):　傾き（バランス）を感知

11

2022/12/2

第１節　犬はどんな動物か
２　犬の特徴

④耳および聴覚

◆　断耳

尾と同じように犬種の標準という観点から垂れ耳を直立させるために耳の軟骨の一部を切除する

本来：垂れ耳の作業犬種の聴覚を改善したりするなどの実用的な目的

その後：美容上の目的のみで行われるようになっていたため、動物愛護の観点からヨーロッパ諸国を中心に断耳禁止の法律が制定され始めている。

12

2022/12/2

第１節　犬はどんな動物か
２　犬の特徴

④耳および聴覚

◆犬の聴覚を活かした仕事

・アメリカで１９７５（昭和５０）年 聴導犬が誕生

・日本では１９８１（昭和５６）年
日本小動物獣医師会が聴導犬普及協会を発足

・生活全般にわたって補助犬使用者の 耳の代役を果たすことができる犬の聴覚は寝ているときにも活動しているので、２４時間いつでも危険察知して補助犬使用者に知らせることができる

13

2022/12/2

第１節　犬はどんな動物か
２　犬の特徴

④耳および聴覚

◆聴覚

・嗅覚について鋭い感覚

・野生の生活では、聴覚は外敵から身を守るだけでなく、獲物を捕食するときにも重要な感覚

・生後間もない犬の耳は周囲の皮膚や筋肉でふさがれており、聴覚器として機能し始めるのは生後３週間前後

・聞き取れる振動数
人間：平均２０Ｈｚ～２万Ｈｚ　犬：１６Ｈｚ～１２万Ｈｚ

・音源の方向を知る（音源定位）能力
人間：１６方向　　犬：３２方向

・犬の耳は人間の耳のように固定されておらず、音源に向け前後左右に自在に動かすことができる運動耳

14

2022/12/2

第１節　猫はどんな動物か
３　猫の特徴

耳および聴覚　ｐ９８

・猫は１２以上の筋肉を駆使して、耳介を正確かつ微妙に動かす。耳を１８０°も回転させ、必要に応じて左右の耳介を別々に動かし、獲物の位置や危険な存在を感知。

・犬はパンティングで体温を調整しているが、猫はよほど暑くない限り、そういうことをしない。猫は耳介に多数分布している毛細血管を収縮・拡張させたりすることで、耳介でも体温調節している。

・内耳の三半規管など平衡感覚器がよく発達しており、地上だけでなく樹上も含む立体的な環境で生活するための適応。

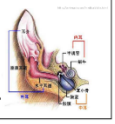
15

2022/12/2

第１部　猫はどんな動物か
３　猫の特徴
③　　耳および聴覚

・猫の五感の中で最も優れているのは聴覚で、
６万５０００Ｈｚ高周波の音まで聞き取ることができる。
野ネズミなどが発する超音波の鳴き声、獲物が歩き回る
ときのカサカサという高周波を聞き分ける。
家電製品などから発せられる微弱な音には、強いストレスを
感じるようだ。

・猫の目の色や被毛の色と
聴覚障害には遺伝的な
関係があり、白毛で目が青い
個体には、(　　)障害を持つものが多い。



耳および聴覚

◆平衡感覚ってなに？ないとどうなる？

・体の傾き（前庭）、体の回転（三半規管）を感知して
正しい姿勢に戻そうとする。バランスをとること。

・立てない、まっすぐ歩けない

13

7.7　口腔の形態機能・エキゾチックアニマル

2022/12/

2022/12/2

愛玩動物飼養管理士

第Ⅶ編　動物の飼養管理〈各論〉
第１章　犬の飼養管理
第2章　猫の飼養管理

犬や猫の歯

・犬

・猫

犬と猫の歯を書いてみよう。

・犬

歯の数は何本？（　　）

・猫

歯の数は何本？（　　）

今日の学習目標は

①歯の構造を覚える。

②犬と猫のそれぞれの違いが分かる。

2022/12/2

2022/12/2

まずは歯の構造から、、、

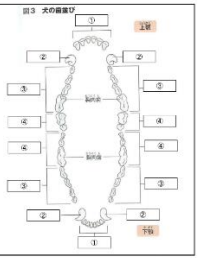
歯　ｐ７７

①（　　）

②（　　）

③（　　）

④（　　）

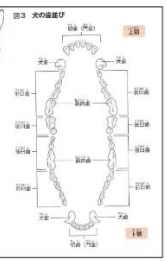


第１節　犬はどんな動物か
２　犬の特徴

◆歯の生える時期
・人間と同じように乳歯から永久歯に生え替わる
・出生時：歯がない
・約３週齢：乳歯の生え始め
・約８週齢：これまでに（　　本）すべて生えそろう
・約１３週齢：乳歯の切歯から抜け始める
・永久歯は、生後３か月前後から生え始め、
　生後６か月で生えそろう
◆永久歯
　切歯：上下６本ずつ　　犬歯：上下２本ずつ
　前臼歯：上下８本ずつ　　後臼歯：上４本、下６本
　合計　　本

第１節　犬はどんな動物か
２　犬の特徴

歯　青の本ｐ７６～ｐ77
・獲物に突き刺す（　　）。
・前臼歯と後臼歯が肉を切り
　裂くよう変形した（　　）。
・肉食動物の典型的特徴をもつが、
　雑食性なのでネコ科に比べると
　鋭さはやや劣る。
・獲物に食らいつきやすいように口は
　大きく開く。
・咬合力は人間に比べて数１０倍も強い



第１節　犬はどんな動物か
２　犬の特徴

◆歯式を覚えよう！　赤の本ｐ２１０

犬の歯式（ 42 本）

	I	C	P	M
上顎				
下顎				

I:(incisor)　切歯
C:(Canine)　犬歯
P:(premolar)　前臼歯
M:(Molar)　後臼歯

猫の歯式（ 30 本）

	I	C	P	M
上顎				
下顎				

I:(incisor)　切歯
C:(Canine)　犬歯
P:(premolar)　前臼歯
M:(Molar)　後臼歯

2022/12/2

第１節　犬はどんな動物か
２　犬の特徴
歯

◆注意
・歯周病になりやすい飼い犬は野生の祖先に比べると獲物を捕まえて引き裂くなどの機会が大幅に減少し、そのことが歯や口内の病気の発症率を高めているといわれている

◆咬み合わせ
・口を閉じたときに、上下の切歯がわずかに重なるのが理想的な咬合

・不正咬合　＊一部の犬種は不正咬合でも正常とみなされている。
「オーバーショット」「アンダーショット」

2022/12/2

第2節　犬と暮らす
日ごろの手入れ

◆歯磨き
人間よりも歯垢や歯石が付きやすいので歯磨きは毎日行うようにする。犬用の歯ブラシや人の指にガーゼを巻き付けて、やさしくふき取るように磨く。

乳歯遺残

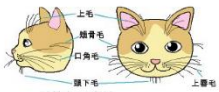
犬はおわり･･･次はねこ

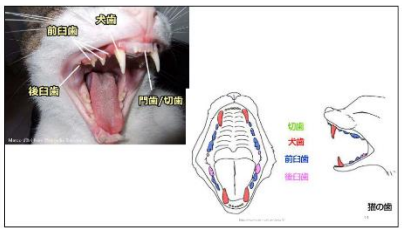
2022/12/2

第１節　猫はどんな動物か
３　猫の特徴
猫の歯　青の本ｐ100
・肉食動物独特のもので、犬よりも肉食傾向がずっと強いので、肉を切り裂く臼歯（裂肉歯）が強大で本数が少なく、口の最も奥にある後臼歯は上顎では痕跡的にしかない。
・生後２～３週で乳歯が生えはじめ、犬歯、切歯、臼歯の順で生後約８週目までに　　本が生えそろう。
・生後３か月から６か月で永久歯に生え替わる。
・永久歯は切歯が上下６本ずつ、犬歯が上下２本ずつ前臼歯が上６本、下４本、後臼歯が上下２本ずつ計　　本。
・切歯は非常に小さく、食物を食べるためより、毛づくろいのときのくしとして使用。

2022/12/2

第１節　猫はどんな動物か
３　猫の特徴
⑤　ひげ　青の本ｐ９９
・猫の重要な感覚器。毛の一種だが、ふつうの被毛とは異なり、触毛ともよばれる。
・毛根部は深く、三叉神経が分布していて、風がそよぐ空気の振動などわずかな刺激でも敏感に感知する。





第１節　猫はどんな動物か
３　猫の特徴
⑤　ひげ

・目立つひげは上唇に生えているが、下顎、目の上部、頬にも生えている。上唇の最も長いひげは自分で動かすこともでき、狩りの時は獲物の方向へ向け、獲物の動きを探る。

この敏感なひげは、障害物との距離の測定にも使われる。狭いところを通ろうとするとき、自分が通り抜けられる大きさかどうかを判断するためにも使われる。

・ひげを切られると、猫は危険を察知できなくなる。

2022/12/2

その他の動物たちの歯

2022/12/2

イルカの

オサガメの

ゾウの

2022/12/2

時間があれば…味覚について

・人の味覚
「　　」「　　」「　　」「　　」「　　」

・犬の味覚
「　　」「　　」「　　」「　　」

・猫の味覚
「　　」「　　」「　　」

舌にある
で感知

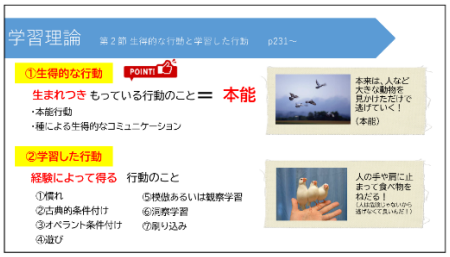
常に今日は明日の準備です
今日やったことは
必ず明日に返ってくる

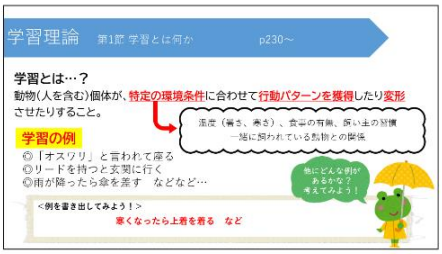
以上で授業終了です。
ありがとうございました。

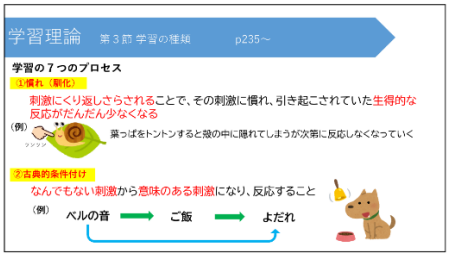
7.8　動物のしつけ

2022/12/2

2022/12/2

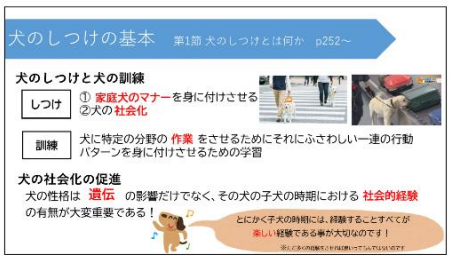




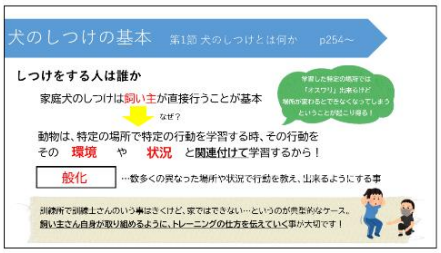


2022/12/

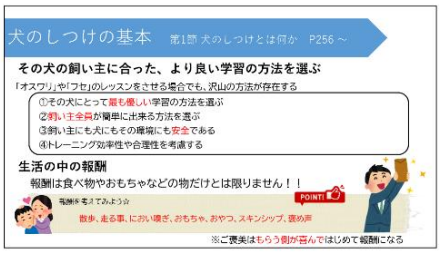
2022/12/2



2022/12/2



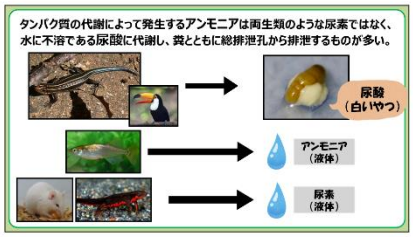
2022/12/2



7.9　爬虫類

2022/12/2

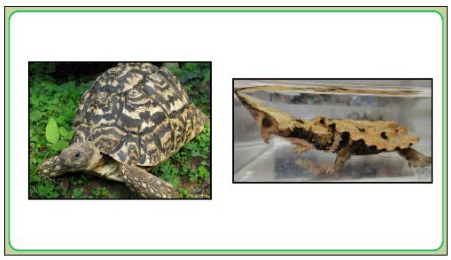
2022/12/2



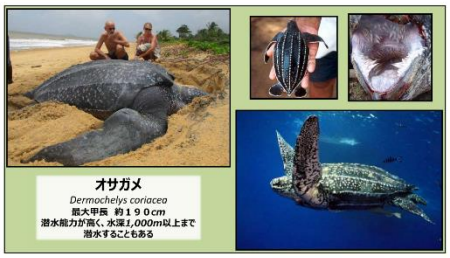
2022/12/2

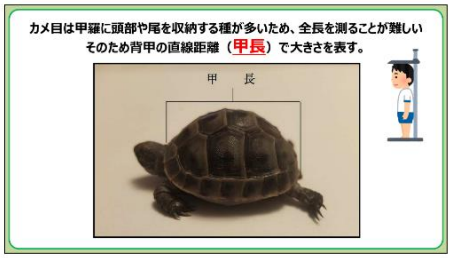
2022/12/2

2022/12/2



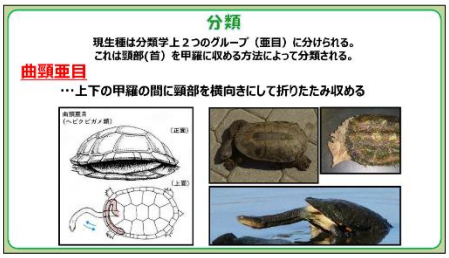
2022/12/2





2022/12/2

2022/12/2



2

2022/12/2

20

2022/12/2

2022/1

形態

胴と尾の区別は、一般的に総排泄孔から先が尾とされており、
骨格を見れば胴体と尾の境界はある（胴体には**肋骨**があり、尾にはない）

2022/12/2

オオアナコンダ

Eunectes murinus
最大全長　９００*cm*
分布　アマゾン川流域

2022/12/2

アミメニシキヘビ

Python reticulatus
最大全長　９９０*cm*
分布　東南アジア

2022/12/2

一部の種では赤外線を感じ取る**ピット器官**を持つ

この器官により他の脊椎動物では類を見ない
「赤外線視覚」を獲得した。

2022/12/2

生態（食性）

2022/12/2

アフリカタマゴヘビ
Dasypeltis scabra

イワサキセダカヘビ
Pareas iwasakii

7.10　職業講話

動物に関わる職業

氏名：

1. あなたにとって働く目的、意義を考えてみよう（いくつでも構いません）。

2. 興味のあった仕事について、その仕事の内容についてまとめてみましょう。

仕事：

仕事：

仕事：

3. 動物に関わるお仕事に必要なこと

4. 動物の仕事をするうえで大切なことは何ですか（いくつでも構いません）？

将来の進路選択の参考にしてください。

動物に関わる資格・検定等一覧（一部抜粋）

職種	資格	団体
トリマー	トリミングライセンス	JKC
ペットシッター	ペットシッター士	日本ペットシッター協会
ドッグトレーナー	インストラクター	D.I.N.G.O.
訓練士	公認訓練士	日本警察犬協会
アニマルカフェ	ペット栄養管理士	日本ペット栄養学会
ペットショップスタッフ	ペットフード販売士	一般社団法人ペットフード協会
飼育員	飼育技師	日本動物園水族館協会
水族館スタッフ ドルフィントレーナー	潜水士	国家資格

動物取扱業種別

業　種	業の内容	当該する業者の例
販　売	動物の小売及び卸売並びにそれらを目的とした繁殖または輸入を行う業（その取次または代理を含む）	小売業者　卸売業者　販売目的の繁殖又は輸入を行う業者　露天などにおける販売のための動物の使用業者
保　管	保管を目的に顧客の動物を預かる業	ペットホテル業者　美容業者 ペットシッター
貸　出	愛玩、撮影、繁殖その他の目的で動物を貸し出す業	ペットレンタル業者 映画等のタレント・撮影モデル 繁殖用等の動物派遣業者
訓　練	顧客の動物を預かり、訓練を行う業	動物の訓練・調教業者 出張訓練業者
展　示	動物を見せる業（動物とのふれあいの提供を含む）	動物園・水族館　移動動物園 動物サーカス　乗馬施設 アニマルセラピー業者
競りあっせん業	動物の売買をしようとする者のあっせん開業を設けて競りの方法により行う	動物オークション （会場を設けて行う場合）
譲受飼育業	有償で動物を譲り受けて飼育	老犬老猫ホーム

動物取扱業責任者要件資格（一部抜粋）

資格	団体名	販売	保管	貸出	訓練	展示
愛玩動物飼養管理士	公益社団法人日本愛玩動物協会	○	○	○	○	○
家庭動物販売士	一般社団法人全国ペット協会	○	○	○		○
公認訓練士	社団法人日本警察犬協会		○		○	
公認馬術指導者資格コーチ	財団法人日本体育協会	○	○	○	○	○
実験動物技術者	社団法人日本実験動物協会	○	○	○		○

2022/

2022/12/2

動物に関わる仕事の紹介

令和4年11月5日

沖縄ペットワールド専門学校
仲松　謙

その前に！

皆さんはあと２年半ここで勉強をして、卒業します。
その後、就職をする人もいれば、進学する人も
いると思います。

いずれは社会に出て仕事をすることになるでしょう。

では、なぜ人は働かなくてはいけないのでしょうか？

本日のお品書き

これから動物に関わるお仕事の紹介をいたします。
どういったお仕事があり、またその仕事に就くためにはどうしたらいいのか？その仕事に求められることをご紹介します。

また、これから皆さんが取得するであろう愛玩動物使用管理士のお話もします。

しっかりと聞いて将来の進路決定の参考にしていただけると嬉しいです。

2

2022,

2022/12/2

4

働いてくれている人がいるから
私たちの生活が成り立っている。

皆さんが働くことにより、誰かの生活を支えている。

お互いを支えあうために働く！

動物病院で働いる人

獣医師

大学で６年間勉強し、国が行っている獣医師試験を合格すること。

全国の獣医師の大学の定員は人の医師の大学の定員よりもはるかに少ない。

それではお待たせしました動物に関わるお仕事を紹介しましょう！

今日、紹介するお仕事は…
獣医師、動物看護師、トリマー、ペットショップ店員、ドッグトレーナー、訓練士、ペットホテル、ペットシッター、アニマルカフェ、飼育員、ドルフィントレーナー、野生生物保護管

動物病院で働いる人

動物看護師

現在、人の看護師のように国家資格を必要としていない

⬇

2023年2月に国家資格愛玩動物看護師がスタート

トリマー

犬の美容師さん
だけど、キレイにするだけじゃない！

病気にならないように、
ケガをしないようにするためにも
とても重要な仕事。

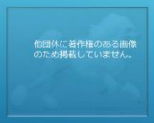
ペットショップ店員

単に商品を販売するだけでなく、お客様が必要としているものを的確にアドバイスすることが大切。そのためには幅広い商品の知識が求められる。

トリマー

いろいろなトリミングの方法がある！！

ハサミを使う



バリカンを使う

毛を抜く

ドッグトレーナー・訓練士

ドッグトレーナーは家庭で飼われている犬に対し、主にしつけなどのトレーニングを行い、訓練士は人と一緒に働く犬のトレーニングを行います。

2022/1

ペットホテル・ペットシッター

旅行、入院などでペットのお世話ができないときに活躍するのがペットホテルやペットシッター。ペットホテルは動物が泊まる施設で、ペットシッターはシッターが自宅でお世話します。ほかにも犬の保育園など。

2022/12/2

飼育員・ドルフィントレーナー

単に珍しい動物を飼育して、お客様に見てもらうだけでなく、動物たちにストレスを与えないような展示の仕方が世界的にも求められている。また、繁殖も飼育員にとってとても大切なお仕事となっている。

アニマルカフェ

ドッグカフェのように飼い主様と一緒に入れるカフェや、猫カフェのようにカフェに動物たちがいて、触れ合える場を提供しているカフェなどもある。その種類も様々！

2022/12/2

野生生物保護管

野生生物の保護をするための調査や、住みやすい環境を守るために活動を行います。また傷ついた動物たちを保護し、野生に復帰できるようにリハビリを行うこともあります。

2022/12/2

これまでに紹介した仕事に就くためにはどうしたらいいのか？何が必要なのか？

1．資格・免許
2．技術・知識
3．やる気・根性

2．技術・知識

獣医、動物看護士（愛玩動物看護士）以外の動物に関わる仕事には免許は必要としない。
しかし、専門的な技術・知識は必要となり、色々な資格がある。

職種	資格	団体
トリマー	トリミングライセンス	JKC
ペットシッター	ペットシッター士	日本ペットシッター協会
ドッグトレーナー	インストラクター	D.I.N.G.O.
訓練士	公認訓練士	日本警察犬協会
アニマルカフェ	ペット栄養管理士	日本ペット栄養学会
ペットショップスタッフ	ペットフード販売士	一般社団法人ペットフード協会
飼育員	飼育技師	日本動物園水族館協会
水族館スタッフ	潜水士	国家資格
ドルフィントレーナー		

11

1．資格・免許

獣医、動物看護士（愛玩動物看護士）は免許が必要となる。
国が行っている獣医師試験、動物看護士試験を合格した者が、その仕事をすることができる。
試験を受けるためには専門の学校（大学、専門学校）に通い、指定されたカリキュラムを受講する必要もある。

3．やる気・根性

動物に関わるお仕事って結構肉体労働です。

他にも動物が大好きという気持ちと、命を取り扱うという心構えも必要です。

12

2022/12

2022/12/2

少し難しい話ではありますが、
動物の愛護及び管理に関する法律というものをご存じですか？

簡単に言うと…

動物の虐待防止。
動物の適正な飼養と保護。
動物による危害の防止。

を目的とした法律です。

①第一種動物取扱業とは

販売、保管、貸出、訓練、展示、競りあっせん業、譲受飼育業の
いずれかで登録を行い、登録証を受け取る。

その法律の中で動物を取り扱うお店（事業所）を始めるときには

①県への第一種動物取扱業の登録が必要
②それぞれのお店（事業所）に動物取扱責任者を立てる

ことが定められている（実験動物・産業動物を除く、哺乳類、鳥類、爬虫類）。

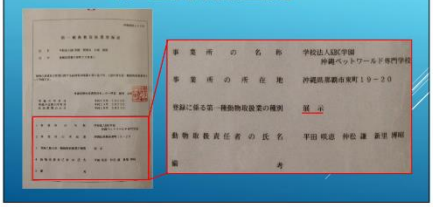
業　種	業の内容	当該する業者の例
販　売	動物の小売及び卸売並びにそれらを目的とした繁殖または輸入を行う業（その取次または代理を含む）	小売業者　卸売業者　販売目的の繁殖又は輸入を行う業者　楽天などにおける販売のための動物の使用業者
保　管	保管を目的に顧客の動物を預かる業	ペットホテル業者　美容業者 ペットシッター
貸　出	愛玩、撮影、繁殖その他の目的で動物を貸し出す業	ペットレンタル業者 映画等のタレント・撮影モデル 繁殖用等の動物派遣業者
訓　練	顧客の動物を預かり、訓練を行う業	動物の訓練・調教業者 出張訓練業者
展　示	動物を見せる業（動物とのふれあいの提供を含む）	動物園・水族館　移動動物園 動物サーカス　乗馬施設 アニマルセラピー業者
競りあっせん業	動物の売買をしようとする者のあっせん開業を設けて競りの方法により行う	動物オークション （会場を設けて行う場合）
譲受飼育業	有償で動物を譲り受けて飼育	老犬老猫ホーム

14

2022/12,

2022/12/2

第一種動物取扱業登録証



動物取扱責任者の申請に使用することのできる資格

資格	団体名	販売	保管	貸出	訓練	展示
愛玩動物飼養管理士	公益社団法人日本愛玩動物協会	○	○	○	○	○
家庭動物販売士	一般社団法人全国ペット協会	○	○	○		○
公認訓練士	社団法人日本警察犬協会		○		○	
公認馬術指導者資格コーチ	財団法人日本体育協会	○	○	○	○	○
実験動物技術者	社団法人日本実験動物協会	○	○	○		○

愛玩動物飼養管理士はすべての業種において動物取扱責任者として登録することができます。
しかし、それだけで仕事ができるわけではありません。
それぞれの専門的な資格も取得することでそのプロとして働くことができるのです。

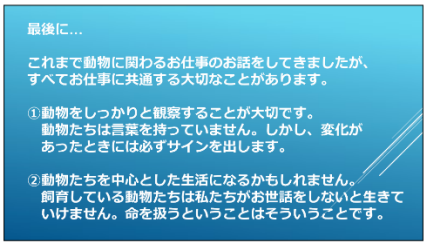
②動物取扱責任者とは

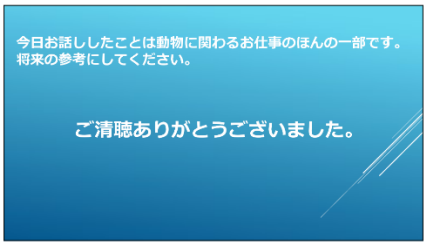
それぞれのお店（事業所）に動物に関する知識をもった人を責任者として配置しなくてはいけない。

動物取扱責任者になるためには
1．**愛護団体**や**動物看護師**の免許を使う
2．必要な**経験**と**知識**を証明する
　・半年の実務経験(または1年の飼養経験)＋教育機関を卒業
　・半年の実務経験(または1年の飼養経験)＋資格試験

16

2022/12/2


最後に…
これまで動物に関わるお仕事のお話をしてきましたが、
すべてお仕事に共通する大切なことがあります。
①動物をしっかりと観察することが大切です。
動物たちは言葉を持っていません。しかし、変化が
あったときには必ずサインを出します。
②動物たちを中心とした生活になるかもしれません。
飼育している動物たちは私たちがお世話をしないと生きて
いけません。命を扱うということはそういうことです。


今日お話ししたことは動物に関わるお仕事のほんの一部です。
将来の参考にしてください。
ご清聴ありがとうございました。

17

８　実証授業の検証評価

第２回プログラム検討委員会で検討を行った。

・専門学校講師の授業で生徒の積極的な姿勢が見られた。授業終了後の質疑応答も多く、とてもよかった。

・講師と生徒のコミュニケーションもよく、テンポよく授業が進んでいた。生徒たちもしっかりと記録している様子が見られ、成果が表れていると思った。

・今回の実証授業は手探りでスタートしたが、継続していくことでより大きな成果が得られると感じ、期待が見られる。今後も進めながら内容を深めていければと思う。

・２年生の愛玩動物試験対策についてだが、８コマのプログラムで終了して２級を受験しているのか？

・内容は専門学生に行っている試験受験にあたり受講しないといけない通信教育とは別の内容で、重要な部分を行ったのか？
（仲宗根）
・２年生全員が受験し、合格者は３年生で１級の試験対策を行う。不合格者は再度、試験対策を行い２級の受験をする。新２年生と同じ教室で行うか、また別で再受験者だけのクラスにするかは中部農林高校と検討したい。
・中部農林高校から、実際に現場で働いていた専門学校の講師が事例を踏まえた内容にすることでより理解が深まるところをお願いしたいという要望を踏まえ、内容をチョイスしてわかりやすく伝えるようにしたので通常の通信教材とは違う視点でアプローチしている。いろいろな方向から伝えることで知識が深まるのではという仮説を元にプログラムを組んだ。

・コミュニケーション能力がとても大切であるという点は、企業としても大切にしなければいけないというモットーがある。学生時代から教えることがとても大切であると思う。もっとレベルアップしてもらいたい。

・愛玩動物試験の合格率を知りたい。
・２年生の２級合格者は今年度 20 名中 18 名なので合格率は 90%。不合格者は例年 2～3 名いるが、昨年度は初めて受験者全員が合格した。

・行政による資格制になったので、動物病院やペットショップでは資格を持っていないと採用が難しい時代になっていると思う。以前は実務経験だけでよかったが、法律面でも今は「経験＋資格」となっているので、学生時代に資格を取得させてほしい。

・資格取得が難しいという声も多い。飼育管理士資格というものもあり、沖縄県内から 100 名近い受験者がいたとの話もある。出来る限り資格は取得してもらい、将来のペット産業に繋げてほしい。

・動物取扱資格に関する法改正が６月にあり、都道府県によって取り扱いの対応にばらつきを感じる。今までであれば専門学校卒業後、半年の業務経験で資格取得が可能であった。

・学校であった事例で、卒業生が大手ペットショップの求人に応募したが従来の卒業証明書が認められず、科目の履修証明書を求められることがあった。また不要といわれることもあるので環境省に確認したところ、ガイドラインに沿って各都道府県が運用しているので、動物愛護センターや保健所など各県によって異なっていた。

・愛玩動物資格は比較的認められやすいと感じるので、今まで受験は高額な費用から学生の任意であったがトリミング系などペットショップへの就職が多い学科は必須受験を検討している。看護系学科は愛玩動物看護師の資格があるので問題ないが、トリマー、トレーナー、飼育員などに就職する学生にとって意味があると思うし、＋アルファの資格としても認めてもらいやすいので、就職活動時に各種証明書の準備などを簡素化できるかもしれないと思っている。

・１年生向けに資格の必要性や世の中の動向、意義を学ぶ授業を行い、二年次の受験に対する動機づけや資格取得のメリットを伝えた。その授業を見学していて、生徒たちの気持ちがきゅっと締まった様子を感じた。

９　動物関連企業の採用・教育・定着の実態情報交換

第２回プログラム検討委員会で情報交換を行った。

9.1　企業が求める人物像

・従業員の課題として先ほどからあるようにコミュニケーションの大切さがあげられる。改めて自身でも認識することを感じる。コロナ禍で「集まる機会」をどうしても作ることができず、コミュニケーション不足が生じた。社内でも年間目標を掲げるなどで社員の育成を図った。

・アルバイトの学生ともコミュニケーションが不足していると感じている。話をしながら指導をしていきたいと思う。

・専門学校でも資格取得以外に接客や職場内でのコミュニケーション力も上げていきたいと思っている。企業の視点から専門学校が学生たちに指導しておいてほしい点はあるか？
・内気な子が多いと感じる。特にトリマー系の学生は自己ＰＲの方法が得意でない場合が多いので、もう少し自分に自信を持つことができる人が増えると良いと思う。

9.2　高校の就職指導の現状

・就職、進学の指導として、技術を身につけて就職したいという独立志向の高い生徒に対しては就職の指導を同時に進めるが、生徒の希望する業種にすぐ就職できない場合は視野を広げるために進学を勧めて就職につなげる指導をしている。また公務員を希望する生徒には、対策の指導もしている。

・動物に関係していない進路であっても産業教育校として広く動物につながっていければよいと考えている。始めは動物に関する業種でなくとも、いずれは動物に関わる仕事に戻ってきてほしいという広い視野を持って指導をしていこうと取り組んでいる。

・動物コースの生徒は半数以上が動物に関する業種を希望しているが、就職よりもより高度な技術や資格を習得したいと進学を希望するのが大半。高校で習得できる技術や資格は限られているので、専門学校に求める要求は高い。

・今後は専門学校や大学で学べることや取得できる資格などに関する情報を生徒に提供し、自身の学びたいものが、どこで得ることができるのかという判断ができる提供の方法も考えていきたいと思う。

9.3　専門学校の就職指導状況

・本校では就職状況や指導に関して 12 月までに内定率 100%を目標にしているが、現状として３月末までに 95%という結果。求人数は多いが、学生の動きが遅い。

・大手企業の採用活動早期化が進んでいるので 1 年次の後期から 2 年次の前期に行っていた 30 時間ほどの就職セミナーを入学してすぐ行うようにした。このカリキュラムで学んだ学生が今年就職するので若干良くなっていると思うが、生徒全員とは言い難い。

・学科によっては研修や文化祭などのイベントに気持ちが集中してしまい、就活が遅れてしまっている。学校の充実を考えて行ってきたものが、逆にブレーキをかけてしまう結果となっている。

・早期に内定し、これらのイベントに力を注いでいる学生もいるので、早期から行動に移させる指導が課題となっている。技術面の指導以上に中部農林高校の１年生向けに行ったような授業が必要で、コミュニケーション力がないと企業には技術面は見てもらえないことを高校生活で学んでおいてもらえるとよい。

・進路ガイダンスでは高校生に対し、アルバイトで得ることができる接客や世間への先眼力は専門学校に入学した際にすごく有意義であることを伝えている。これらと専門学校で得ることができる技術力や資格で就職もスムーズに決めることができ業界で活躍できる人材になれると思う。部活動や委員会活動などの経験でも構わない。動物業界はコミュニケーション能力が特に重要であることを強く認識して入学してきてほしい。

・本校の学生を見ていると例年に比べて遅いと感じる。動物看護師を目指す学生は２年次の後半から３年次にかけてインターンシップを行い、卒業年次に内定していたがコロナ禍でインターンシップ受け入れ先が減少。とくに県内志向の学生が多いので県内での受け入れが減少してしまい、就活への動きが鈍くなってしまった。最近はインターン受け入れ企業も回復してきて、11 月ごろから内定が増えてきた。

・沖縄は観光立県でもあり、自然を舞台にしたアドベンチャーアクティブツアーの動物関連求人もあるが人前で話すことが苦手な大人しい学生が多く、お断りを入れることもある。吉川委員からもあったようにコミュニケーション能力を高める指導体制をつくる必要を感じる。

・学生主体のイベントはコミュニケーション能力を高められる傾向があるが、コロナ禍の影響から多くは行えていない。コミュニケーション能力向上はまだ十分に達成できていない状況。

・本校の特色として、卒業年次後半に早期出社制度を取り入れている。卒業前からの出社を希望する企業も多いが、トリミングの検定など２月に受験するものがある。受験までは学校で受験対策を希望する学生もおり、早期出社したくてもできないケースで企業から断られてしまうパターンもある。県内では特に検定と就職の兼ね合いが難しいと感じる。

・インターンシップの報告会を設定し、あえて発表の機会を設けているが、能力の向上は日々の生活から高めるしかない。職員も学生へ問いかけや「やってごらん」などの言葉がけをやり続けることだと思う。

9.4　高校のコミュニケーション教育

・教育カリキュラムがプロジェクトカリキュラムにつながるよう変更されているので、すべての授業で発表の場が設けられている。コロナ禍で対外的な行事も実施できていなかったが、徐々に回復してきているので、外部に出る場合はマナー指導を行っている。

・授業での発表が成績に反映されるプログラムが完成されている。すべての生徒が発表できるチャンスがあり、今までより自分の意見をＰＲできる場が増えている。タイムラグはあるかもしれないが今までの高校生に比べ、社会性が身についていることを期待している。

・大半の生徒はアルバイトをしており、だいぶコミュニケーション能力も上がっていると思うが、気持ちがまだ高校生なので社会に対する認識は生徒によって差がある。教員もマナーや発表の技術など生徒に対応させながら指導していく必要があると感じている。

・サービス接遇検定などを通じて、大人に対するマナーや面接指導を同時に進めているので少しずつ成果が出ることを期待している。

・専門学校で学ぶ学生との交流会など先輩と関われる機会が無いので連携プログラムに入れてほしい。今後のコミュニケーション向上につながると思う。

9.5　インターンシップについて

・今年度からインターンシップを再開させ企業へのアポイント、受け入れ態勢構築まで行ったがコロナ感染者の増加により中止となった。次年度からは再開させられることを期待している。

・インターンシップはとても大切であると思う。地域で行っている「グッジョブ」という取り組みから小中学生の受け入れも行っているがコロナ禍で実施できない状況。子どもたちの発表の機会が失われている。以前は企業、行政を招いて社内での発表会を行っており、学ぶことも多かった。

・コロナ禍が収束して、実施できることが望ましい。次年度実施できた場合に備えて、企業として受け入れを準備しておく。

第４部　令和４年度開発教材検証評価

第３回プログラム検討委員会で検証評価を行った。

１　愛玩動物飼養管理士２級資格取得オンライン（動画）教材

＜２通りの使い方＞

①生徒の予習・復習用、自学自習用として使用する
　生徒に受講ノートと動画 URL を伝え自宅やＰＣ教室で受講する
②授業で使用する
　授業でＰＰＴと生徒用受講ノートを使用する

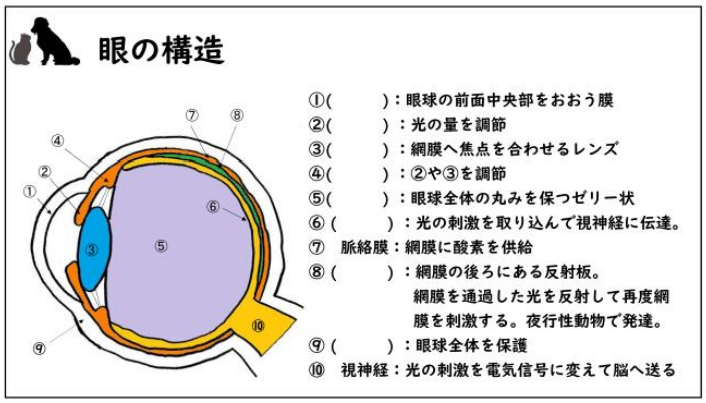
1.1　形態機能学（視覚聴覚）

1.1.1　動画教材　48 分 35 秒

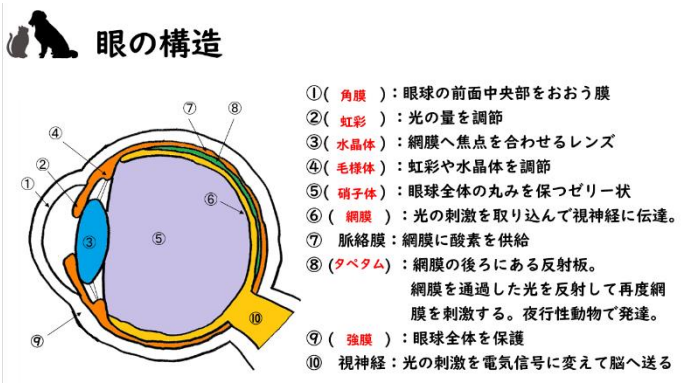
https://youtu.be/sGMr0_--tul

1.1.2　授業ノート

授業ノート例）



1.1.3　オフライン授業（対面授業）用 PPT



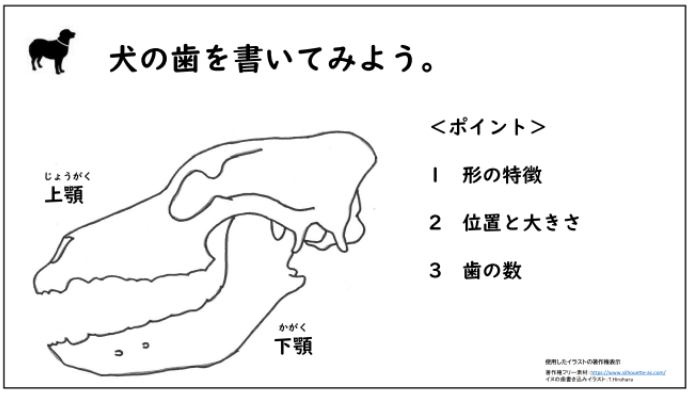
1.2　形態機能学（口腔）

1.2.1　動画教材　43 分 37 秒

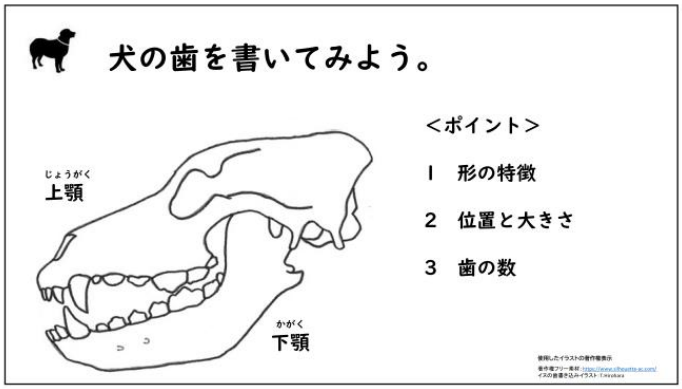
https://youtu.be/cCC5Q9d3LvE

1.2.2　授業ノート

授業ノート例）



1.2.3　オフライン授業（対面授業）用 PPT



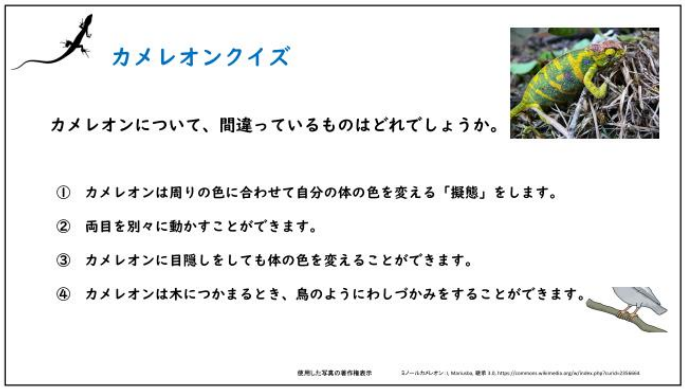
1.3　爬虫類学Ⅰ・Ⅱ

1.3.1　動画教材　46 分 01 秒

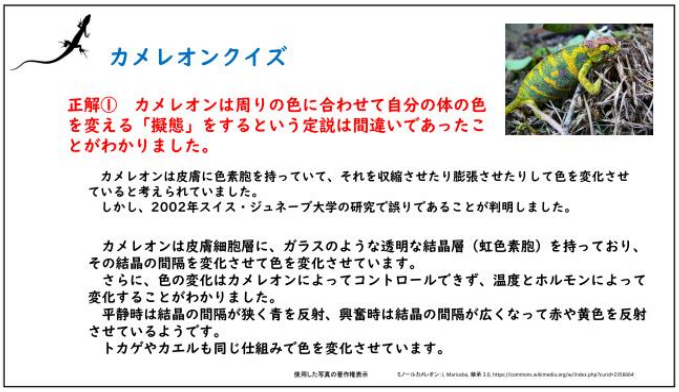
https://youtu.be/K5p8j-SiL70

1.3.2　授業ノート

授業ノート例）



1.3.3　オフライン授業（対面授業）用 PPT



1.4　エキゾチックアニマル

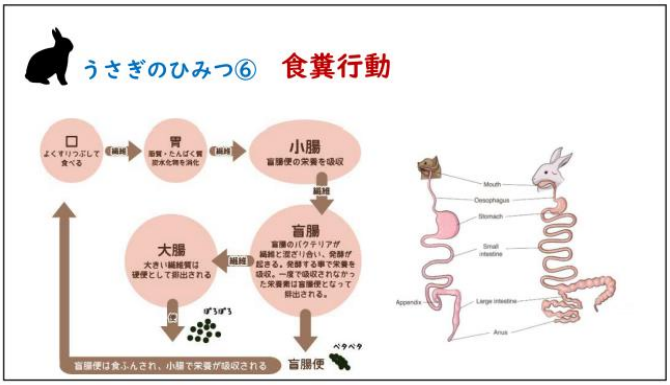
1.4.1　動画教材　49 分 41 秒

https://youtu.be/ezfBuAjchiw

1.4.2　授業ノート

授業ノート例）

1.4.3　オフライン授業（対面授業）用 PPT



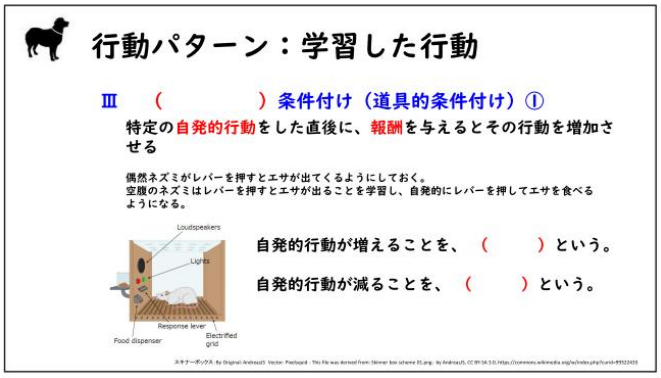
1.5　しつけ

1.5.1　動画教材　41 分 40 秒

https://youtu.be/DL6Q5JQ_w18

1.5.2　授業ノート

授業ノート例）



1.5.3　オフライン授業（対面授業）用 PPT

1.6　シラバス

1.6.1　オンライン用シラバス

シラバス

学校		作成者		
学科		学年		
領域		時間	50	分
科目名	愛玩動物飼養管理基礎（オンライン用）		全5回	
科目概要	愛玩動物の飼養に必要な基礎機能形態学、エキゾチックアニマル・しつけについて学ぶ。			
到達目標	愛玩動物飼養管理の基礎となる知識・技能を理解し、正しい飼養管理ができるようになる。愛玩動物飼養管理士２級資格取得を目標とする。			
授業計画	内容		時間数	
	1	形態機能学（視覚聴覚）	1	
	2	形態機能学（口腔）	1	
	3	爬虫類学Ⅰ・Ⅱ	1	
	4	エキゾチックアニマル	1	
	5	しつけⅠ・Ⅱ	1	
テキスト	愛玩動物飼養管理士２級　第１巻、第２巻			
時間外学習	次回講義予定のテキスト範囲の予習			
資料等	授業開始前に授業ノート・ワークシートを配布する			
成績評価方法	ミニテストを実施する			

1.6.2　オフライン用シラバス

シラバス

学校			作成者		
学科			学年		
領域			時間	50	分
科目名	愛玩動物飼養管理基礎			全7回	
科目概要	愛玩動物の飼養に必要な基礎機能形態学、エキゾチックアニマル・しつけについて学ぶ。				
到達目標	愛玩動物飼養管理の基礎となる知識・技能を理解し、正しい飼養管理ができるようになる。愛玩動物飼養管理士２級資格取得を目標とする。				
授業計画	内容				時間数
	1	形態機能学（視覚聴覚）			1
	2	形態機能学（口腔）			1
	3	爬虫類学Ⅰ			1
	4	爬虫類学Ⅱ			1
	5	エキゾチックアニマル			1
	6	しつけⅠ			1
	7	しつけⅡ			1
テキスト	愛玩動物飼養管理士２級　第１巻、第２巻				
時間外学習	次回講義予定のテキスト範囲の予習				
資料等	授業開始前に授業ノート・ワークシートを配布する				
成績評価方法	ミニテストを実施する				

1.7　コマシラバス

1.7.1　形態機能学（視覚聴覚）

コマシラバス

学校	沖縄ペットワールド専門学校	作成者	儀間　秀人
学科	動物看護・管理学科	学年	前期／後期
領域		時間	50 分
科目名	形態機能学		第　回目／全　回
科目目標			
コマ目標	犬・猫の耳および聴覚について説明できる。		
評価方法	ミニテストを実施		

学習段階			学生の学習活動	教員の指導・支援	評価の観点
導入（５）分		注意喚起			
		学習目標の提示	ホワイドボードを確認して、目標について知る	このコマの目標を話す（ホワイドボードに記載）	
		前提条件の確認（復習）			
展開	情報提示（３５）分	新しい知識や事項の提示		スライドをメインに授業展開を行う 犬と猫の眼について説明 ・耳の構造 ・聴覚について	
		学習方法の提示（理解を促進する手法）	・スライドを視聴しながら、プリントに記入していく ・学生代表１人がぐるぐるバットでまっすぐ歩けるか検証（平衡感覚の確認）	プリントを配り、空欄に記入することを伝える ・目が回ってしまうとまっすぐ歩けないのは正常に感知していることを伝える（平衡感覚について再度説明）	平衡感覚について説明できる
	学習活動（０）分	学んだ事項の練習			
		練習に対するフィードバック			
まとめ（１０）分		評価		ミニテストの実施（5問）	
		学習内容の振り返りと次回の授業の予告		ミニテストの解答解説	

1.7.2　形態機能学（口腔）

コマシラバス

学校	沖縄ペットワールド専門学校	作成者	儀間　秀人
学科	動物看護・管理学科	学年	前期／後期
領域		時間	50 分
科目名	形態機能学		第　回目／全　回
科目目標			
コマ目標	犬・猫の口腔について説明できる。		
評価方法	ミニテストを実施		

学習段階		学生の学習活動	教員の指導・支援	評価の観点
導入（５）分	注意喚起	犬と猫の口腔（歯）を実際に書く	書いた絵を見て、犬と猫ではどう違うか問いかける。	雑食性の犬の歯と肉食性の猫の歯の違いを理解できるか
	学習目標の提示	スライドを確認して、目標について知る	このコマの目標を話す（スライド使用）	
	前提条件の確認（復習）			
展開 情報提示（３５）分	新しい知識や事項の提示		スライドをメインに授業展開を行う犬と猫の口腔（歯）について説明	
	学習方法の提示（理解を促進する手法）	スライドを視聴しながら、プリントに記入していく	プリントを配り、空欄に記入することを伝える	
学習活動（０）分	学んだ事項の練習			
	練習に対するフィードバック			
まとめ（１０）分	評価		ミニテストの実施（5問）	
	学習内容の振り返りと次回の授業の予告		ミニテストの解答解説	

1.7.3　爬虫類学Ⅰ

コマシラバス

学校	沖縄ペットワールド専門学校	作成者	山城 正仁	
学科	動物看護・管理学科	学年		前期／後期
領域		時間	50	分
科目名	爬虫類学		第1回目／全2回	
科目目標				
コマ目標	爬虫類の定義・カメの形態について説明できる			
評価方法	ミニテストを実施			

学習段階			学生の学習活動	教員の指導・支援	評価の観点
導入（５）分		注意喚起		爬虫類がペットして人気が出ていることやその理由などを説明し、興味を持たす	
		学習目標の提示	スライドを確認して、目標について知る	このコマの目標を話す（スライド使用） 爬虫類について興味があるか質問する	
		前提条件の確認（復習）			
展開	情報提示（３５）分	新しい知識や事項の提示		スライドをメインに授業展開を行う 爬虫類について説明 カメについて説明（形態や分類）	
		学習方法の提示（理解を促進する手法）	スライドを視聴しながら、プリントに記入していく	プリントを配り、空欄に色ペンで記入することを伝える	
	学習活動（０）分	学んだ事項の練習			
		練習に対するフィードバック			
まとめ（１０）分		評価		ミニテストの実施（5問）	
		学習内容の振り返りと次回の授業の予告		ミニテストの解答解説	

1.7.4　爬虫類学Ⅱ

コマシラバス

学校	沖縄ペットワールド専門学校	作成者	山城 正仁	
学科	動物看護・管理学科	学年		前期／後期
領域		時間	50	分
科目名	爬虫類学		第2回目／全2回	
科目目標				
コマ目標	有鱗目（トカゲ・ヘビ）について説明できる			
評価方法	ミニテストを実施			

学習段階		学生の学習活動	教員の指導・支援	評価の観点
導入（５）分	注意喚起		有鱗目（トカゲ・ヘビ）が爬虫類で一番、種類が多く繁栄していることを伝える。	
	学習目標の提示	スライドを確認して、目標について知る	このコマの目標を話す（スライド使用）	
	前提条件の確認（復習）			
展開 情報提示（３５）分	新しい知識や事項の提示		スライドをメインに授業展開を行う トカゲについて説明（感覚器官や形態） ヘビについて説明（形態や食性）	
	学習方法の提示（理解を促進する手法）	スライドを視聴しながら、プリントに記入していく	プリントを配り、空欄に色ペンで記入することを伝える	
学習活動（０）分	学んだ事項の練習			
	練習に対するフィードバック			
まとめ（１０）分	評価		ミニテストの実施（5問）	
	学習内容の振り返りと次回の授業の予告		ミニテストの解答解説	

1.7.5　　エキゾチックアニマル

コマシラバス

学校	沖縄ペットワールド専門学校	作成者	山城 正仁	
学科	動物看護・管理学科	学年		前期／後期
領域		時間	50	分
科目名	エキゾチックアニマル学		第　回目／全　回	
科目目標				
コマ目標	ウサギ・鳥類について説明できる（形態的特徴）			
評価方法	ミニテストを実施			

学習段階			学生の学習活動	教員の指導・支援	評価の観点
導入（５）分		注意喚起		自己紹介をして愛玩検定について話す （検定を取得して良かったこと）	
		学習目標の提示	スライドを確認して、目標について知る	このコマの目標を話す（スライド使用） ウサギ・鳥について興味があるか質問する	
		前提条件の確認（復習）			
展開	情報提示（３５）分	新しい知識や事項の提示		スライドをメインに授業展開を行う エキゾチックアニマルについて説明 ウサギについて説明（主に形態） 鳥について説明（主に形態）	
		学習方法の提示（理解を促進する手法）	スライドを視聴しながら、プリントに記入していく	プリントを配り、空欄に色ペンで記入することを伝える	
	学習活動（０）分	学んだ事項の練習			
		練習に対するフィードバック			
まとめ（１０）分		評価		ミニテストの実施（5問）	
		学習内容の振り返りと次回の授業の予告		ミニテストの解答解説	

1.7.6　しつけⅠ

コマシラバス

学校	沖縄ペットワールド専門学校		作成者	名護　聡美	
学科			学年		前期／後期
領域			時間	50	分
科目名	動物のしつけ①			第1回目／全2回	
科目目標					
コマ目標	①本能と学習の違いがわかる　②犬がどうやって学習するのか理解を深める				
評価方法					

学習段階			学生の学習活動	教員の指導・支援	評価の観点
導入（５）分		注意喚起	教科書とプリントの用意	教科書、プリントの確認 自己紹介	
		学習目標の提示	目標を掴む	本日のスケジュール（内容）と目標の説明	
		前提条件の確認（復習）			
展開	情報提示（２５）分	新しい知識や事項の提示		スライドを使用しながら授業を進める 必要に応じてテキストの内容を参照	
		学習方法の提示（理解を促進する手法）	プリントに記入する	記入すべきポイントを説明し、促す	
	学習活動（１５）分	学んだ事項の練習	実際の犬の行動を見学 積極的なデモンストレーションへの参加	オペラント条件付けに関連して、クリッカートレーニングのデモンストレーションを行う 時間を見ながら、学生に協力を依頼	
		練習に対するフィードバック			
まとめ（５）分		評価	質問があれば挙手で発言	質問がないか確認する	
		学習内容の振り返りと次回の授業の予告	目標を達成できているか振り返る	目標が達成できているか確認 次の授業の内容案内	

1.7.7　しつけⅡ

コマシラバス

学校	沖縄ペットワールド専門学校	作成者	名護　聡美	
学科		学年		前期／後期
領域		時間	50	分
科目名	動物のしつけ②		第2回目／全2回	
科目目標				
コマ目標	①報酬とは何かがわかる　②「褒める」ことのメリットと「罰を与える」ことのリスクを理解する			
評価方法	確認テストの実施			

学習段階		学生の学習活動	教員の指導・支援	評価の観点
導入（２）分	注意喚起	教科書とプリントの用意	教科書、プリントの確認	
	学習目標の提示	目標を掴む	スケジュール（内容）と目標の説明	
	前提条件の確認（復習）			
展開 情報提示（３０）分	新しい知識や事項の提示		スライドを使用しながら授業を進める 必要に応じてテキストの内容を参照	
	学習方法の提示（理解を促進する手法）	プリントに記入する	記入すべきポイントを説明し、促す	
展開 学習活動（１３）分	学んだ事項の練習		確認テストの実施	
	練習に対するフィードバック	自己採点	確認テストの解答解説	
まとめ（５）分	評価	質問があれば挙手で発言	質問がないか確認する	
	学習内容の振り返りと次回の授業の予告	目標を達成できているか振り返る	目標が達成できているか確認 まとめ	

２　高校１・２年生対応
キャリアプランニング能力向上教材　「職業図鑑」

＜3 つの特徴＞

①職場見学・職業講話聴講をすることなく、教室やオンラインで多くの職業を知ることができます。
②勤労観・職業観を育成し、将来的設計を図りやすくします。
③自己の進路実現に向けた課題を理解し、学び、学校活動の意欲を高めます。

＜５つの職業＞※本年度はこのうち３つ

動物看護師
ペットショップ
水族館飼育員
動物園飼育員
トリミング

●**「職業図鑑　インタビュー動画」**
キャリア教育の一環として、様々な職業を**「知る」**ことを目的にしています。

内容：対象となる職業の仕事内容やインタビュイーの職業観など
特徴：職業のイメージが持てるように日常業務の様子を取り入れています
評価：視聴後、感想シートを提出します

●**「職業図鑑　ヒアリングシート」**
話を聴き、**「ポイントを的確に捉える力」**の養成を目的にしています。

内容：対象となる職業の仕事内容など
特徴：動画をみてヒアリングシート中の（　　）にキーワードを書き込みます
ヒアリングシートは、インタビュー内容の要約をしています。生徒のレベルに応じて先生が（　　）を付け加えることができます。
評価：視聴後、感想シートを提出します。

中学２年：目的に応じて必要な情報に着目することができるかどうかをみる設問で最も誤答率が高く、自分の考えが伝わるように工夫して書く設問で無解答率が高くなる傾向が見られた。（沖縄県教育庁義務教育課　令和３年度 沖縄県学力到達度調査の結果より）

2.1　「職業図鑑」インタビュー動画

テーマ：「職業を知る」
インタビュー動画を視聴して、感想シートを提出する。

（動物看護師）

https://youtu.be/llxVjK7jDhg

インタビューを受けている方の話し方、話す速さ、話す態度にも注意するよう伝えてください。インタビューが終わった後に感想を書いてもらいます。

「動物看護師」インタビューをみた感想シート

●今日のインタビューで、「心に残ったこと」を書いてください。

●このインタビューを終えて、「見習おう」「気をつけよう」「やってみよう」と思ったことがありますか？もしあれば、「明日からやろう」と思うことを一つ書いてください。
　毎日鏡をみて笑う。朝ご飯を必ず食べる。英語の授業の復習をする。などどんなことでもいいです。特に思いつかなければ、「特に思いつきません」と書いてください。

●インタビューに答えてくださった方の話し方、表情などについて気づいた点はありますか？（話しをする順番、話しをするスピードやトーン、話すときの表情など）
特になければ、「気づいた点はありません」と書いてください。

●インタビューで聞きたい質問があれば自由に書いてください。これからのインタビューの質問の参考にさせていただきます。なければ「特にありません」と書いてください。

●お話しを聞きたい「仕事・職業」のリクエストがあれば、書いてください。なければ「特にありません」と書いてください。

2.2　「職業図鑑」ヒアリングシート

テーマ：「よく聴き、ポイントを抑える」
インタビュー動画を視聴しながらヒアリングシートを完成させ、感想シートを提出する。

https://youtu.be/4f1q2GJZ39Y

インタビューを受けている方の話し方、話す速さ、話す態度にも注意するよう伝えてください。インタビューが終わった後に感想を書いてもらいます。

高校生のための仕事図鑑
No.5　動物看護師

ヒアリングシート

＜使い方＞
　インタビュー動画を視聴して、シートの（　　）内に入る言葉を書いてください。聞き取れなかったときは、繰り返し聞いてください。

Q１　この仕事に就こうと思ったきっかけは？

　祖母の家で飼っていたイヌを動物病院に連れて行ったときの獣医師さんや看護師さんの姿をみて興味を持ちました。

Q２　一日の仕事の流れを教えてください

始業前：ミーティング
９時から午前の診察：診察（＿＿＿）や検査、受付や電話応対、お薬を作る作業
12 時から診察は終了：手術（＿＿＿）、麻酔管理、検査の保定、血液検査、尿検査など
４時から午後の診察：午前の仕事と同じ
20 時から：（＿＿＿）動物の検査や治療、投薬など

Q3　仕事をするときこころがけていることは何ですか

　動物は話をすることができないので、診療（＿＿＿）に入ったときに少しでも小さい異状を早くみつけて、先生に（＿＿＿）ようにしています。
　そのために、日ごろからその動物のことや飼い主さんの状況を知っておくようにしています。動物の体をしっかりさわって、（＿＿＿）や皮膚の状態などを把握するように心がけています。

Q４　仕事をしていてつらかったことを教えてください

　３年間くらい（＿＿＿＿＿）治療を受けていた犬が亡くなったことです。長年一緒に治療をがんばってきたので、とてもつらかったです。

Q5　どんなとき、やりがいを感じますか

　動物が亡くなってしまった後に飼い主さんからお手紙をもらうことがあります。
「私が出勤していると（＿＿＿＿＿）が違いました」「小さいことでも相談できたり、先生には聞けない（＿＿＿）なことなども質問できてよかった」などと言われたときやりがいを感じます。

Q6　動物看護師になるためにどんな資格や免許が必要ですか？

2023 年から国家資格になる愛玩（＿＿＿＿＿＿＿＿）の資格が必要です。

Q１　この仕事に就こうと思ったきっかけは？
　祖母の家で飼っていたイヌを動物病院に連れて行ったときの獣医師さんや看護師さんの姿をみて興味を持ちました。

Q２　一日の仕事の流れを教えてください
始業前：ミーティング
９時から午前の診察：診察（補助）や検査、受付や電話応対、お薬を作る作業
12 時から診察は終了：手術（助手）、麻酔管理、検査の保定、血液検査、尿検査など
４時から午後の診察：午前の仕事と同じ
20 時から：（入院）動物の検査や治療、投薬など

Q３　仕事をするときこころがけていることは何ですか
　動物は話をすることができないので、診療（補助）に入ったときに少しでも小さい異状を早くみつけて、先生に（伝える）ようにしています。
　そのために、日ごろからその動物のことや飼い主さんの状況を知っておくようにしています。動物の体をしっかりさわって、（しこり）や皮膚の状態などを把握するように心がけています。

Q４　仕事をしていてつらかったことを教えてください
　３年間くらい（抗がん剤）治療を受けていた犬が亡くなったことです。長年一緒に治療をがんばってきたので、とてもつらかったです。

Q５　どんなとき、やりがいを感じますか
　動物が亡くなってしまった後に飼い主さんからお手紙をもらうことがあります。
「私が出勤していると（安心感）が違いました」「小さいことでも相談できたり、先生には聞けない（不安）なことなども質問できてよかった」などと言われたときやりがいを感じます。

Q６　動物看護師になるためにどんな資格や免許が必要ですか？
2023 年から国家資格になる愛玩（動物看護師）の資格が必要です。

「動物看護師」インタビューをみた感想シート

●今日のインタビューで、「心に残ったこと」を書いてください。

●このインタビューを終えて、「見習おう」「気をつけよう」「やってみよう」と思ったことがありますか？もしあれば、「明日からやろう」と思うことを一つ書いてください。
　毎日鏡をみて笑う。朝ご飯を必ず食べる。英語の授業の復習をする。などどんなことでもいいです。特に思いつかなければ、「特に思いつきません」と書いてください。

●インタビューに答えてくださった方の話し方、表情などについて気づいた点はありますか？（話しをする順番、話しをするスピードやトーン、話すときの表情など）
特になければ、「気づいた点はありません」と書いてください。

●インタビューで聞きたい質問があれば自由に書いてください。これからのインタビューの質問の参考にさせていただきます。なければ「特にありません」と書いてください。

●お話しを聞きたい「仕事・職業」のリクエストがあれば、書いてください。なければ「特にありません」と書いてください。

キャリア教育効果測定用評価シート（職業イメージ変容調査）

前

年　　コース　　番　氏名　　月　日

これから、仕事をしている方の仕事の内容や職業観についてインタビューをした動画、「職業図鑑」を視聴します。視聴前と後の皆さんの仕事に対するイメージの変化を調べるためにアンケートにご協力ください。

今日見る職業は、（　　）です。

1.どんな仕事をしているか、知っていますか？
（知っている・なんとなく知っている・知らない）

2.この仕事に対するイメージを思いつくままにお答えください。深く考えず、思いついたイメージに○をつけてください。思いつかない場合は、「どちらでもない」に○をつけてください。

例）仕事が普通に「明るそう」と思った時、線が重なっているところに○をつける。

	大変思う	そう思う	どちらでもない	そう思わない	全く思わない
明るそうだ		⊕			

この仕事は、

	大変思う	そう思う	どちらでもない	そう思わない	全く思わない
楽しそうだ					
簡単そうだ					
体力が必要そうだ					
忙しそうだ					
給料が多そうだ					
休みが多そうだ					
歳を取っても働けそうだ					
やりがいがありそうだ					
人の役に立ちそうだ					
自分の能力を生かせそうだ					
専門的知識がいりそうだ					
将来性がありそうだ					
新しいものを作りそうだ					
マナーに厳しそうだ					
勉強が大変そうだ					

後　　年　　コース　　番　氏名　　月　　日

職業図鑑を視聴して以下のアンケートに答えてください。

一日の仕事内容を、後輩に説明できますか？

よく説明できる　だいたい説明できる　少し説明できる　説明できない

この仕事で気をつけなければならないこと（大切なこと）を、後輩に説明できますか？

よく説明できる　だいたい説明できる　少し説明できる　説明できない

視聴後の仕事のイメージについて答えてください。

この仕事は、

	大変思う	そう思う	どちらでもない	そう思わない	全く思わない
楽しそうだ					
簡単そうだ					
体力が必要そうだ					
忙しそうだ					
給料が多そうだ					
休みが多そうだ					
歳を取っても働けそうだ					
やりがいがありそうだ					
人の役に立ちそうだ					
自分の能力を生かせそうだ					
専門的知識がいりそうだ					
将来性がありそうだ					
新しいものを作りそうだ					
マナーに厳しそうだ					
勉強が大変そうだ					

３　令和４年度開発教材検証評価

・生徒にも分かりやすく作りこまれていると思う。県立学校教育委員会でもキャリア教育を重点的に取り組んでいる。話では初めに資格取得の教材からであったが、資格取得の前に何のために学ぶのか？といったキャリア教育を進めたうえで授業に進んでいく流れにしてもらえればと思う。

・令和２年に沖縄県キャリア教育の基本方針を冊子にまとめた。県として身につけさせたい４つの力「かふやみ」として、関わる力、振り返る力、やり抜く力、見通す力を取りまとめている。４つ全てとは言わないが、県がキャリア教育として目指すものが示されているのでこの部分を見てもらい、ブラッシュアップさせ同じ方向性に合わせられればと思う。今の内容でも十分素晴らしいが、今後も渡真利委員とキャリア教育を進めていくのであれば県の方針に合わせて頂きたいと思った。

・動物について学ぶ本校の生徒は意識こそ高いものの、実際に学校にも愛玩犬や小動物もいる中で実際にこれを将来どう活かしていくかはまだ明確ではない生徒もいる。動物が好きで動物系の学校に進学するが、そのあとそれをどう活かして職業につなげていくか明確にできていない。

・我々教員もどう導いていくかは、生徒のやる気を中心に若干任せてしまっているところもあった。今回のプログラム連携を通して職業感覚は大分ついてきていると感じる。まだ手探りで進めている状況もあったので、次年度はより効果的に高めるために１年生、３年生と各学年に合わせたプログラム内容にしていければと思う。

・この連携プログラムを進めていく中で生徒たちも動物は好きだが、これをどう活かしていくかを少しずつ考え始めている部分がある。生徒たちも探りながら自身の考えをどう活かしていくかを今までよりも考えている。次年度はさらに踏み込み、本校とＫＢＣの授業をより絡めることができる内容で進んでいくことを期待している。

・動物に関わる職業を紹介したが、まずは「何のために働くのか」「働かなければいけないのか」といったところを初めに話をさせた。１人ひとりに考える時間も与え、何人かに発表もしてもらった。他人や私の意見に耳を傾け、人それぞれ働く目的があり、それは自身の考えとは違うこともあるが間違いではないことや情報を共有する時間を作った。

・２年生になると愛玩動物飼養管理士試験も受験することとなるので、資格と仕事がどのようにつながっていくのかを話し、最後に動物に関わる仕事で重要なことは何かと問いかけて考える時間を与えて数人に発表してもらった。

・一方的にこちらから話すのではなく、友達の意見に耳を傾けて自分の考えと比較する時間が設けられるよう工夫して授業を行った。

・教務にいた経験から好きということは重要であるが、好きということだけではなく、ある程度は覚悟を持って仕事に就いてもらいたいと思っている。学生が動物当番を欠席することがあった。しかしそれは仕事をするにあたり約束事や人との信頼関係を築くことにおいて重要だと感じる。好きだけではなく責任をもつことは常に大切だと思うのでどこかのシーンで伝えておきたいと考えていた。

・興味深く見ることができた。動画もわかりやすく、キャッチで周知しやすいと思った。この委員会で１番に見てみたいと思うのはキャリア教育をする上で、正しい情報をどのように正確に伝えていくかである。イメージからの脱却というかリアルな部分にどれだけ進むことができるかという情報をしっかり出すことができるかという点もある。

・教材開発をしてもらった中で、変容調査の結果や内容をどう評価するかが実は非常に大切ではないかと思う。何となくみんなが「楽しそう」「いいな」と思い評価の高かった職業が、実際に専門学校に進学・就職した際、本当に正しかったのか？ というように変容しないようにいろいろな視点から評価をしなければいけない。専門学校では「ミスマッチ」という言葉に繋がると思う。高校から専門学校に入学する際にこの結果は活かせると思うが、この先についても後ろ側から調査しながら教材制作にフィードバックしていくと内容の PDCA が回るイメージが湧いてくる。評価の多角化をしていくことが必要だと思うので、この辺りを注視していきたい。

・金城、喜納、翁長委員とも受け入れである会社側とは就職だけの連携だけではなく、就職後もサポートし続けることをプログラムに活かすことができないか、専門学校が高校と社会を繋ぐことができないかという点を意識して進めていきたいと思う。

・ヒアリングシートなども非常に丁寧に作られており、ねらいやポイントが分かりやすい。吉川委員からあったように授業を受けた生徒の変容調査をやり続けることが重要なので、このプログラムの必要性を感じる。

第５部　令和５年度の取組みの指針

・就職状況が改善している理由として感じる点として、以前より学生と企業のマッチングに力を入れたこと。短期間でのインターンシップでは見えない点もあるので、教務側も力を入れて行った成果が表れた。もう１つは業界の底上げ、待遇改善が進んできた。社会保険の完備していない企業は学生が敬遠し、保護者からも問い合わせが来ることもある。学校でも社保を完備していない求人はお断りして、企業へ完備を求め改善を図ってきた。

・以前は待遇面からすぐに離職してしまうことも多かったが、待遇の改善が進んで安定したことで定職していき、改善につながったのではないかと感じている。

・愛玩動物飼養管理士試験１級、全員合格について吉田委員より話をしてほしい。

・嬉しい結果であるが、これといった対策をしているわけではない。昨年２級を合格した学生の中で、さらに上を目指したい子が受験した結果だと思う。１級は任意受験で、就職先で活かしたいなど意欲的なのでこのような結果になる。２級は全員受験なので低めの結果となる。この点は本校の課題であると感じる。

・現時点では中部農林高校だけではあるが、キャリアの部分で南部農林高校にも導入してもらえるとありがたい。ぜひ進めてもらいたい。

・事業の中に「中学校への呼びかけ」というところがあったが、この点の評価等はどうなっているか。本日、県立高校の推薦入試倍率が発表されたが、全体的に専門高校の数値は低かった。県民からも専門高校の魅力ある授業実施などの意見もある。中学校への対応なども聞かせてもらいたい。

・動物に関わる分野で働きたいというが中学生が中部農林高校で学べることを知り、進学する生徒が集まれば、クラスの雰囲気やレベルも上がり先生たちも指導しやすくなると思う。中学生への浸透は大事だと思っている。文科省の意向もあるが、現場の声を届けて反映させたい。

・生徒からも引き続き、専門学校と連携した授業を受けたいという意見が多く出ている。コロナ禍によりインターンシップが実施できていないので、動物病院やペットショップといった企業の現場を見たいという希望はかなり強い。まだできていない部分をぜひ、次年度以降実施してもらいたい。

・中学生とのマッチングも新たな人材の確保になるのではと期待している。

・愛玩動物飼養管理士試験の合格率向上にも積極的に取り組んでいく気持ちは強いが、最終的な課題となっている自身の職業観がどのくらい関わっているかを言える力が必要。今年度と次年度の結果と照らし合わせたときに生徒たちは新しいものが見えてくると思う。次年度は企業側との連携も強めていければと感じる。

・高校生でも愛玩動物飼養管理士試験対策をしっかりすれば合格してしまうことに驚いている。
・動物関連の就職希望者は年々増えている傾向。今後は、就職先の確保が難しい状況が来ると思っている。

・中部農林高校と沖縄ペットワールドがプログラムの連携によりいろいろなことが前倒しになることで、愛玩動物飼養管理士試験に合格し卒業した生徒が専門学校ではさらに上位のことを学べることもできる。これが東京や大阪など他の地区でも行われるようになると、能力の高い生徒が流れていくと思う。我々ももっと教育内容をしっかりしていかないといけないと改めて感じた。

・文科省からも全国展開を視野にした視点を持つように言われている。我々も積極的に情報を交換させてほしいと思っている。

・すでに数字として結果の改善がみられる点は非常に素晴らしい。離職率の数字に関する考え方は難しいと思う。例えば初めての就職先が一生の職場になればよいが、数回の離職から本当に自分に合った職場に出会うこともあると思う。自身も振り返ると今の職場が初めてではない。この点を踏まえると評価や目標設定が難しいと感じた。

・渡真利委員からインターンシップの話があったが、当社も業界の一員として積極的にやっていきたいと思う。また学校側が可能であれば、職員が出向いて職業講話などもやっていきたい。

・高校生に対して授業をするにあたり、専門学生と同じ内容で行ってよいか準備の段階で迷った。専門学校に入学した学生は基本的に動物病院への就職で視野が狭い。動物看護師を目指す場合、職種までも決めて入学してくるのがほとんどなので意識が高くて当たり前になっている。高校生の場合、動物は好きという点では一緒だと思うが就職等に関してはまだイメージが湧いていないと感じどのように授業を展開していくか迷った。

・自身の中で楽しさを 1 番に伝えたいことを重点的にし、結果として資格取得を目的とし合格率を上げることを重視した。授業を受けた高校生のリアクションも良く、真面目であった。

・次年度、１級の対策をするのであれば楽しさだけでなく、厳しさや現状など少し専門学生寄りにした授業にしていく必要があると感じた。

・メディアでも報道されているよう動物看護師資格が変わり、卒業生が動物分野に戻ってくるなど人気が高まると思う。沖縄県は動物病院も多いがこれからは県外の病院にも視野を広げて学生のマッチングを行うなども取り組んでいきたいと思った。

・自身の所属する飼育専攻は動物園、水族館、ペットショップ、ガイド、畜産といった動物看護師とトリマー以外の動物に関わる就職を目指すことができる。さまざまな動物に関わることが多いので興味を持ってもらうことを重視している。魚が好きで入学してきた場合も、自分の授業を通じて爬虫類や哺乳類が好きになり夢の幅が広げることができると嬉しい。

・高校生に授業をするにあたり大切にしたかったのは、知らなかったことを知った時のインパクトや感動である。自身の授業を通じて好きになれば、勉強と感じなくなり興味を持ってやっていけると思って授業を作っていった。中部農林高校の生徒からは、本当に動物が好きという気持ちを強く感じ、リアクションもとてもよく授業もすすめやすかった。愛玩動物飼養管理士試験の合格率にも驚いている。

・次年度は高校生が試験に関してどの部分が本当に知りたいのか、細かい解説が欲しいのかといったことを事前に聞いて授業を作っていくことができればさらに合わせた対策ができると思うので渡真利委員を通じて、生徒の声を反映させたい。

・飼育専攻では環境調査実習など外に出る機会も多いので、フィールドワークといった点では協力できるのではないかと思う。

議事録

文部科学省事業　令和４年度「専修学校による地域産業中核人材養成事業」 **第１回　プログラム検討委員会　議事録**	
開催日時	2022 年　8 月 25 日（木）　15：00～17：00
会場並びに開催方法	ZOOM 利用によるリモート方式にて開催
出　席　者	（プログラム検討委員） ・沖縄県教育庁　県立学校教育課　産業教育班　班長　　山城　篤 ・沖縄県立中部農林高等学校　教諭　渡真利　学 ※ 山城委員、渡真利委員は事前に訪問し委員会の議事を説明して意見を伺う。 ・学校法人シモゾノ学園 国際動物専門学校・大宮国際動物専門学校　募集広報部　部長　　吉川　鉄平 ・学校法人ＫＢＣ学園　沖縄ペットワールド専門学校 副校長　　吉田　剛 主任　儀間　秀人 就職課主任　崎山　孝司 ・ペットメディカルセンター・エイル　取締役　　喜納　保 ※ 喜納委員は沖縄ペットワールド専門学校より参加 ・公益財団法人　沖縄こどもの国　動物みらい課　課長　　翁長　朝 （事務スタッフ） ・学校法人ＫＢＣ学園　地域創生室　支援部 部長　仲宗根　真 主任　伊禮　嘉本 （教材制作） ・株式会社 グローバル専門人材開発ラボ　　開発マネージャー　広原 敬幸 （議事録作成） ・学校法人ＫＢＣ学園　地域創生室　支援部　主任　　伊禮　嘉本
議　　題	議　事 議題１　令和４年度事業計画説明 議題２　令和４年度教材開発について 議題３　令和４年度実証授業について
配布資料	配布資料 資料①　プログラム検討委員名簿 資料②　令和４年度事業計画書 資料③　キャリアプランニング能力向上教材（職業インタビュー試聴用） 資料④　キャリアプランニング能力向上教材（職業インタビューシート記入用）
会議概要	伊禮よりスケジュール、配布資料の確認後、吉田が挨拶。参加委員より自己紹介を承り、議題１にて仲宗根より令和４年度事業計画説明を説明。休憩後、議題２に入り、教材開発について仲宗根、広原氏より説明。その後、委員に教材の体験をしてもらい、意見、感想を承る。議題３では仲宗根より実証授業について説明し、最後に伊禮より今後の予定を説明し終了。

	議題１：令和４年度事業計画説明 ・資料②を使い仲宗根が説明 意見、要望等 （渡真利委員）　※ 事前聞き取りを仲宗根より報告 ・資格取得に関しては、専門学校で学んだ方が効果が上がる部分に対し対応してほしいという意見から、試験対策のシラバスから希望の部分を選んでもらうことになった。 ・実際に動物を見ながら学んだ方がより理解が高まるという意見から、当初専門学校から動物を高校へ連れていく予定であった。しかし動物への負担や安全性を考えると高校生が専門学校へ行った方が良いのではという提案から高校と日程を調整することになった。 （山城委員）　※ 事前聞き取りを仲宗根より報告 ・移動に関して生徒の安全性を十分に配慮してほしいというアドバイスから保険の加入、移動ルートの安全性確保を含めて実施することとなった。 **議題２：令和４年度教材開発について** ・資料④を使い、仲宗根、広原氏より説明 意見、要望等 （渡真利）　※ 事前に資料③の動画教材を視聴してもらい感想等を仲宗根より報告 ・非常に良い内容である。辛かった経験など負の部分についても触れていた点が評価されたと感じた。こちらの動画には高校時代の様子を聞く質問があり、実際の高校生たちにとって興味深い点だと思うと話していた。目指す業種で働く社会人が高校生の時はどうだったかという点は大事なのではないかと感じた。高校の先生からはこういった点で評価をもらった。 （山城）　※ 事前に資料③の動画教材を視聴してもらい感想等を仲宗根より報告 ・もう少し働いている様子を入れた方が良いという意見があった。 （仲宗根） ・今回はデモ版として限られた時間内での制作。次回からは意見を踏まえて、見た目から職業がイメージできるようにしたい。 （喜納委員） ・教材としては非常に良いと思う。実際に聞きながら記入すると難しいと思ったが、自身の現状を知るきっかけにもなり、それとしていいのではないかと思った。またＡ→Ｂ→Ｃというようにスキルが上がっていく内容にしても面白いのではと感じた。高校生の立場として見ても良い動画と感じた。 （仲宗根） ・実際に現場の職業人が学校で話をすることが良いが、なかなか難しい。高校の先生が主導となり行う授業なので今後、指導書を作っていく予定。高校生の状況に合わせて授業展開できるように踏まえていきたい。 （翁長委員） ・メモをとりながらの視聴は大変ではあるが、会議での議事録作成など社会に出たときのことを考えると高校生にとっては力になる。生徒一人ひとり耳に残っている点が違うと思うので、お互いのメモをシェアできる時間を作っても面白い学びの場になるのではと思った。 （仲宗根） ・個人でのフィードバックを想定していたので非常に良いアイディアと感じた。自分には無い視点を知ることができ良いと思うので今後検討したい。 （吉川委員） ・大事なポイントで一時停止するなど高校生向けに作られていて素晴らしい。こういった配慮があると目的が明確になり、最終的なまとめの段階まで組み込まれている点が重要だと感じた。 ・動物看護師について詳しい話をしている内容だが、もっと短い動画でも良いので動物病院での１日の様子をビジュアルで知ることができる動画も必要だと思う。実際に動物看護師という仕事をイメー

	ジして進路を深めることがキャリアになっていくと思っている。すでにイメージを持っている人にとっては良い教材であるが、その手前にいる人へのアプローチも必要。動物看護師という職業を知っているか？といった導入部分の後に今回の教材に入っていくという流れが「キャリア教育」という点ではではいいのではと思った。 （仲宗根） ・今回、動画で出来る部分として考えていたので、その中でもまったくイメージがない人、すでにこの職業を目指している人といった視聴している人の「度合い」についても考えて作成することが大切であると思った。職業の流れを知るコンパクトな動画が初めにあると理解度が深まる良い方法だと思ったので、これらを踏まえて今後の動画開発を進めていきたいと思う。 （吉田委員） ・資料③の動画に比べるとすごく改善されておりメモも書きやすかったが、見ながら書くという作業は大変だと感じた。吉川委員からもあったように、動物看護師の日ごろの様子を教材の合間や冒頭に入れて、仕事をイメージできるようにする動画はあったほうがよいと思う。 （儀間委員） ・実際に動物病院で従事していた経験がある立場から見ても、この教材は仕事について理解できる内容だと思った。専門学生はこのような認識が高いので内容が伝わるが、高校生には仕事に関する動画があるとさらにイメージがつきやすくなると思う。 ・動物病院は動物看護師だけではなく、獣医師や飼い主もいる。別の立場からみた動物看護師の必要性に関する言葉があると、仕事の必要性やイメージがさらに伝わるのではと思った。 （仲宗根） ・違った視点から理解を深めることも１つの方法と思う。非常に良い意見と感じた。 （崎山委員） ・視聴する人が動物看護師という職業に全く興味がなかった場合、メモを取らないのではないかと感じた。吉川委員からあった導入の「前説」部分は非常に重要だと思う。それぞれ就職を考えている業種が違うので特に導入部分は大切。Ｚ世代の特徴として自分の好きなものには集中するが、それ以外はやりたくないという傾向が強いと聞いている。高校の教員に教材の利用を委ねるのであれば、なおさら導入部分は必要な点だと思う。メモを書けない（苦手とする）高校生は多いと感じている。 （仲宗根） ・これらの点は高校の先生に直接聞き取りを行ってみたい。メモを書けない高校生も多いのではという意見が出ていたことを伝え、現場のリアルな「高校生の声」を調べてみたいと思う。 （吉川） ・愛玩動物飼養管理士試験対策に関しては、専門学校の教員が高校で行うと高校生の気持ちも上がると思う。この試験はオンデマンド教材を使ったスクーリング形式の受講が基本となっていると思うが、これらとは別の教材であるという認識で良いのか。 （仲宗根） ・試験の主催団体が準備している教材でも十分に試験対策はできるが、さらにプラスαとして理解を深められるよう専門学校が協力できる教材として考えている。 ・高校生には耳慣れない用語、難しい言葉も出てくる。これらを理解することが合格に繋がる部分なのではないかという意見があった。また試験には法令についても問われるので、わかりやすく解説することで理解を深め、合格率の上昇に繋げることも将来的に考えていきたいと検討委員会で出ている。 ・今回はまず高校生に興味を持ってもらうという点を考えて、動物の生態を見ながら身体の仕組みを学べるようにしている。今後、合格に繋がる内容を精査してプログラムを作っていきたいと感じている。 （吉川） ・本校では愛玩動物飼養管理士試験に対し、資格取得費用の高さから躊躇してしまっているところがある。今回のプログラム受講や試験取得のスクーリング、受験料などについて知りたい。 （仲宗根） ・中部農林高校熱帯資源科動物コースは授業のカリキュラムに受験が含まれている。それを踏まえて対応している。しかし同じ科でも別コースの生徒が任意で受験することもある。そこも対策のサポートは行うが、費用に対してのサポートは考えていない。

・沖縄県内で愛玩動物飼養管理士試験を受験する高校は１校だけであるが、このプログラムを中部農林高校以外にも提供するアイディアが出ている。高校が費用の負担といった点も含めて実施するか、それとも受験までは行わないがプログラムの内容を学ぶ教材を別途作成するかなどは今後の課題であると感じている。

（吉田）

・本校では試験の２級取得を必須で１級は任意としている。中部農林高校の卒業生ですでに２級を取得して入学してくる人、最近ではすでに１級を取得している生徒も入学している。　２級取得者の授業では１級の学習時間にあてている。

・今回の取り組みは専門学校とも連動性があり良いと思う。受験の費用負担も大きく、年々上がっている点を踏まえ、毎年受験の継続に対して職員同士で検討しているが、最低２級の取得は必要であると考えている。

（仲宗根）

・今後もこのような情報を共有させてほしい。

（喜納）

・資料②P23、24 の指標で示している部分は良いが、３年以内の離職率に関しては企業も責任を感じる部分があるので離職の理由も明示してほしい。この連携プログラムには動物看護師を生涯の仕事にしてほしいという気持ちがあると思う。最終的には企業の責任ではあるが、ある程度の離職理由は企業としても知りたい。

・実際に働いている人で５～６年過ぎると、自分の環境に飽きてしまうのか転職したいと感じさせる人も多い。このような職員に対し引き留めることはしないが何かあったら連絡してほしい、戻ってくることも可能であると伝えておくと、数年後に再度戻ってきたいという相談を受けることがある。これらも踏まえる必要があるのではないか。このプログラムは高校生の動物看護師就職へのモチベーションを良い状態で持っていけるので離職という点に対して少なくなっていくと思う。しかし目標としている 3 年以内の離職率 30%以下にするためには「理由」を全員が知っておかないとまた別の部分が課題になってしまうのではという気がする。

（仲宗根）

・この事業を行う大きな理由の１つはコーディネーター担当の伊禮が企業・行政・学校（中学、高校）を「繋ぐこと」としている。離職の理由に関してはお互いに触れられない話題であったりもするので今まで情報の共有ができていなかったが、今回はそれらを共有できる場を作りたいと考えている。責任の追及ではなく、それらを周知した上でお互いが自分たちの出来ることは何かという点に考えが推移していくと、将来は働く人にとっての良い環境に持っていけると思う。今回、企業側からこのような意見をもらえたことは非常に心強い。今後もアイディア、意見を頂きたい。

議題３：令和４年度実証授業について

・仲宗根より次第を使い説明

実証授業（会場：沖縄ペットワールド専門学校 校舎）

【中部農林高校２年生対象：愛玩動物飼養管理士試験２級 対策】

〇令和４年９月 10 日（土）　〇令和４年９月 24 日（土）

〇令和４年 10 月１日（土）　〇令和４年 10 月 15 日（土）

【中部農林高校１年生対象：職業に関する講話など】

〇令和４年 11 月５日（土）　〇令和４年 11 月 12 日（土）

※授業の時間は 10:00～12:00 の２時間

・今後の予定について（伊禮）

令和４年 12 月８日（木）１５：００～１７：００

令和４年度 第２回プログラム検討委員会

以上 委員会を終了する。

文部科学省事業　令和４年度「専修学校による地域産業中核人材養成事業」 **第２回　プログラム検討委員会　議事録**	
開催日時	2022 年 12 月 8 日（木）　15：00～17：00
会場並びに開催方法	ZOOM 利用によるリモート方式にて開催
出　席　者	（プログラム検討委員） ・沖縄県立中部農林高等学校　教諭　渡真利　学 ・学校法人シモゾノ学園 国際動物専門学校・大宮国際動物専門学校　募集広報部　部長　吉川　鉄平 ・学校法人ＫＢＣ学園　沖縄ペットワールド専門学校 副校長　吉田　剛 就職課主任　崎山　孝司 ・有限会社　ペットクラブオーシャン　代表取締役　金城　高治 （事務スタッフ） ・学校法人ＫＢＣ学園　地域創生室　支援部 部長　仲宗根　真 主任　伊禮　嘉本 （教材制作） ・株式会社 グローバル専門人材開発ラボ　開発マネージャー　広原 敬幸 （議事録作成） ・学校法人ＫＢＣ学園　地域創生室　支援部　主任　伊禮　嘉本
議　　題	議　事 議題１　令和４年度実証授業の報告 議題２　委員の皆さまとの情報交換（採用、教育、定着） 議題３　令和５年度の取組み予定
配布資料	配布資料 資料①　プログラム開発検討委員会　次第 資料②　プログラム開発検討委員名簿 資料③　令和４年度-5 年度の取組み
会議概要	伊禮よりスケジュール、配布資料の確認後、吉田が挨拶。議題 1 にて伊禮より令和４年度実証授業を報告し各委員より質疑応答を承る。議題２では各委員より職員の採用、教育、定着等について情報交換を行った。議題３で仲宗根より令和 4 年度-５年度の取組みを説明し、最後に伊禮より今後の予定を確認して終了。

	議題１：令和４年度実証授業の報告 ・伊禮がパワーポイント、映像等を使い説明 感想、質問等 （渡真利委員） ・専門学校講師の授業で生徒の積極的な姿勢が見られた。授業終了後の質疑応答も多く、とてもよかった。 ・講師と生徒のコミュニケーションもよく、テンポよく授業が進んでいた。生徒たちもしっかりと記録している様子が見られ、成果が表れていると思った。 ・今回の実証授業は手探りでスタートしたが、継続していくことでより大きな成果が得られると感じ、期待が見られる。今後も進めながら内容を深めていければと思う。 （吉川委員） ・２年生の愛玩動物試験対策についてだが、８コマのプログラムで終了して２級を受験しているのか？ ・内容は専門学生に行っている試験受験にあたり受講しないといけない通信教育とは別の内容で、重要な部分を行ったのか？ （仲宗根） ・２年生全員が受験し、合格者は３年生で１級の試験対策を行う。不合格者は再度、試験対策を行い２級の受験をする。新２年生と同じ教室で行うか、また別で再受験者だけのクラスにするかは中部農林高校と検討したい。 ・中部農林高校から、実際に現場で働いていた専門学校の講師が事例を踏まえた内容にすることでより理解が深まるところをお願いしたいという要望を踏まえ、内容をチョイスしてわかりやすく伝えるようにしたので通常の通信教材とは違う視点でアプローチしている。いろいろな方向から伝えることで知識が深まるのではという仮説を元にプログラムを組んだ。 （金城委員） ・コミュニケーション能力がとても大切であるという点は、企業としても大切にしなければいけないというモットーがある。学生時代から教えることがとても大切であると思う。もっとレベルアップしてもらいたい。 ・愛玩動物試験の合格率を知りたい。 （渡真利） ・２年生の２級合格者は今年度 20 名中 18 名なので合格率は 90%。不合格者は例年 2～3 名いるが、昨年度は初めて受験者全員が合格した。 （金城） ・行政による資格制になったので、動物病院やペットショップでは資格を持っていないと採用が難しい時代になっていると思う。以前は実務経験だけでよかったが、法律面でも今は「経験＋資格」となっているので、学生時代に資格を取得させてほしい。 ・資格取得が難しいという声も多い。飼育管理士資格というものもあり、沖縄県内から 100 名近い受験者がいたとの話もある。出来る限り資格は取得してもらい、将来のペット産業に繋げてほしい。 （吉川） ・動物取扱資格に関する法改正が６月にあり、都道府県によって取り扱いの対応にばらつきを感じる。今までであれば専門学校卒業後、半年の業務経験で資格取得が可能であった。 ・学校であった事例で、卒業生が大手ペットショップの求人に応募したが従来の卒業証明書が認められず、科目の履修証明書を求められることがあった。また不要といわれることもあるので環境省に確認したところ、ガイドラインに沿って各都道府県が運用しているので、動物愛護センターや保健所など各県によって異なっていた。 ・愛玩動物資格は比較的認められやすいと感じるので、今まで受験は高額な費用から学生の任意であったがトリミング系などペットショップへの就職が多い学科は必須受験を検討している。看護系学科は愛玩動物看護師の資格があるので問題ないが、トリマー、トレーナー、飼育員などに就職する学生にとって意味があると思うし、＋アルファの資格としても認めてもらいやすいので、就職活動時に各種

	証明書の準備などを簡素化できるかもしれないと思っている。 （仲宗根） ・1 年生向けに資格の必要性や世の中の動向、意義を学ぶ授業を行い、二年次の受験に対する動機づけや資格取得のメリットを伝えた。その授業を見学していて、生徒たちの気持ちがきゅっと締まった様子を感じた。 **議題２：委員の皆さまとの情報交換（採用、教育、定着）** 状況、課題等 （金城） ・従業員の課題として先ほどからあるようコミュニケーションの大切さがあげられる。改めて自身でも認識することを感じる。コロナ禍で「集まる機会」をどうしても作ることができず、コミュニケーション不足が生じた。社内でも年間目標を掲げるなどで社員の育成を図った。 ・アルバイトの学生ともコミュニケーションが不足していると感じている。話をしながら指導をしていきたいと思う。 （仲宗根） ・専門学校でも資格取得以外に接客や職場内でのコミュニケーション力も上げていきたいと思っている。企業の視点から専門学校が学生たちに指導しておいてほしい点はあるか？ （金城） ・内気な子が多いと感じる。特にトリマー系の学生は自己ＰＲの方法が得意でない場合が多いので、もう少し自分に自信を持つことができる人が増えると良いと思う。 （仲宗根） ・プレゼン力の向上などを踏まえ、今後の課題検討としたい。 （渡真利） ・就職、進学の指導として、技術を身につけて就職したいという独立志向の高い生徒に対しては就職の指導を同時に進めるが、生徒の希望する業種にすぐ就職できない場合は視野を広げるために進学を勧めて就職につなげる指導をしている。また公務員を希望する生徒には、対策の指導もしている。 ・動物に関係していない進路であっても産業教育校として広く動物につながっていければよいと考えている。始めは動物に関する業種でなくとも、いずれは動物に関わる仕事に戻ってきてほしいという広い視野を持って指導をしていこうと取り組んでいる。 （仲宗根） ・文科省より委託を受け、授業の見学に来ていた日経 BP 社からも中部農林高校の生徒以上に意欲的な生徒を見たことがないという感想があったが、意欲の高い生徒ほど就職希望が多いのか？ （渡真利） ・動物コースの生徒は半数以上が動物に関する業種を希望しているが、就職よりもより高度な技術や資格を習得したいと進学を希望するのが大半。高校で習得できる技術や資格は限られているので、専門学校に求める要求は高い。 （仲宗根） ・今後は専門学校や大学で学べることや取得できる資格などに関する情報を生徒に提供し、自身の学びたいものが、どこで得ることができるのかという判断ができる提供の方法も考えていきたいと思う。 （吉川） ・本校では就職状況や指導に関して 12 月までに内定率 100%を目標にしているが、現状として 3 月末までに 95%という結果。求人数は多いが、学生の動きが遅い。 ・大手企業の採用活動早期化が進んでいるので 1 年次の後期から 2 年次の前期に行っていた 30 時間ほどの就職セミナーを入学してすぐ行うようにした。このカリキュラムで学んだ学生が今年就職するので若干良くなっていると思うが、生徒全員とは言い難い。 ・学科によっては研修や文化祭などのイベントに気持ちが集中してしまい、就活が遅れてしまっている。学校の充実を考えて行ってきたものが、逆にブレーキをかけてしまう結果となっている。 ・早期に内定し、これらのイベントに力を注いでいる学生もいるので、早期から行動に移させる指導が課題となっている。技術面の指導以上に中部農林高校の 1 年生向けに行ったような授業が必要

	で、コミュニケーション力がないと企業には技術面は見てもらえないことを高校生活で学んでおいてもらえるとよい。 ・進路ガイダンスでは高校生に対し、アルバイトで得ることができる接客や世間への先眼力は専門学校に入学した際にすごく有意義であることを伝えている。これらと専門学校で得ることができる技術力や資格で就職もスムーズに決めることができ業界で活躍できる人材になれると思う。部活動や委員会活動などの経験でも構わない。動物業界はコミュニケーション能力が特に重要であることを強く認識して入学してきてほしい。 （崎山委員） ・本校の学生を見ていると例年に比べて遅いと感じる。動物看護師を目指す学生は２年次の後半から３年次にかけてインターンシップを行い、卒業年次に内定していたがコロナ禍でインターンシップの受け入れ先が減少。とくに県内志向の学生が多いので県内での受け入れが減少してしまい、就活への動きが鈍くなってしまった。最近はインターン受け入れ企業も回復してきて、11 月ごろから内定が増えてきた。 ・沖縄は観光立県でもあり、自然を舞台にしたアドベンチャーアクティブツアーの動物関連求人もあるが人前で話すことが苦手な大人しい学生が多く、お断りを入れることもある。吉川委員からもあったようにコミュニケーション能力を高める指導体制をつくる必要を感じる。 ・学生主体のイベントはコミュニケーション能力を高められる傾向があるが、コロナ禍の影響から多くは行えていない。コミュニケーション能力向上はまだ十分に達成できていない状況。 ・本校の特色として、卒業年次後半に早期出社制度を取り入れている。卒業前からの出社を希望する企業も多いが、トリミングの検定など２月に受験するものがある。受験までは学校で受験対策を希望する学生もおり、早期出社したくてもできないケースで企業から断られてしまうパターンもある。県内では特に検定と就職の兼ね合いが難しいと感じる。 （仲宗根） ・自身のコミュニケーション能力不足はインターンシップを通じて実感できるところもあると思う。インターンシップから戻ってきた学生から相談された場合の対応策はあるのか？ （崎山） ・インターンシップの報告会を設定し、あえて発表の機会を設けているが、能力の向上は日々の生活から高めるしかない。職員も学生へ問いかけや「やってごらん」などの言葉がけをやり続けることだと思う。 （仲宗根） ・高校現場でも大人や外部とコミュニケーションをとる機会や取り組みはあるのか？ （渡真利） ・教育カリキュラムがプロジェクトカリキュラムにつながるよう変更されているので、すべての授業で発表の場が設けられている。コロナ禍で対外的な行事も実施できていなかったが、徐々に回復してきているので、外部に出る場合はマナー指導を行っている。 ・授業での発表が成績に反映されるプログラムが完成されている。すべての生徒が発表できるチャンスがあり、今までより自分の意見をＰＲできる場が増えている。タイムラグはあるかもしれないが今までの高校生に比べ、社会性が身についていることを期待している。 ・大半の生徒はアルバイトをしており、だいぶコミュニケーション能力も上がっていると思うが、気持ちがまだ高校生なので社会に対する認識は生徒によって差がある。教員もマナーや発表の技術など生徒に対応させながら指導していく必要があると感じている。 ・サービス接遇検定などを通じて、大人に対するマナーや面接指導を同時に進めているので少しずつ成果が出ることを期待している。 （仲宗根） ・コミュニケーション能力向上など技術指導以外で専門学校に希望することはあるか？ （渡真利） ・専門学校で学ぶ学生との交流会など先輩と関われる機会が無いので連携プログラムに入れてほしい。今後のコミュニケーション向上につながると思う。 （金城）

	・現在、中部農林高校ではインターンシップを行っているか？ （渡真利） ・今年度から再開させ企業へのアポイント、受け入れ態勢構築まで行ったがコロナ感染者の増加により中止となった。次年度からは再開させられることを期待している。 （金城） ・インターンシップはとても大切であると思う。地域で行っている「グッジョブ」という取り組みから小中学生の受け入れも行っているがコロナ禍で実施できない状況。子どもたちの発表の機会が失われている。以前は企業、行政を招いて社内での発表会を行っており、学ぶことも多かった。 ・コロナ禍が収束して、実施できることが望ましい。次年度実施できた場合に備えて、企業として受け入れを準備しておく。 （仲宗根） ・意見として各委員から挙がっていたコミュニケーション能力向上の部分、インターンシップに対する方法や実施できなかった場合に対する代替案等も含めて、今後もプログラム内でも検討していきたいと思う。 **議題３：令和５年度の取組み予定について** ・仲宗根より資料「令和４年度-５年度の取組み」を使用して説明 ・今後の予定について（伊禮） 令和５年１月19日（木）１５：００～１７：００ 令和４年度　第３回プログラム検討委員会 以上　委員会を終了する。

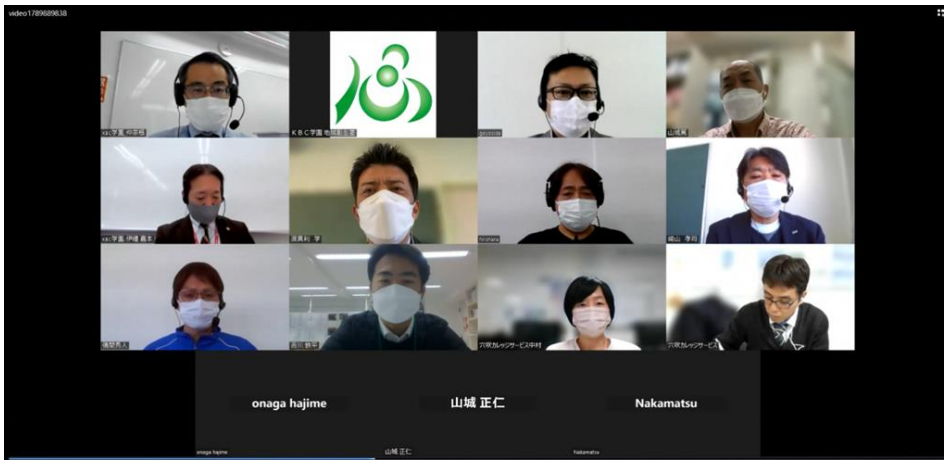
文部科学省事業　令和４年度「専修学校による地域産業中核人材養成事業」 **第３回　プログラム検討委員会　議事録**	
開催日時	2023 年 1 月 19 日（木）　15：00～17：00
会場並びに開催方法	ZOOM 利用によるリモート方式にて開催
出　席　者	（プログラム検討委員） ・沖縄県教育庁　県立学校教育課　産業教育班　班長　山城　篤 ・沖縄県立中部農林高等学校　教諭　渡真利　学 ・学校法人シモゾノ学園 国際動物専門学校・大宮国際動物専門学校　募集広報部　部長　吉川　鉄平 ・学校法人ＫＢＣ学園　沖縄ペットワールド専門学校 副校長　吉田　剛 就職課主任　崎山　孝司 教務主任　儀間　秀人 教務主任　山城　正仁 ・公益財団法人　沖縄こどもの国　動物みらい課　課長　翁長　朝 （事務スタッフ） ・学校法人ＫＢＣ学園　地域創生室　支援部 部長　仲宗根　真 主任　伊禮　嘉本 ・学校法人ＫＢＣ学園　沖縄ペットワールド専門学校 事務局長　仲松　謙 （教材制作） ・株式会社 グローバル専門人材開発ラボ　開発マネージャー　広原 敬幸 （議事録作成） ・学校法人ＫＢＣ学園　地域創生室　支援部　主任　伊禮　嘉本
議　　題	議　事 議題１　今年度の振り返り、開発教材のご紹介 議題２　令和５年度の取組み 議題３　令和５年度委員会日程　案（第 3･4 週金曜日を軸に） ①第１回　令和５年８月　②第２回　令和５年 11 月　③第３回　令和６年１月
配布資料	配布資料 資料①　Ｒ４年開発教材概要
会議概要	伊禮よりスケジュール、配布資料の確認後、吉田が挨拶。議題 1 にて仲宗根より令和 4 年度の振り返りを行い、広原より R4 年度開発教材を紹介。議題２にて仲宗根より令和５年度の取組みを説明した。議題３で伊禮より令和５年度の委員会日程の案について案内し終了。

目　　次	**議題１：今年度の振り返り、開発教材のご紹介** ・仲宗根より今年度の事業を動画にて報告。その後、広原が資①を使い開発教材を説明。 質疑、感想等 （山城　篤委員） ・生徒にも分かりやすく作りこまれていると思う。県立学校教育委員会でもキャリア教育を重点的に取り組んでいる。話では初めに資格取得の教材からであったが、資格取得の前に何のために学ぶのか？　といったキャリア教育を進めたうえで授業に進んでいく流れにしてもらえればと思う。 ・令和２年に沖縄県キャリア教育の基本方針を冊子にまとめた。県として身につけさせたい４つの力「かふやみ」として、かかわる力、ふりかえる力、やりぬく力、みとおす力を取りまとめている。４つ全てとは言わないが、県がキャリア教育として目指すものが示されているのでこの部分を見てもらい、ブラッシュアップさせ同じ方向性に合わせられればと思う。今の内容でも十分素晴らしいが、今後も渡真利委員とキャリア教育を進めていくのであれば県の方針に合わせて頂きたいと思った。 （渡真利委員） ・動物について学ぶ本校の生徒は意識こそ高いものの、実際に学校にも愛玩犬や小動物もいる中で実際にこれを将来どう活かしていくかはまだ明確ではない生徒もいる。動物が好きで動物系の学校に進学するが、そのあとそれをどう活かして職業につなげていくか明確にできていない。 ・我々教員もどう導いていくかは、生徒のやる気を中心に若干任せてしまっているところもあった。今回のプログラム連携を通して職業感覚は大分ついてきていると感じる。まだ手探りで進めている状況もあったので、次年度はより効果的に高めるために１年生、３年生と各学年に合わせたプログラム内容にしていければと思う。 ・この連携プログラムを進めていく中で生徒たちも動物は好きだが、これをどう活かしていくかを少しずつ考え始めている部分がある。生徒たちも探りながら自身の考えをどう活かしていくかを今までよりも考えている。次年度はさらに踏み込み、本校とＫＢＣの授業をより絡めることができる内容で進んでいくことを期待している。 （仲宗根） ・１年生にキャリア教育を行った仲松さんからも工夫した点や様子を話してほしい。 （事務局　仲松） ・動物に関わる職業を紹介したが、まずは「何のために働くのか」「働かなければいけないのか」といったところを初めに話をさせた。１　人ひとりに考える時間も与え、何人かに発表もしてもらった。他人や私の意見に耳を傾け、人それぞれ働く目的があり、それは自身の考えとは違うこともあるが間違えではないことや情報を共有する時間を作った。 ・２年生になると愛玩動物飼養管理士試験も受験することとなるので、資格と仕事がどのようにつながっていくのかを話し、最後に動物に関わる仕事で重要なことは何かと問いかけて考える時間を与えて数人に発表してもらった。 ・一方的にこちらから話すのではなく、友達の意見に耳を傾けて自分の考えと比較する時間が設けられるよう工夫して授業を行った。 ・教務にいた経験から好きということは重要であるが、好きということだけではなく、ある程度は覚悟を持って仕事に就いてもらいたいと思っている。学生が動物当番を欠席することがあった。しかしそれは仕事をするにあたり約束事や人との信頼関係を築くことにおいて重要だと感じる。好きだけではなく責任をもつことは常に大切だと思うのでどこかのシーンで伝えておきたいと考えていた。 （仲宗根） ・吉川委員に専門学校からの意見や感想を聞かせてほしい。 （吉川委員） ・興味深く見ることができた。動画もわかりやすく、キャッチで周知しやすいと思った。この委員会で１番に見てみたいと思うのはキャリア教育をする上で、正しい情報をどのように正確に伝えていくかである。イメージからの脱却というかリアルな部分にどれだけ進むことができるかという情報をしっかり出すことができるかという点もある。 ・教材開発をしてもらった中で、変容調査の結果や内容をどう評価するかが実は非常に大切ではないかと思う。何となくみんなが「楽しそう」「いいな」と思い評価の高かった職業が、実際に専門学校に進

	学・就職した際、本当に正しかったのか？ というように変容しないようにいろいろな視点から評価をしなければいけない。専門学校では「ミスマッチ」という言葉に繋がると思う。高校から専門学校に入学する際にこの結果は活かせると思うが、この先についても後ろ側から調査しながら教材制作にフィードバックしていくと内容の PDCA が回るイメージが湧いてくる。評価の多角化をしていくことが必要だと思うので、この辺りを注視していきたい。 （仲宗根） ・今だけではなく、将来にわたってというところは重要だと考えている。文科省からも決して単発にならないようにし次につながることや、仮説を立てそうでなければ修正していくよう制作してほしいと言われている。吉川委員の意見も今後の検討に入れていきたいと思う。 ・金城、喜納、翁長委員とも受け入れである社会側とは就職だけの連携だけではなく、就職後もサポートし続けることをプログラムに活かすことができないか、専門学校が高校と社会を繋ぐことができないかという点を意識して進めていきたいと思う。 （翁長委員） ・ヒアリングシートなども非常に丁寧に作られており、ねらいやポイントが分かりやすい。吉川委員からあったように授業を受けた生徒の変容調査をやり続けることが重要なので、このプログラムの必要性を感じる。 **議題２：令和５年度の取組み** ・仲宗根がパワーポイントを使い説明。 状況、感想等 （仲宗根） ・就職についての状況や取り組みについて崎山委員より話してほしい。 （崎山委員） ・就職状況が改善している理由として感じる点として、以前より学生と企業のマッチングに力を入れたこと。短期間でのインターンシップでは見えない点もあるので、教務側も力を入れて行った成果が表れた。もう１つは業界の底上げ、待遇改善が進んできた。社会保険の完備していない企業は学生が敬遠し、保護者からも問い合わせが来ることもある。学校でも社会保険を完備していない求人はお断りして、企業へ完備を求め改善を図ってきた。 ・以前は待遇面からすぐに離職してしまうことも多かったが、待遇の改善が進んで安定したことで定職していき、改善につながったのではないかと感じている。 （仲宗根） ・愛玩動物飼養管理士試験１級、全員合格について吉田委員より話をしてほしい。 （吉田委員） ・嬉しい結果であるが、これといった対策をしているわけではない。昨年２級を合格した学生の中で、さらに上を目指したい子が受験した結果だと思う。1 級は任意受験で、就職先で活かしたいなど意欲的なのでこのような結果になる。2 級は全員受験なので低めの結果となる。この点は本校の課題であると感じる。 （山城 篤） ・現時点では中部農林高校だけではあるが、キャリアの部分で南部農林高校にも導入してもらえるとありがたい。ぜひ進めてもらいたい。 ・事業の中に「中学校への呼びかけ」というところがあったが、この点の評価等はどうなっているか。本日、県立高校の推薦入試倍率が発表されたが、全体的に専門高校の数値は低かった。県民からも専門高校の魅力ある授業実施などの意見もある。中学校への対応なども聞かせてもらいたい。 （仲宗根） ・事業の主題は「高校と専門学校の連携」ではあるが、さらに内容を充実させるためには高校入学前の中学生、専門学校卒業後の社会人までも繋げることが大事ではないかという点が評価され選定されたと思う。 ・動物に関わる分野で働きたいというが中学生が中部農林高校で学べることを知り、進学する生徒が

	集まれば、クラスの雰囲気やレベルも上がり先生たちも指導しやすくなると思う。中学生への浸透は大事だと思っている。文科省の意向もあるが、現場の声を届けて反映させたい。 （渡真利） ・生徒からも引き続き、専門学校と連携した授業を受けたいという意見が多く出ている。コロナ禍によりインターンシップが実施できていないので、動物病院やペットショップといった企業の現場を見たいという希望はかなり強い。まだできていない部分をぜひ、次年度以降実施してもらいたい。 ・中学生とのマッチングも新たな人材の確保になるのではと期待している。 ・愛玩動物飼養管理士試験の合格率向上にも積極的に取り組んでいく気持ちは強いが、最終的な課題となっている自身の職業観がどのくらい関わっているかを言える力が必要。今年度と次年度の結果と照らし合わせたときに生徒たちは新しいものが見えてくると思う。次年度は企業側との連携も強めていければと感じる。 （吉川） ・高校生でも愛玩動物飼養管理士試験対策をしっかりすれば合格してしまうことに驚いている。 ・動物関連の就職希望者は年々増えている傾向。今後は、就職先の確保が難しい状況が来ると思っている。 ・中部農林高校と沖縄ペットワールドがプログラムの連携によりいろいろなことが前倒しになることで、愛玩動物飼養管理士試験に合格し卒業した生徒が専門学校ではさらに上位のことを学べることもできる。これが東京や大阪など他の地区でも行われるようになると、能力の高い生徒が流れていくと思う。我々ももっと教育内容をしっかりしていかないといけないと改めて感じた。 （仲宗根） ・文科省からも全国展開を視野にした視点を持つように言われている。我々も積極的に情報を交換させてほしいと思っている。 （翁長） ・すでに数字として結果の改善がみられる点は非常に素晴らしい。離職率の数字に関する考え方は難しいと思う。例えば初めての就職先が一生の職場になればよいが、数回の離職から本当に自分に合った職場に出会うこともあると思う。自身も振り返ると今の職場が初めてではない。この点を踏まえると評価や目標設定が難しいと感じた。 ・渡真利委員からインターンシップの話があったが、当社も業界の一員として積極的にやっていきたいと思う。また学校側が可能であれば、職員が出向いて職業講話などもやっていきたい。 （儀間委員） ・高校生に対して授業をするにあたり、専門学生と同じ内容で行ってよいか準備の段階で迷った。専門学校に入学した学生は基本的に動物病院への就職で視野が狭い。動物看護師を目指す場合、職種までも決めて入学してくるのがほとんどなので意識が高くて当たり前になっている。高校生の場合、動物は好きという点では一緒だと思うが就職等に関してはまだイメージが湧いていないと感じどのように授業を展開していくか迷った。 ・自身の中で楽しさを 1 番に伝えたいことを重点的にし、結果として資格取得を目的とし合格率を上げることを重視した。授業を受けた高校生のリアクションも良く、真面目であった。 ・次年度、1 級の対策をするのであれば楽しさだけでなく、厳しさや現状など少し専門学生寄りにした授業にしていく必要があると感じた。 ・メディアでも報道されているよう動物看護師資格が変わり、卒業生が動物分野に戻ってくるなど人気が高まると思う。沖縄県は動物病院も多いがこれからは県外の病院にも視野を広げて学生のマッチングを行うなども取り組んでいきたいと思った。 （山城 正仁委員） ・自身の所属する飼育専攻は動物園、水族館、ペットショップ、ガイド、畜産といった動物看護師とトリマー以外の動物に関わる就職を目指すことができる。さまざまな動物に関わることが多いので興味を持ってもらうことを重視している。魚が好きで入学してきた場合も、自分の授業を通じて爬虫類や哺乳類が好きになり夢の幅が広げることができると嬉しい。 ・高校生に授業をするにあたり大切にしたかったのは、知らなかったことを知った時のインパクトや感動である。自身の授業を通じて好きになれば、勉強と感じなくなり興味を持ってやっていけると思って授業

	を作っていった。中部農林高校の生徒からは、本当に動物が好きという気持ちを強く感じ、リアクションもとてもよく授業もすすめやすかった。愛玩動物飼養管理士試験の合格率にも驚いている。 ・次年度は高校生が試験に関してどの部分が本当に知りたいのか、細かい解説が欲しいのかといったことを事前に聞いて授業を作っていくことができればさらに合わせた対策ができると思うので渡真利委員を通じて、生徒の声を反映させたい。 ・飼育専攻では環境調査実習など外に出る機会も多いので、フィールドワークといった点では協力できるのではないかと思う。 **議題３：令和５年度委員会日程　案（第 3･4 週金曜日を軸に）** ・伊禮の進行で説明。 **①第１回　令和５年８月** **②第２回　令和５年 11 月** **③第３回　令和６年１月** 以上　委員会を終了する。



Zoom を活用した会議の様子

令和４年度文部科学省委託
「専修学校による地域産業中核的人材養成事業による委託事業」

沖縄・動物系分野における
有機的高専連携プログラム開発・実証事業

令和４年度　事業報告書

令和５年２月
学校法人ＫＢＣ学園　専修学校沖縄ペットワールド専門学校
〒900-0034　沖縄県那覇市東町 19-20